



福島県立美術館  
年報  
令和4年度  
2022



福島県立美術館  
年報  
令和4年度・2022

福島県立美術館年報  
令和4年度（2022）

目次

---

設置の目的と立地	2
沿革	3
令和4年度主要記事	4
第1節 委員会等	4
美術館運営協議会	
他館等との連携	
第2節 収集・保存	5
収蔵作品点数	
収集評価委員会	
令和4年度収蔵作品	
図書資料の収集	
保存管理	
第3節 展示事業	19
常設展	
特集展示	
企画展	
アンケート結果	
観覧者数一覧	
第4節 調査研究事業	61
第5節 普及事業	61
館内解説	
鑑賞講座	
創作プログラム	
美術館・学校教育連携事業	
友の会等との連携	
その他の事業	
関係法規	67
予算	74
施設・設備	75
施設配置図	76
組織図・職員名簿	77
利用案内	78

## ◆設置の目的と立地



福島県立美術館は、すぐれた美術作品にふれることで人々の感受性が高まり、情操が養われ、憩いと喜びのなかに創造の手がかりが得られる場として、1984（昭和59）年7月に、隣接する福島県立図書館とともに設けられました。

この目的のために、収蔵作品の充実をはかり、貴重な文化財である美術品の保存につとめ、継続的な調査研究にもとづく展示・普及事業を積極的に展開するとともに、美術に関するさまざまな情報を提供します。

美術館は、福島市のシンボルであり、憩いの場として親しまれている信夫山のふもとにあります。福島駅からも近く、交通の便もよい場所にありながら、野鳥の声もきこえる静かで落ち着いた環境にあります。60,000㎡もの広大な敷地には、樹木や花々、広い芝生や日本庭園があり、散策や休息の場として親しまれています。

美術館と図書館は、多面的な機能と豊富な情報にもとづく、さまざまなサービスを提供することによって、見る・聴く・語る・作る・考える空間として活用していただくことをめざしています。

## ◆沿革

1977年	5月	文化を考える県民会議を設置			
	6-8月	文化に関する県民意識調査を実施			
1978年	1月	文化を考える県民会議より「県の文化振興について」を県知事に報告			
	7月	文化振興会議を設置			
1979年	2月	文化振興会議より「文化振興策の具体策について」を県知事に報告			
	3月	文化施設等整備基金条例制定			
	4月	県教育庁文化課内に文化施設班を置く			
	6月	福島県立美術館基本構想検討委員会を設置(委員10人を委嘱)			
	12月	美術品等取得基金条例制定			
1980年	1月	「福島県立美術館建設基本構想について」を同委員会より知事に報告			
	2月	美術館・図書館の建設地を福島市に決定 版画家斎藤清氏より県に自作227点が寄贈される			
	4月	福島県立美術館収集評価委員会を設置(委員7人を委嘱) 美術館・図書館の建設地を福島大学経済学部跡地に決定			
	5月	第1回収集評価委員会開催、ワイエス「松ぼっくり男爵」他の購入を決定			
	12月	美術館基本設計を委託(大高建築設計事務所)			
1981年	7月	美術館実施設計を委託(大高建築設計事務所)			
1982年	7月	美術館設計工事着工			
1984年	3月	美術館本体工事完了 福島県立美術館条例を議決			
	4月	福島県立美術館設置			
	6月	福島県立美術館博物館所管の県有美術品365点を移管			
	7月	開館(22日) 初代館長に原田實が就任(-1989年3月) 開館記念展第1部「戦後の名作に見る人間像」展開催 『所蔵品図録抄』を発行			
	10月	第1回運営協議会開催			
1986年	3月	『研究紀要第1号』発行			
1989年	4月	第二代館長に佐藤昌志が就任(-1990年3月)			
1990年	3月	『収蔵作品図録1984-1989』発行			
	4月	館長事務代行を教育長兼務とする(-1992年3月)			
1992年	4月	第三代館長に長谷部満彦が就任(-2000年3月)			
1994年	7月	開館10周年記念展「ルネサンスの絵画」「日本画の風景」開催			
1995年	6月	入館者通算100万人を記録する			
1998年	4月	「ピカソ回顧展」開催、67,125人の観覧者を記録する			
1999年	3月	屋根改修工事着工			
	8月	屋根改修工事のため23日以降常設展を休止(-2000年7月19日)			
	9月	通算100本目の企画展「生誕100年関根正二展」を開催			
	10月	18日以降休館となる(-2000年7月19日) 空調機械改修工事(第一期)着工 「移動美術館」開始(第1回は喜多方市美術館)			
			2000年	3月	『福島県立美術館所蔵作品選 ポケット・ミュージアム』発行
				4月	第四代館長に酒井哲朗が就任(-2012年3月)
				7月	空調機械工事(第一期)竣工、再開館(20日)
			2001年	11月	19日以降休館となる(-2002年4月26日) 空調機械工事(第二期)等着工
			2002年	3月	空調機械工事(第二期)、展示室改修工事竣工(県立図書館空調工事も竣工)
				4月	再開館(27日) レストラン「カフェ・ドゥ・ミュゼ ムスターシュ」開店(-2008年3月23日)
				10月	「美術館友の会(仮称)設立に向けて県民の意見を聴く会」を設置
			2003年	4月	高校生以下の常設展観覧料金を無料化 「福島県立美術館友の会設立発起人会」を開催、友の会発足
			2004年	6月	「特定非営利活動法人 福島県立美術館協力会」発足
				7月	「アート オブ スター・ウォーズ展」開催、77,601人の観覧者を記録する
				10月	開館20周年記念展「田園の夢」開催
			2005年	3月	『収蔵作品図録1990-2005』発行
			2006年	5月	入館者通算200万人を記録する
				8月	初の県立美術館・図書館連携事業として「アートな おはなしかい」を開催
			2008年	10月	レストラン「ミュゼ・ドゥ・カナール」新装開店(-2022年5月22日)
			2009年	7月	開館25周年記念展「福島県立美術館のすべて」「文化の力」「アルバム」展開催
			2011年	3月	12日以降東日本大震災の被害により臨時休館となる(-4月25日)
				4月	再開館(26日)
				5月	入館者通算300万人を記録
			2012年	2月	震災復旧工事のため1日以降休館となる(-4月6日)
				4月	第五代館長に早川博明が就任(-2020年3月) 再開館(7日)
			2013年	7月	「若冲が来てくれました」展開催、155,592人の観覧者を記録する
			2014年	7月	開館30周年記念展「コレクション・クッキング」展開催
			2015年	4月	6日以降休館となる(-2016年4月1日) 空調設備等改修工事着工
			2016年	4月	再開館(2日) 名誉館長に酒井哲朗が就任 「フェルメールとレンブラント」展開催、104,519人の観覧者を記録する
			2019年	4月	「東日本大震災復興祈念 伊藤若冲展」開催、116,344人の観覧者を記録
			2020年	4月	第六代館長に長根由里子が就任(-2023年3月) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため19日以降臨時休館となる(-5月15日)
				8月	改修工事のため31日以降休館となる(-2021年5月21日)
			2021年	5月	再開館(22日)

## ◆令和4年度主要記事（2022.4 - 2023.3）

### 令和4（2022）年

- 4月 1日 永峯涼子主事、濱田洋亮学芸員、津田幸康専門員着任
- 6月 4日 「東北へのまなざし 1930-1945」展開幕（-7月10日）
- 7月12日 展示替にともなう臨時休館（-15日）
- 7月16日 「第Ⅱ期常設展」開幕（-10月16日）
- 7月23日 特集展示「みんな大好き！福島ねこづくし展」開幕（-8月21日）
- 8月 5日 令和4年度収集評価委員会
- 8月21日 常設展無料観覧日（県民の日）
- 8月23日 博物館実習（-28日）
- 9月 3日 「生誕100年 朝倉撰展」開幕（-10月16日）
- 10月18日 展示替にともなう臨時休館（-21日）
- 10月22日 「第Ⅲ期常設展」開幕（-12月18日）
- 10月29日 「没後200年 亜欧堂田善」展開幕（-12月18日）
- 11月 4日 美術館・図書館合同消防訓練
- 12月20日 臨時休館および年末年始休館（-1月4日）

### 令和5（2023）年

- 1月 5日 「第Ⅳ期常設展」開幕（-3月5日）
- 1月12日 「美術館への年賀状展」開幕（-31日）
- 1月28日 「福島アートアニュアル2023」展開幕（-3月5日）
- 2月16日 令和4年度運営協議会
- 3月 7日 施設メンテナンスにともなう臨時休館（-17日）
- 3月18日 「第Ⅰ期常設展」開幕（-6月18日）
- 3月21日 「美をつくし 大阪市立美術館コレクション」展開幕（-5月21日）
- 3月31日 堀宜雄副館長心得兼社会教育課副課長兼学芸課長・荒木康子専門員退任、長根由里子館長・小山田八重子主幹兼事務長・大北孝主任学芸員転任

## 第1節 委員会等

### 1 美術館運営協議会

#### (1) 委員

- 大槻佐恵 福島県中学校教育研究会美術専門部所属  
（令和5.1.1～）
- 番匠あつみ 福島県高等学校教育研究会美術工芸部会所属  
（平成27.1.1～）
- 鈴木淳一 公益財団法人福島県文化振興財団理事長兼福島県文化センター館長  
（令和4.4.23～）※会長
- 佐藤育子 福島県家庭教育インストラクター  
（令和5.1.1～）
- 齋藤勝正 福島県美術家連盟顧問  
（平成29.1.1～）
- 細田修二 日本放送協会福島放送局長  
（令和4.7.16～）
- 岡部兼芳 はじまりの美術館館長  
（令和3.1.1～）
- 笠原美智子 アーティゾン美術館副館長  
（令和3.1.1～）
- 齋藤美保子 郡山女子大学短期大学部副学長  
（平成27.1.1～）※副会長
- 舟木藤弘 福島県立美術館友の会副会長  
（平成29.1.1～）

#### (2) 協議会の開催

期日：令和5年2月16日(木)

内容：・令和4年度事業の概要について

- ・令和5年度事業計画（案）の概要について
- ・その他（福島県立美術館の運営等について）

### 2 他館等との連携

県内外の博物館施設および全国組織等との連携を回り運営・事業等に関する情報交換や研修等を実施した。

#### 〈加盟団体〉

- ・全国美術館会議（会員）
- ・日本博物館協会（会員）
- ・日本博物館協会東北支部（会員）
- ・東北地区博物館協会（会員）
- ・福島県博物館連絡協議会（理事）

## 第2節 収集・保存

優れた美術作品鑑賞の機会を提供し、文化財を保存継承するために、コレクション(収蔵作品)の収集活動を継続的に行っている。

令和4年度は145点の作品、および美術資料1点を寄贈により収蔵した。

## 1 収蔵作品点数(令和5年3月31日現在)

種別	購入点数	受贈点数	移管点数	合計
海外作品	421	29	0	450
日本画	75	176	116	367
洋画	99	726	96	921
素描・下絵	15	186	17	218
版画	376	862	40	1,278
写真	0	391	20	411
立体	14	83	48	145
工芸	76	49	33	158
書	0	3	36	39
合計	1,076点	2,505点	406点	3,987点
美術資料				70件

## 2 収集評価委員会

## (1) 委員

中山恵理	郡山市立美術館主任主査(令和元.12.1～)
西山純子	千葉県美術館上席学芸員(令和3.12.1～)
濱崎礼二	宮城県美術館副館長(令和3.12.1～)
松下由里	群馬県立近代美術館次長兼学芸係長(令和元.12.1～) ※副委員長
水沢 勉	神奈川県立近代美術館長(令和元.12.1～) ※委員長

## (2) 委員会の開催

期日：令和4年8月5日(金)

内容：・令和2年度収集作品の報告

・令和4年度収集候補作品について

## 3 令和4年度収蔵作品

## (1) 美術作品及び美術資料の収集

国内：日本画	松本 榮	3点
	齋藤 隆	3点
国内：洋画	木村荘八	2点
	後藤工志	1点
	玉川信一	1点
	土橋 醇	1点
	中島敏明	1点
国内：素描・下絵	齋藤 隆	2点
国内：写真	瀬戸正人	1点
国内：版画	池田良二	1点

岩切裕子	1点
榎倉康二	1点
北川健次	4点
木原康行	1点
黒崎 彰	89点
黒須 昇	1点
黒田茂樹	1点
小林敬生	2点
斎藤カオル	1点
笹島喜平	1点
関野準一郎	2点
深沢幸雄	5点
福井良之助	1点
古谷博子	1点
村井正誠	1点
山口啓介	1点
山本容子	1点
横尾忠則	1点
李 禹煥	14点
黒崎 彰	1点
計	145点、美術資料1点

国内：資料

## (2) 新収蔵作品一覧

## 1. 松本 榮(1927-2007)

《糸満の女》1970(昭和45)年

紙本着色 228.3 × 143.3cm 油井一人氏寄贈



## 2. 松本 榮(1927-2007)

《赫牀(かくしょう)》1971(昭和46)年

紙本着色 154.0 × 222.8cm 油井一人氏寄贈



## 3. 松本 榮(1927-2007)

《江南緑映》1991(平成3)年

紙本着色 214.0 × 173.9cm 油井一人氏寄贈



4. 齋藤 隆 (1943-)

《空花Ⅰ》2010 (平成 22) 年

和紙・墨 59.9 × 90.0cm 石光あつ子氏寄贈



5. 齋藤 隆 (1943-)

《空花Ⅱ》2010 (平成 22) 年

和紙・墨 59.8 × 89.9cm 石光あつ子氏寄贈



6. 齋藤 隆 (1943-)

《空花Ⅰのための下絵》2010 (平成 22) 年

和紙・鉛筆 53.7 × 75.0cm 石光あつ子氏寄贈



7. 齋藤 隆 (1943-)

《空花Ⅱのための下絵》2010 (平成 22) 年

和紙・鉛筆 53.7 × 74.9cm 石光あつ子氏寄贈



8. 齋藤 隆 (1943-)

《私は誰なのか (もしくはアダムとイヴ)》1984 (昭和 59) 年

紙・コンテ 186.8 × 86.1、186.3 × 86.0cm 佐藤敏宏氏寄贈



9. 瀬戸 正人 (1953-)

《〈バンコク・ハノイ〉1982-1987より〈祖父ハットの墓参り、ナムディン地区〉1982-87 (昭和 57-62) 年

ゼラチンシルバー・プリント 23.3 × 24.0cm 佐藤敏宏氏寄贈



10. 木村 莊八 (1893-1958)

《母の像》1912 (明治 45) 年 5月

板・油彩 32.0 × 22.1cm 北條洋氏寄贈



11. 木村 莊八 (1893-1958)

《和田堀風景》1952-1954 (昭和 27-29) 年

板・油彩 26.7 × 35.5cm 北條洋氏寄贈



12. 後藤 工志 (1893-1929)

《[風景]》1919 (大正 8) 年

紙・水彩 57.4 × 39.5cm (紙寸) 北條洋氏寄贈



13. 土橋 醇 (1910-1978)

《仏蘭西の避暑地》1939 (昭和 14) 年

カンヴァス・油彩 50.3 × 60.6cm 北條洋氏寄贈



14. 玉川 信一 (1954-)

《彼と二本の木》1984 (昭和 59) 年

カンヴァス・油彩 182.0 × 227.2cm 埼玉富士夫氏寄贈



15. 中島 敏明 (1948-)

《慈しみ》2002 (平成 14) 年

カンヴァス・油彩 193.8 × 162.2cm 中島敏明氏寄贈



## 16. 横尾 忠則 (1936-)

《葬列II》1969-85 (昭和44-60)年 シルクスクリーン・アクリルプレート (6枚) 75.2 × 114.1 × 10.3 cm (金具込み) 中村眞一氏寄贈



## 17. 池田 良二 (1947-)

《Light comes ashore (上陸した光)》1996 (平成8)年 紙・エッチング 56.3 × 84.0 cm 金子元久氏寄贈



## 18. 岩切 裕子 (1961-)

《モノリスの月への聖画 (イコン)》1995 (平成7)年 紙・木版 34.0 × 32.0cm 金子元久氏寄贈



## 19. 榎倉 康二 (1942-1995)

《干渉 (空) No.1》1986 (昭和61)年 紙・シルクスクリン 34.3 × 34.5cm 金子元久氏寄贈



## 20. 北川 健次 (1952-)

《Diary II》1973 (昭和48)年 紙・エッチング、アクアチント、ドライポイント 41.2 × 29.0cm 金子元久氏寄贈



## 21. 北川 健次 (1952-)

《午後》1975 (昭和50)年 紙・フォトエッチング 39.4 × 31.3cm 金子元久氏寄贈



## 22. 北川 健次 (1952-)

《A PUZZELE》1979 (昭和54)年 紙・エッチング、アクアチント 33.0 × 10.3cm 金子元久氏寄贈



## 23. 北川 健次 (1952-)

《object- ドリアンの鍵》2002 (平成14)年 紙・銅版 75.7 × 57.4cm (紙寸) 金子元久氏寄贈



## 24. 木原 康行 (1932-)

版画集『Concentration』(10点組)より《Concentration 4》1982 (昭和57)年 紙・エングレーヴィング 31.6 × 24.9cm 金子元久氏寄贈



## 25. 黒崎 彰 (1937-2019)

《地の声・木の枝》1967 (昭和42)年 紙・木版 33.6 × 52.5cm 金子元久氏寄贈



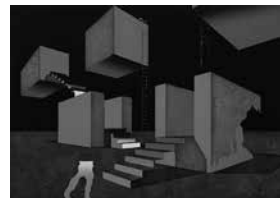
## 26. 黒崎 彰 (1937-2019)

《浄夜 56》1968 (昭和43)年 紙・木版 73.4 × 50.0cm 金子元久氏寄贈



## 27. 黒崎 彰 (1937-2019)

《寓話 69》1969 (昭和44)年 紙・木版 50.0 × 69.8cm 金子元久氏寄贈





## 28. 黒崎 彰 (1937-2019)

《寓話 83》1969 (昭和 44) 年

紙・木版 30.9 × 44.0cm 金子元久氏寄贈



## 29. 黒崎 彰 (1937-2019)

《赤い闇 3》1970 (昭和 45) 年

紙・木版 79.7 × 55.0cm 金子元久氏寄贈



## 30. 黒崎 彰 (1937-2019)

《終わりの部屋 3G》1971 (昭和 46) 年 紙・木版

75.0 × 76.9 (版痕は 77.8 × 77.8) cm 金子元久氏寄贈



## 31. 黒崎 彰 (1937-2019)

《星の神話》1972 (昭和 47) 年

紙・木版、孔版 18.4 × 12.8cm 金子元久氏寄贈



## 32. 黒崎 彰 (1937-2019)

《失われた楽園 8》1972 (昭和 47) 年

紙・木版、孔版 52.8 × 38.5cm 金子元久氏寄贈



## 33. 黒崎 彰 (1937-2019)

《失われた楽園 9》1972 (昭和 47) 年

紙・木版、孔版 52.9 × 37.5cm 金子元久氏寄贈



## 34. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集《星の神話》(12点組)より《さそり座》1972 (昭和 47) 年

紙・木版 23.0 × 16.0cm 金子元久氏寄贈



## 35. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集《星の神話》(12点組)より《かに座》1973 (昭和 48) 年

紙・木版 23.0 × 16.0cm 金子元久氏寄贈



## 36. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集《星の神話》(12点組)より《牡牛座》1972 (昭和 47) 年

紙・木版 23.0 × 15.9cm 金子元久氏寄贈



## 37. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集《星の神話》(12点組)より《天秤座》1973 (昭和 48) 年

紙・木版 23.0 × 16.0cm 金子元久氏寄贈



## 38. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集《星の神話》(12点組)より《水がめ座》1973 (昭和 48) 年

紙・木版 22.9 × 15.9cm 金子元久氏寄贈



## 39. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集《星の神話》(12点組)より《牡羊座》1973 (昭和 48) 年

紙・木版 23.0 × 16.0cm 金子元久氏寄贈



## 40. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈星の神話〉(12点組)より《射手座》1973(昭和48)年  
紙・木版 23.0 × 16.0cm 金子元久氏寄贈



## 41. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈星の神話〉(12点組)より《獅子座》1973(昭和48)年  
紙・木版 22.9 × 15.8cm 金子元久氏寄贈



## 42. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈星の神話〉(12点組)より《双子座》1973(昭和48)年  
紙・木版 22.9 × 15.8cm 金子元久氏寄贈



## 43. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈星の神話〉(12点組)より《山羊座》1973(昭和48)年  
紙・木版 23.0 × 15.8cm 金子元久氏寄贈



## 44. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈星の神話〉(12点組)より《乙女座》1973(昭和48)年  
紙・木版 22.9 × 15.8cm 金子元久氏寄贈



## 45. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈星の神話〉(12点組)より《魚座》1973(昭和48)年  
紙・木版 22.9 × 15.9cm 金子元久氏寄贈



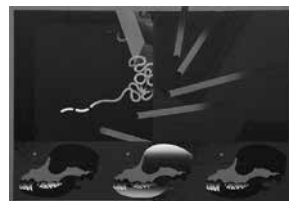
## 46. 黒崎 彰 (1937-2019)

《眩暈》1973(昭和48)年  
紙・木版 53.1 × 37.8cm 金子元久氏寄贈



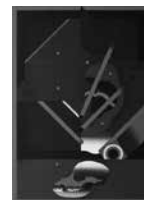
## 47. 黒崎 彰 (1937-2019)

《暗号の森2》1973(昭和48)年  
紙・木版 54.8 × 79.5cm 金子元久氏寄贈



## 48. 黒崎 彰 (1937-2019)

《暗号の森9》1973(昭和48)年  
紙・木版 79.7 × 55.0cm 金子元久氏寄贈



## 49. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈アメリカ〉より《ファンキーアート》1975(昭和50)年  
紙・木版、写真凸版 29.7 × 72.7cm 金子元久氏寄贈



## 50. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈アメリカ〉より《タイム》1975(昭和50)年  
紙・木版、写真凸版 42.7 × 29.7cm 金子元久氏寄贈



## 51. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈アメリカ〉より《ハーバード》1975(昭和50)年  
紙・木版、写真凸版 42.6 × 29.7cm 金子元久氏寄贈



52. 黒崎 彰 (1937-2019)

《禁じられた恋人たちB》1976 (昭和51) 年  
紙・木版 33.6 × 23.8cm 金子元久氏寄贈

53. 黒崎 彰 (1937-2019)

《おやゆび》1976 (昭和51) 年  
紙・木版 16.0 × 22.0cm 金子元久氏寄贈

54. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集《迷彩風景》(10点組)より《迷彩風景1》  
1976 (昭和51) 年 紙・木版 14.0 × 14.0cm 金子元久氏寄贈

55. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集《迷彩風景》(10点組)より《迷彩風景2》  
1976 (昭和51) 年 紙・木版 13.1 × 14.1cm 金子元久氏寄贈

56. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集《迷彩風景》(10点組)より《迷彩風景3》  
1976 (昭和51) 年 紙・木版 13.4 × 13.4cm 金子元久氏寄贈

57. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集《迷彩風景》(10点組)より《迷彩風景4》  
1976 (昭和51) 年 紙・木版 9.0 × 15.0cm 金子元久氏寄贈

58. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集《迷彩風景》(10点組)より《迷彩風景5》  
1976 (昭和51) 年 紙・木版 13.9 × 13.9cm 金子元久氏寄贈

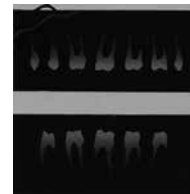
59. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集《迷彩風景》(10点組)より《迷彩風景6》  
1976 (昭和51) 年 紙・木版 12.7 × 12.3cm 金子元久氏寄贈

60. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集《迷彩風景》(10点組)より《迷彩風景7》  
1976 (昭和51) 年 紙・木版 15.0 × 10.5cm 金子元久氏寄贈

61. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集《迷彩風景》(10点組)より《迷彩風景8》  
1976 (昭和51) 年 紙・木版 11.3 × 11.0cm 金子元久氏寄贈

62. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集《迷彩風景》(10点組)より《迷彩風景9》  
1976 (昭和51) 年 紙・木版 15.1 × 15.1cm 金子元久氏寄贈

63. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集《迷彩風景》(10点組)より《迷彩風景10》  
1976 (昭和51) 年 紙・木版 14.0 × 13.9cm 金子元久氏寄贈

## 64. 黒崎 彰 (1937-2019)

《迷彩譜 10》1978 (昭和 53) 年

紙・木版 79.3 × 54.8cm 金子元久氏寄贈



## 65. 黒崎 彰 (1937-2019)

《迷彩映 A》1978 (昭和 53) 年

紙・木版 55.5 × 39.0cm 金子元久氏寄贈



## 66. 黒崎 彰 (1937-2019)

《メランコリー A》1979 (昭和 54) 年

紙・木版 34.6 × 24.6cm 金子元久氏寄贈



## 67. 黒崎 彰 (1937-2019)

《ひとりごと》1979 (昭和 54) 年

紙・木版 21.9 × 21.6cm 金子元久氏寄贈



## 68. 黒崎 彰 (1937-2019)

《メランコリー B》1980 (昭和 55) 年

紙・木版 34.6 × 24.5cm 金子元久氏寄贈



## 69. 黒崎 彰 (1937-2019)

《夜のアラバスク》1980 (昭和 55) 年

紙・木版 55.0 × 38.8cm 金子元久氏寄贈



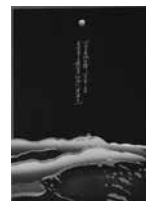
## 70. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈中国〉(10点組)より《冷たいビールを下さい》1980 (昭和 55) 年 紙・木版、孔版 45.2 × 32.7cm 金子元久氏寄贈



## 71. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈中国〉(10点組)より《中国長城》1980 (昭和 55) 年 紙・木版、孔版 45.3 × 32.7cm 金子元久氏寄贈



## 72. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈中国〉(10点組)より《毛さん今日は》1980 (昭和 55) 年 紙・木版、孔版 32.7 × 45.3cm 金子元久氏寄贈



## 73. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈中国〉(10点組)より《中国印章》1980 (昭和 55) 年 紙・木版、孔版 32.7 × 45.1cm 金子元久氏寄贈



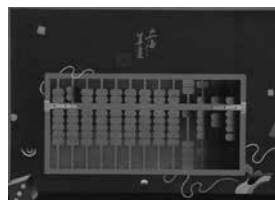
## 74. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈中国〉(10点組)より《故宫星明》1980 (昭和 55) 年 紙・木版、孔版 45.3 × 32.7cm 金子元久氏寄贈



## 75. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈中国〉(10点組)より《上海算盤》1980 (昭和 55) 年 紙・木版、孔版 32.7 × 45.3cm 金子元久氏寄贈



## 76. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈中国〉(10点組)より《圓丘雷鳴》1980(昭和55)年  
紙・木版、孔版 45.3×32.6cm 金子元久氏寄贈



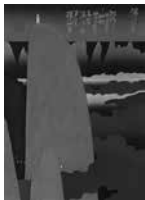
## 77. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈中国〉(10点組)より《十三陵石彫群》1980(昭和55)年 紙・木版、孔版 45.3×32.7cm 金子元久氏寄贈



## 78. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈中国〉(10点組)より《瀉江風光》1980(昭和55)年  
紙・木版、孔版 45.2×32.6cm 金子元久氏寄贈



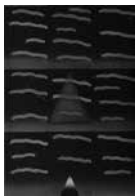
## 79. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈中国〉(10点組)より《京劇》1980(昭和55)年  
紙・木版、孔版 32.7×45.3cm 金子元久氏寄贈



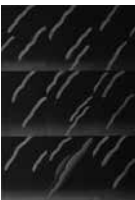
## 80. 黒崎 彰 (1937-2019)

《黒の軌跡》1981(昭和56)年  
紙・木版 79.3×55.0cm 金子元久氏寄贈



## 81. 黒崎 彰 (1937-2019)

《時の軌跡》1981(昭和56)年  
紙・木版 79.2×55.0cm 金子元久氏寄贈



## 82. 黒崎 彰 (1937-2019)

《追憶》1981(昭和56)年  
紙・木版 59.5×47.5cm 金子元久氏寄贈



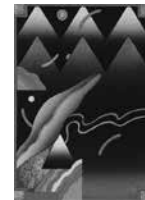
## 83. 黒崎 彰 (1937-2019)

《月の光》1982(昭和57)年  
紙・木版 23.4×16.4cm 金子元久氏寄贈



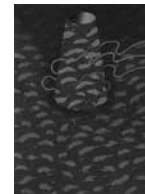
## 84. 黒崎 彰 (1937-2019)

《東の華》1983(昭和58)年  
紙・木版 21.2×14.7cm 金子元久氏寄贈



## 85. 黒崎 彰 (1937-2019)

《不透明なプリズム》1984(昭和59)年  
紙・木版 36.7×25.7cm 金子元久氏寄贈



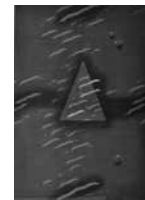
## 86. 黒崎 彰 (1937-2019)

《眠りから覚めて》1984(昭和59)年  
紙・木版 22.9×15.8cm 金子元久氏寄贈



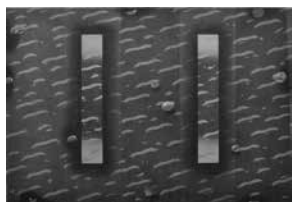
## 87. 黒崎 彰 (1937-2019)

《二つの時の間に3》1984(昭和59)年  
紙・木版 81.3×56.0cm 金子元久氏寄贈



## 88. 黒崎 彰 (1937-2019)

《二つの時の間に5》1984 (昭和59) 年  
紙・木版 56.0 × 81.3cm 金子元久氏寄贈



## 89. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈韓国八景〉(8点組)より《東大門》1987 (昭和62) 年  
紙・木版、孔版 45.6 × 31.7cm 金子元久氏寄贈



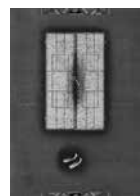
## 90. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈韓国八景〉(8点組)より《石塔》1987 (昭和62) 年  
紙・木版、孔版 45.7 × 31.6cm 金子元久氏寄贈



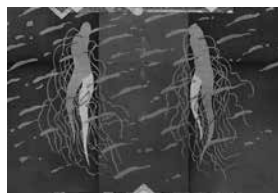
## 91. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈韓国八景〉(8点組)より《障子》1987 (昭和62) 年  
紙・木版、孔版 45.8 × 31.5cm 金子元久氏寄贈



## 92. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈韓国八景〉(8点組)より《高麗人參》1987 (昭和62) 年  
紙・木版、孔版 31.7 × 45.8cm 金子元久氏寄贈



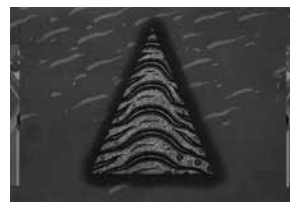
## 93. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈韓国八景〉(8点組)より《紗帽》1987 (昭和62) 年  
紙・木版、孔版 45.8 × 31.5cm 金子元久氏寄贈



## 94. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈韓国八景〉(8点組)より《虎皮図》1987 (昭和62) 年  
紙・木版、孔版 31.7 × 45.8cm 金子元久氏寄贈



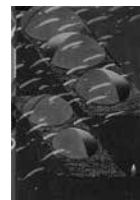
## 95. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈韓国八景〉(8点組)より《圓杉》1987 (昭和62) 年  
紙・木版、孔版 31.7 × 45.9cm 金子元久氏寄贈



## 96. 黒崎 彰 (1937-2019)

版画集〈韓国八景〉(8点組)より《慶州古墳》1987 (昭和62) 年  
紙・木版、孔版 45.8 × 31.6cm 金子元久氏寄贈



## 97. 黒崎 彰 (1937-2019)

《舞い降りたハート》1990 (平成2) 年  
紙・木版 20.9 × 19.8cm 金子元久氏寄贈



## 98. 黒崎 彰 (1937-2019)

《白い斧》1993 (平成5) 年  
紙・木版 91.5 × 59.7cm 金子元久氏寄贈



## 99. 黒崎 彰 (1937-2019)

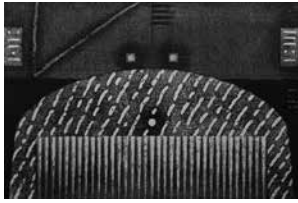
《二つの刃》1993 (平成5) 年  
紙・木版 60.0 × 40.0cm 金子元久氏寄贈



100. 黒崎 彰 (1937-2019)

《黒い髪》1993 (平成 5) 年

紙・木版 59.8 × 89.7cm 金子元久氏寄贈



101. 黒崎 彰 (1937-2019)

《白い月》1993 (平成 5) 年

紙・木版 59.7 × 40.0cm 金子元久氏寄贈



102. 黒崎 彰 (1937-2019)

《アガメムノン: 〈ガイア〉 シリーズ》1996 (平成 8) 年

紙・木版 89.5 × 59.8cm 金子元久氏寄贈



103. 黒崎 彰 (1937-2019)

《オルフェウスの豎琴》1999 (平成 11) 年

紙・木版 59.0 × 39.8cm 金子元久氏寄贈



104. 黒崎 彰 (1937-2019)

《阿波の藍》2000 (平成 12) 年

紙・木版 45.1 × 32.0cm 金子元久氏寄贈



105. 黒崎 彰 (1937-2019)

《阿波の鳴門とくしま》2000 (平成 12) 年

紙・木版 31.9 × 44.8cm 金子元久氏寄贈



106. 黒崎 彰 (1937-2019)

《青い空と羊: 〈遊牧民シリーズ〉より 3》2002 (平成 12) 年

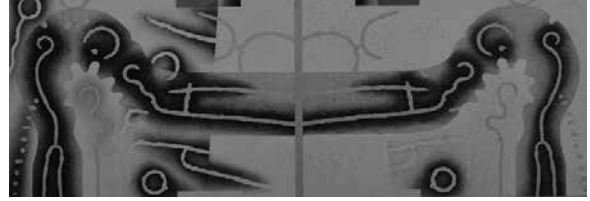
紙・木版 58.3 × 39.8cm 金子元久氏寄贈



107. 黒崎 彰 (1937-2019)

《白い河 C》2005 (平成 17) 年

紙・木版 25.4 × 73.5cm 金子元久氏寄贈



108. 黒崎 彰 (1937-2019)

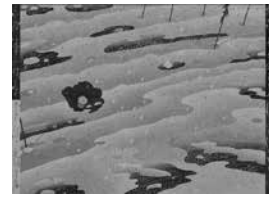
《禁じられたゾーン 4》2010 (平成 22) 年

紙・木版 89.5 × 59.4cm 金子元久氏寄贈



109. 黒崎 彰 (1937-2019)

木版画連作『万葉〈大和〉』(5点組)より《雪の佐保/光明皇后》2014 (平成 26) 年 紙・木版 39.7 (現状みえる部分) × 54.5cm 金子元久氏寄贈



110. 黒崎 彰 (1937-2019)

木版画連作『万葉〈大和〉』(5点組)より《かぎろひの朝/柿本人麻呂》2014 (平成 26) 年 紙・木版 39.4 × 54.5cm 金子元久氏寄贈



111. 黒崎 彰 (1937-2019)

木版画連作『万葉〈大和〉』(5点組)より《天の香久山/持統天皇》2014 (平成 26) 年 紙・木版 45.0 × 55.0cm 金子元久氏寄贈



112. 黒崎 彰 (1937-2019)

木版画連作『万葉<大和>』(5点組)より《わらびの春 / 志尊皇子》  
2014 (平成 26) 年 紙・木版 54.5 × 39.4cm 金子元久氏寄贈

113. 黒崎 彰 (1937-2019)

木版画連作『万葉<大和>』(5点組)より《いわれの鴨 / 大津皇子》  
2014 (平成 26) 年 紙・木版 54.5 × 39.6cm 金子元久氏寄贈

114. 黒須 昇 (1948-)

《ひかりかがやく手、あるいは夢の変幻》1981 (昭和 56) 年  
紙・リトグラフ 62.5 × 48.6cm 金子元久氏寄贈

115. 黒田 茂樹 (1953-)

《Path》2005 (平成 17) 年  
紙・銅版 14.7 × 22.6cm 金子元久氏寄贈

116. 小林 敬生 (1944-)

《星の時間・D (群舞・94-10より)》1994 (平成 6) 年  
紙・木口木版 57.0 × 25.0cm 金子元久氏寄贈

117. 小林 敬生 (1944-)

《霧の中から》制作年不詳  
紙・木口木版手彩色 27.8 × 15.0cm 金子元久氏寄贈

118. 斎藤 カオル (1931-2021)

《白い日にI》1972 (昭和 47) 年  
紙・メゾチント 26.8 × 18.2cm 金子元久氏寄贈

119. 笹島 喜平 (1906-1993)

《不動明王 No.64》1976 (昭和 51) 年  
紙・木版 27.7 × 27.7cm 金子元久氏寄贈

120. 関野 準一郎 (1914-1988)

《フィレンツェの曇》1959 (昭和 34) 年  
紙・木版 81.5 × 55.8cm 金子元久氏寄贈

121. 関野 準一郎 (1914-1988)

《棟方志功像》1968 (昭和 43) 年  
紙・木版 69.3 × 54.4cm 金子元久氏寄贈

122. 深沢 幸雄 (1924-2017)

《星屑劇場》1983 (昭和 58) 年 紙・メゾチント、アクアチント  
74.5 × 49.4cm 金子元久氏寄贈

123. 深沢 幸雄 (1924-2017)

《憂愁市街・迷路》1985 (昭和 60) 年 紙・メゾチント、アクアチント 74.4 × 49.9cm 金子元久氏寄贈





124. 深沢 幸雄 (1924-2017)

《月下の鳥》1988 (昭和 63) 年 紙・メゾチント、アクアチント  
36.0 × 29.9cm 金子元久氏寄贈

125. 深沢 幸雄 (1924-2017)

《それぞれの方舟》1990 (平成 2) 年 紙・メゾチント、アクアチント 36.1 × 69.9cm 金子元久氏寄贈



126. 深沢 幸雄 (1924-2017)

《青い空の不死鳥》1999 (平成 11) 年 紙・メゾチント、アクアチント 49.5 × 35.7cm 金子元久氏寄贈



127. 福井 良之助 (1923-1986)

《孤島の館》1974 (昭和 49) 年  
紙・銅版、雁皮紙 33.0 × 39.0cm 金子元久氏寄贈

128. 古谷 博子 (1961-)

《天文学者の休暇》1994 (平成 6) 年  
紙・板目木版 62.1 × 39.0cm 金子元久氏寄贈

129. 村井 正誠 (1905-1999)

《三つの顔》1958 (昭和 33) 年  
紙・リトグラフ 55.5 × 42.0cm 金子元久氏寄贈

130. 山口 啓介 (1962-)

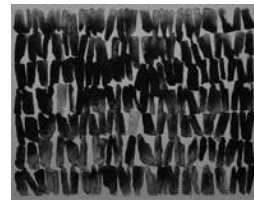
《水門・高速道》1990 (平成 2) 年  
紙・銅版 79.7 × 99.5cm 金子元久氏寄贈

131. 山本 容子 (1952-)

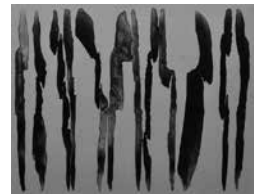
《After 我々とは何か? (光の大地より)》1996 (平成 8) 年 紙・エッチング、手彩色、雁皮 39.3 × 42.3cm 金子元久氏寄贈



132. 李 禹煥 (1936-)

《採石場の思い出 1》1984 (昭和 59) 年  
紙・リトグラフ 53.5 × 68.1cm 金子元久氏寄贈

133. 李 禹煥 (1936-)

《採石場の思い出 2》1984 (昭和 59) 年  
紙・リトグラフ 53.0 × 67.7cm 金子元久氏寄贈

134. 李 禹煥 (1936-)

《港より 2》1989 (昭和 64/平成元) 年  
紙・ドライポイント 23.8 × 29.7cm 金子元久氏寄贈

135. 李 禹煥 (1936-)

《港より 7》1989 (昭和 64/平成元) 年  
紙・ドライポイント 29.7 × 23.9cm 金子元久氏寄贈

136. 李 禹煥 (1936-)

《港より9》1989 (昭和64/平成元) 年  
紙・ドライポイント 29.5 × 23.9cm 金子元久氏寄贈



137. 李 禹煥 (1936-)

版画集『都市の記憶より』より《都市の記憶より1》1989 (昭和64/平成元) 年 紙・リトグラフ 80.5 × 60.5cm 金子元久氏寄贈



138. 李 禹煥 (1936-)

版画集『都市の記憶より』より《都市の記憶より2》1989 (昭和64/平成元) 年 紙・リトグラフ 59.6 × 80.7cm 金子元久氏寄贈



139. 李 禹煥 (1936-)

版画集『都市の記憶より』より《都市の記憶より3》1989 (昭和64/平成元) 年 紙・リトグラフ 81.0 × 60.3cm 金子元久氏寄贈



140. 李 禹煥 (1936-)

版画集『都市の記憶より』より《都市の記憶より4》1989 (昭和64/平成元) 年 紙・リトグラフ 80.3 × 60.2cm 金子元久氏寄贈



141. 李 禹煥 (1936-)

版画集『都市の記憶より』より《都市の記憶より5》1989 (昭和64/平成元) 年 紙・リトグラフ 60.6 × 80.5cm 金子元久氏寄贈



142. 李 禹煥 (1936-)

版画集『都市の記憶より』より《都市の記憶より6》1989 (昭和64/平成元) 年 紙・リトグラフ 60.0 × 80.5cm 金子元久氏寄贈



143. 李 禹煥 (1936-)

《ある黙示録より No.3》2003 (平成15) 年  
紙・リトグラフ 46.1 × 55.9cm 金子元久氏寄贈



144. 李 禹煥 (1936-)

《ある黙示録より No.6》2003 (平成15) 年  
紙・リトグラフ 56.0 × 46.0cm 金子元久氏寄贈



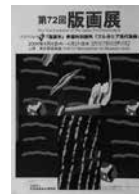
145. 李 禹煥 (1936-)

《黙5》2006 (平成18) 年  
紙・リトグラフ 65.3 × 76.3cm 金子元久氏寄贈



146. 黒崎 彰 (1937-2019)

《第72回版画協会展ポスター》  
2004 (平成16) 年 72.8 × 51.5cm 金子元久氏寄贈



## 4 図書資料の収集

---

収蔵図書数 64,760 冊（令和 5 年 1 月 24 日現在）

## 5 保存管理

---

美術品の状態を維持回復し、美術品の保管・展示の環境を良好に保つために、計画的に美術品の修復や館内の保存環境調査を実施している。

### (1) 保存環境調査の実施

時期：令和 4 年 6 月 7 日～ 21 日、8 月 13 日～ 27 日（調査期間）

[報告書は 7/13、9/18 提出]

内容：展示室、収蔵庫、搬入口およびその他の館内外の虫菌害調査、酸アルカリ濃度測定等

### (2) 美術作品の修復

現在、根上富治《笛》（対幅） 蠣崎波響《雉子・鍾馗・鴛鴦》（三幅対）、尾竹越堂《失題》を修復した。伊砂利彦《ドビュッシー作曲『前奏曲 I』のイメージより》12 点の額を交換した。このほか、令和 4 年 3 月 16 日に発生した地震により被災した橋本章《砂による絵画・作品 No.10》の修復及び 6 作品の額の修復、交換作業を行った。

### (3) 放射線測定

美術館施設内および敷地内の放射線測定を実施、測定結果を当館ホームページで公開している。なお、震災後 10 年が経過し、線量も落ち着いていることから、令和 2 年度より測定回数および箇所数を減じることとした。

時期：令和 4 年 4 月 15 日、7 月 15 日、10 月 21 日、令和 5 年 1 月 20 日 計 4 回測定

場所：美術館内および敷地内、計 8 か所

測定機種：ALOKA TCS-172（ $\gamma$ 線）、ALOKA TCS-146（ $\beta$ 線）

## 第3節 展示事業

### 1 常設展

収蔵および寄託の美術作品を展示している。美術の多様な領域や数多くの作家を紹介するとともに、作品の状態の保全に配慮して通常、年4回(版画は年8回)展示替えを行っている。

#### (1) 常設展示

##### ① 「第I期常設展」

会期：前期＝令和4年3月19日(土)～5月12日(木)

後期＝令和4年5月13日(金)～7月10日(日)

内容：・春の日本画：平福百穂《ふき》ほか

- ・関根正二と大正洋画：関根正二《神の祈り》ほか
- ・テーマ展示 東北が育んだ作家たち：吉井忠《老農夫》ほか
- ・フランス美術の名品：カミーユ・ピサロ《エラニーの菜園》ほか
- ・創作版画の世界：谷中安規《幻想集》(10点組)ほか

出品リスト (\*は寄託作品)：

#### 展示室 A

##### ◆春の日本画

尾竹 越堂(1868-1931)／失題／制作年不詳(大正期)／紙本着色

安田 鞞彦(1884-1978)／茶室／1962(昭和37)年／紙本着色

星 茂(1925-2021)／三神像／1986(昭和61)年／紙本着色

##### ◆ブロンズ小品の魅力～石原コレクションから

オーギュスト・ロダン(1840-1917)／髪をすく女／1900年以前(2002年铸造)／ブロンズ

オーギュスト・ロダン(1840-1917)／影の頭部／制作年不詳(1995年铸造)／ブロンズ

ジャン・カルトン(1912-1988)／乳房を吸う幼子／制作年不詳／ブロンズ

ロベール・クーチュリエ(1905-2008)／踊るファウヌス／制作年不詳／ブロンズ

佐藤 忠良(1912-2011)／ジャコピン／1977(昭和52)年／ブロンズ

笹戸 千津子(1948-)／彫刻家／1988(昭和63)年／ブロンズ

笹戸 千津子(1948-)／おんなの子／1994(平成6)年／ブロンズ

舟越 保武(1912-2002)／R／1986(昭和61)年／ブロンズ

桜井 祐一(1914-1981)／印度服の女／1976(昭和51)年／ブロンズ

吾妻 兼治郎(1926-2016)／MU-785／1978(昭和53)年／ブロンズ

流 政之(1923-2018)／風の実／1977(昭和52)年／研ぎ出しブロンズ

##### ◆関根正二と近代の洋画

上野山 清貢(1889-1960)／ムッシュOの肖像／1915(大正4)年／カンヴァス・油彩

岸田 劉生(1891-1929)／自画像／1914(大正3)年／カンヴァス・油彩

岸田 劉生(1891-1929)／静物(白き花瓶と台皿と林檎四個)／1918(大正7)年／カンヴァス・油彩

安井 曾太郎(1888-1955)／テーブルの上／1912(大正元)年／カンヴァス・油彩

恩地 孝四郎(1891-1955)／静物(レモン)／1920(大正9)年／カンヴァス・油彩

恩地 孝四郎(1891-1955)／自画像D(白和服)／1919(大正8)年／カンヴァス・油彩

関根 正二(1899-1919)／死を思う日／1915(大正4)年／カンヴァス・油彩\*

関根 正二(1899-1919)／一本杉の風景／1918(大正7)年／カンヴァス・油彩

関根 正二(1899-1919)／自画像／1918(大正7)年／カンヴァス・油彩

関根 正二(1899-1919)／神の祈り／1918(大正7)年頃／カンヴァス・油彩

村山 槐多(1896-1919)／樹木(けやき)／1917(大正6)年頃／紙・木炭

宮川 教助(1898-1926)／逍遙／1922(大正11)年／カンヴァス・油彩

木村 莊八(1893-1958)／樹の下に遊んでいる子供／1915(大正4)年／カンヴァス・油彩

川口 軌外(1892-1966)／柘榴／1932(昭和7)年／カンヴァス・油彩

長谷川 利行(1891-1940)／浅草の女／1935(昭和10)年／カンヴァス・油彩

松本 峻介(1912-1948)／赤い建物／1936(昭和11)年／紙・油彩

#### 展示室 B

##### ◆特集展示：東北が育んだ作家たち

小川 芋銭(1868-1938)／於那羅合戦／1921(大正10)年／紙本墨画淡彩(卷子装)

酒井 三良(1897-1969)／帰樵／1930(昭和5)年／紙本着色

酒井 三良(1897-1969)／雨はれ／1930(昭和5)年／紙本着色

酒井 三良(1897-1969)／そばの秋／1930(昭和5)年／紙本着色

酒井 三良(1897-1969)／雪暮／1930(昭和5)年／紙本着色

斎藤 清(1907-1997)／会津の冬(御母堂)／1938-40(昭和13-15)年頃／紙・木版 [前期]

斎藤 清(1907-1997)／郷の稚児／1938(昭和13)年／紙・木版 [前期]

斎藤 清(1907-1997)／会津の冬(窪)／1938-40(昭和13-昭和15)年頃／紙・木版 [後期]

斎藤 清(1907-1997)／少女／1938(昭和13)年／紙・木版 [後期]

福田 豊四郎(1904-1970)／春を待つ／1930(昭和5)年／絹本着色

関根 正二(1899-1919)／真田吉之助夫妻像／1918(大正7)年／カンヴァス・油彩

関根 正二(1899-1919)／姉弟／1918(大正7)年／カンヴァス・油彩

萬 鉄五郎(1885-1927)／庫／1918(大正7)年／カンヴァス・油彩

吉井 忠(1908-1999)／雪の安達太良山／1960(昭和35)年／カンヴァス・油彩

吉井 忠(1908-1999)／老農夫／1964(昭和39)年／カンヴァス・油彩

村上 善男(1933-2006)／亘町に釘打ち(参)／1983(昭和58)年／カンヴァス・紙・アクリル

村上 善男(1933-2006)／亘町に釘打ち(四)／1983(昭和58)年／カンヴァス・紙・アクリル

田口 安男(1930-)／波から焔へ-B-／1982(昭和57)年／カンヴァス・油彩、テンペラ

針生 鎮郎(1931-1998)／王と妃・面-M／1988(昭和63)年／カンヴァス・油彩

橋本章(1919-2003)／看守さん／1978(昭和53)年／ミクストメディア

工藤 哲巳(1935-1990)／危機の中の芸術家の肖像／1976(昭和51)年／ミクストメディア

橋本章(1919-2003)／レンゴウカンタイ／1969(昭和44)年／カンヴァス・油彩

若松 光一郎(1914-1995)／北国の記念碑／1966(昭和41)年／カン

ヴァス・和紙・カゼインカラー・墨・他

鎌田 正蔵 (1913-1999) / 作品 黒 / 1958(昭和 58)年 / カンヴァス・油彩

鎌田 正蔵 (1913-1999) / エスキース 31 / 1986(昭和 61)年 / 紙・アクリル [前期]

鎌田 正蔵 (1913-1999) / エスキース 30 / 1986(昭和 61)年 / 紙・アクリル [前期]

鎌田 正蔵 (1913-1999) / まつり 黒 / 1984(昭和 59)年 / 紙・アクリル [後期]

鎌田 正蔵 (1913-1999) / エスキース 29 / 1986(昭和 61)年 / 紙・アクリル [後期]

#### 展示室 C

##### ◆海外の名品選

クロード・モネ (1840-1926) / ジヴェルニーの草原 / 1890 年 / カンヴァス・油彩

カミーユ・ピサロ (1830-1903) / エラニーの菜園 / 1899 年 / カンヴァス・油彩

ピエール＝オーギュスト・ルノワール (1841-1919) / 帽子を被る女 / 制作年不詳 / カンヴァス・油彩

ジャコモ・マンズー (1908-1991) / 車に乗った子供 / 1982 年 / ブロンズ

ベン・シャーン (1898-1969) / トム・ムーニーの母親に挨拶するジミー・ウォーカー / 1932-33 年 / 紙・グアッシュ

ベン・シャーン (1898-1969) / W. P. A. サンデー / 1939 年 / 紙・グアッシュ

アンドリュウ・ワイエス (1917-2009) / 松ぼっくり男爵 / 1976 年 / メゾナイトボード・テンペラ

アンドリュウ・ワイエス (1917-2009) / ドイツ人の住むところ / 1973 年 / 紙・水彩

フェルナン・レジェ (1881-1955) / サーカス / 1950 年刊行 / 紙・リトグラフ

パブロ・ピカソ (1881-1973) / 二人の裸婦(18点組 紙・リトグラフ)より

[前期] 『(1)』 1945 年 11 月 10 日 / 『(3)』 1945 年 11 月 21 日 / 『(5)』 1945 年 11 月 24 日 / 『(11)』 1946 年 1 月 21 日 / 『(15)』 1946 年 2 月 1 日 / 『(16)』 1946 年 2 月 6 日 / 『(18)』 1946 年 2 月 12 日

[後期] 『(2)』 1945 年 11 月 13 日 / 『(4)』 1945 年 11 月 22 日 / 『(6)』 1945 年 11 月 26 日 / 『(9)』 1946 年 1 月 10 日 / 『(12)』 1946 年 1 月 24 日 / 『(14)』 1946 年 1 月 31 日 / 『(17)』 1946 年 2 月 8 日

ヘンリー・ムア (1898-1986) / 母と子：腕 / 1980 年 / ブロンズ

#### 展示室 D

##### ◆創作版画の世界 [前期]

前川 千帆 (1888-1960) / 本所工場地帯 (新東京百景) / 1929(昭和 4)年 / 紙・木版

恩地 孝四郎 (1891-1955) / 邦楽座内景 (新東京百景) / 1929(昭和 4)年 / 紙・木版

川上 澄生 (1895-1972) / バラとパイプ / 1925(大正 14)年頃 / 紙・木版

川上 澄生 (1895-1972) / 風見のある風景 / 1927(昭和 2)年 / 紙・木版

川西 英 (1895-1972) / 曲乗り / 1933(昭和 8)年 / 紙・木版

川西 英 (1895-1972) / 仮装行列 / 1928(昭和 3)年 / 紙・木版

平塚 運一 (1895-1997) / 日本橋(新東京百景 46) / 1929(昭和 4)年 / 紙・木版

平塚 運一 (1895-1997) / 代々木ケ原(新東京百景 90) / 1931(昭和 6)年 / 紙・木版

武藤 六郎 (1907-1995) / 清洲橋 / 1932(昭和 7)年 / 紙・木版

谷中 安規 (1897-1946) / シネマ / 1932(昭和 7)年 / 紙・木版

谷中 安規 (1897-1946) / 室内 / 1933(昭和 8)年頃 / 紙・木版

谷中 安規 (1897-1946) / 幻想集『方寸版画』創刊号 1933(昭和 8)年 / 紙・木版、手彩色 10 点組)より

『(一)僕』 / 『(二)夜』 / 『(三)刀』 / 『(四)酒』 / 『(五)灯』 / 『(六)空』 / 『(七)火』 / 『(八)旅』 / 『(九)力』 / 『(十)雲』

##### ◆創作版画の世界 [後期]

前川 千帆 (1888-1960) / 『版芸術』合本 B より(野外小品:1933(昭和 8)年 / 第二野外小品:1932(昭和 7)年 / すべて紙・木版)

『鳥(野外小品 1)』 / 『風(野外小品 2)』 / 『テニス(野外小品 3)』 / 『蝶(野外小品 4)』 / 『旗(野外小品 5)』 / 『バラソル(野外小品 6)』 / 『鞠(第二野外小品 1)』 / 『魚(第二野外小品 2)』 / 『海(第二野外小品 3)』 / 『憩ひ(第二野外小品 4)』 / 『長靴(第二野外小品 5)』 / 『池(第二野外小品 6)』

前川 千帆 (1888-1960) / 新宿夜景(新東京百景) / 1931(昭和 6)年 / 紙・木版

恩地 孝四郎 (1891-1955) / カフェ / 1929(昭和 4)年 / 紙・木版

川上 澄生 (1895-1972) / 六月の風 / 1926(昭和 元)年 / 紙・木版

川上 澄生 (1895-1972) / 日比谷公園菊花大会 / 1930(昭和 5)年 / 紙・木版

川西 英 (1894-1965) / 神戸海岸風景 / 1929(昭和 4)年 / 紙・木版

川西 英 (1894-1965) / ダンスホール / 1932(昭和 7)年 / 紙・木版

平塚 運一 (1895-1997) / 上野(新東京百景) / 1929-1932(昭和 4-7)年頃 / 紙・木版

深沢 素一 (1896-1947) / 千住大橋(新東京百景) / 1929-1932(昭和 4-7)年頃 / 紙・木版

武藤 六郎 (1907-1995) / 東京駅 / 1932(昭和 7)年 / 紙・木版

#### 屋外・ホール彫刻

林 範親 (1948-) / 『路地裏』 / 1994 (平成 6) 年 / ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具

佐藤 忠良 (1912-2011) / 『若い女・シャツ』 / 1982 (昭和 57) 年 / ブロンズ

エミリオ・グレコ (1913-1995) / 『スケートをする女』 / 1951 年 / ブロンズ

マリノ・マリニ (1901-1980) / 『騎手』 / 1956-57 年 / ブロンズ

井上 武吉 (1930-1998) / 『My Sky Hole 89-2』 / 1989 (平成 元) 年 / ステンレス・鏡面磨き

フェルナン・レジェ (1881-1955) / 『歩く花』 / 1952-53 年原型作成 / ブロンズ・エナメル塗装\*

## ② 「第Ⅱ期常設展」

会期：前期＝令和4年7月16日(出)～9月7日(休)

後期＝令和4年9月8日(休)～10月16日(日)

内容：・テーマ展示 動物づくし：佐藤玄々《山風》ほか  
 ・戦後社会とリアリズム：横山操《黒い工場》ほか  
 ・ベン・シャーンとアメリカ美術：ベン・シャーン《ラッキー・ドラゴン》ほか  
 ・斎藤清と現代版画：斎藤清《霊峰(1)》、加納光於《星反芻学》ほか

出品リスト（\*は寄託作品）

## 展示室 A

## ◆動物づくし

勝田 蕉琴(1879-1963)／煙る小雨／1922年／絹本着色  
 勝田 蕉琴(1879-1963)／仔牛／1939年／絹本着色  
 関根 正二(1899-1919)／牛舎／1915年頃／カンヴァス・油彩  
 岸田 劉生(1891-1929)／白狗図／1923年／絹本着色／河野保雄コレクション  
 斎藤 清(1907-1997)／ジェラシー／1952年／紙・木版  
 斎藤 清(1907-1997)／凝視／1963年／紙・コラグラフ  
 斎藤 清(1907-1997)／野良犬、メキシコ／1956年／紙・木版  
 桂 ゆき(1913-1991)／親亀の背中に子亀をのせて／1970年／板・油彩、コラージュ  
 佐藤 玄々(朝山)(1888-1963)／鼠／1930年頃／木彫／横井美恵子コレクション  
 佐藤 玄々(朝山)(1888-1963)／蜥蜴／1940年代／木彫彩色／横井美恵子コレクション  
 佐藤 玄々(朝山)(1888-1963)／山風／1947年以降／木彫彩色／横井美恵子コレクション  
 赤堀 信平(1899-1992)／夢／1941年／木  
 橋本 朝秀(1899-1960)／子犬／制作年不詳／木彫\*  
 橋本 朝秀(1899-1960)／鶺鴒／制作年不詳／ブロンズ  
 橋本 高昇(1895-1985)／かもしか／制作年不詳／木・着色  
 柳沼 曹雲(1905-1981)／牛／1977年／木  
 太田 良平(1913-1997)／いぬ／制作年不詳／木  
 酒井 三良(1897-1969)／冬暖／1936年／絹本着色  
 勝田 蕉琴(1879-1963)／花鳥屏風／1913年頃／絹本金地着色  
 ◆関根正二と大正期の洋画  
 安井 曾太郎(1888-1955)／テーブルの上／1912年／カンヴァス・油彩  
 関根 正二(1899-1919)／裏の娘／1917年／紙・水彩、パステル  
 関根 正二(1899-1919)／信仰／1918年／紙・インク、着色  
 関根 正二(1899-1919)／神の祈り／1918年頃／カンヴァス・油彩  
 岸田 劉生(1891-1929)／静物(白き花瓶と皿と林檎四個)／1918年／カンヴァス・油彩  
 石井 柏亭(1882-1958)／水車場／1927年／カンヴァス・油彩  
 石井 柏亭(1882-1958)／果樹園の午後／1928年／カンヴァス・油彩  
 飛田 昭喬(1894-1971)／山と部落／1940年／カンヴァス・油彩  
 渡辺 良雄(1915-2010)／白壁の家／1954年／カンヴァス・油彩  
 吉井 忠(1908-1999)／草／1932年／カンヴァス・油彩  
 古川 盛雄(1897-1983)／花を飾りて／1957年／カンヴァス・油彩  
 丸樹 長三郎(1900-1972)／ジーザス・ラブズ・ミー／1948年／カンヴァス・油彩  
 松島 一郎(1902-1965)／コック部屋／1930年／カンヴァス・油彩

## 展示室 B

## ◆戦後社会とリアリズム

尾藤 豊(1926-1998)／ある男の肖像画(流茫)／1963年／カンヴァス・油彩  
 高山 良策(1917-1982)／漁夫B／1958年／カンヴァス・油彩  
 高山 良策(1917-1982)／傘(核)のある風景／1967年／パネル・油彩、ボンド  
 高山 良策(1917-1982)／記念写真／1975年／カンヴァス・油彩  
 石井 茂雄(1933-1962)／二人の女／1953年／カンヴァス・油彩  
 池田 龍雄(1928-2020)／沈んだものたち／1952年／紙・コンテ  
 池田 龍雄(1928-2020)／階段のある場所／1952年／紙・コンテ  
 黒沢 吉蔵(1928-2009)／起重機／1956年／紙本着色  
 黒沢 吉蔵(1928-2009)／煙突／1956年／紙本着色  
 横山 操(1920-1973)／黒い工場／1961年／紙本着色  
 渡辺 学(1916-2000)／遺された人／1981年／紙本着色  
 菊地 養之助(1908-2003)／煙突の下の子供達／1956年／紙本着色  
 菊地 養之助(1908-2003)／粉をひく老婆／1955年／紙本着色  
 宮崎 進(1922-2018)／常磐／1950-60年代／カンヴァス・油彩  
 宮崎 進(1922-2018)／[小屋]／1950-60年代／カンヴァス・油彩  
 伊藤 和子(1927-)／ボタ山への道／1958年／カンヴァス・油彩  
 伊藤 和子(1927-)／第2縦抗と選炭やぐら／1959年／カンヴァス・油彩  
 中谷 泰(1909-1993)／常滑／1964年／カンヴァス・油彩  
 中谷 泰(1909-1993)／炭坑町／1963年／カンヴァス・油彩  
 朝倉 撰(1922-2014)／スケッチブック(ズリ山、米国基地、魚市場)／1950年代／紙・鉛筆  
 朝倉 撰(1922-2014)／[炭鉱夫(カンテラ)]／1955年頃／紙・鉛筆  
 朝倉 撰(1922-2014)／[炭鉱夫(座像)]／1955年頃／紙・鉛筆  
 朝倉 撰(1922-2014)／炭坑風景 下絵／1956年頃／紙・鉛筆  
 朝倉 撰(1922-2014)／炭坑風景 下絵／1956年頃／紙・鉛筆  
 伊藤 和子(1927-)／古河好間抗山／1958年／紙・コンテ  
 伊藤 和子(1927-)／常磐炭坑／1958年／紙・コンテ  
 伊藤 和子(1927-)／古河好間抗山／1958年／紙・コンテ、水彩  
 吉井 忠(1908-1999)／ベン・シャーン像／1960年／紙・コンテ  
 若松 光一郎(1914-1995)／[炭坑風景(遠景)]／1946年／紙・コンテ  
 若松 光一郎(1914-1995)／[炭坑風景(ズリ山)]／制作年不詳／紙・鉛筆  
 若松 光一郎(1914-1995)／[炭坑風景]／1956年／和紙・コンテ、パステル  
 若松 光一郎(1914-1995)／[炭坑風景(長屋)]／1956年／紙・コンテ、パステル  
 若松 光一郎(1914-1995)／[炭坑夫(胸像)]／制作年不詳／紙・コンテ、水彩  
 若松 光一郎(1914-1995)／[炭坑夫(立像)]／制作年不詳／紙・コンテ、水彩  
 若松 光一郎(1914-1995)／[風景]／1956年 紙・コンテ  
 佐藤 忠良(1912-2011)／銚子／1960年／紙・鉛筆、コンテ／石原コレクション  
 佐藤 忠良(1912-2011)／煙突／1984年／紙・コンテ／石原コレクション  
 佐藤 忠良(1912-2011)／ジャコビン／1977年／ブロンズ／石原コレクション  
 吉井 忠(1908-1999)／犠牲者／1952年／カンヴァス・油彩

吉井 忠(1908-1999)／老農夫／1964年／カンヴァス・油彩  
 若松 光一郎(1914-1995)／出漁前／1960年／カンヴァス・油彩  
 鎌田 正蔵(1913-1999)／〔裸体男性群像〕(慟哭)／1951年／カンヴァス・油彩  
 鎌田 正蔵(1913-1999)／アリスハーズに捧げる作品2 プラカード／1969年／カンヴァス・アクリル  
 鎌田 正蔵(1913-1999)／アリスハーズに捧げる作品3 アリスハーズ氏の殉教／1969年／カンヴァス・アクリル

#### 展示室 C

##### ◆アメリカ美術

ジョン・スローン(1871-1951)／五番街の批評家たち／1940年／カンヴァス・油彩  
 清水 登之(1887-1945)／十四番街の地下鉄駅／1918年／カンヴァス・油彩  
 野田 英夫(1908-1939)／牛乳ワゴン／1936年／カンヴァス・油彩  
 アンドリュー・ワイエス(1917-2009)／農場にて／1988年／紙・水彩  
 ベン・シャーン(1898-1969)／これらあらゆる権利のために我々は闘いを開始したのだ／1946年／紙・リトグラフ [前期]  
 ベン・シャーン(1898-1969)／我々は平和を望んでいる／1946年／紙・リトグラフ [前期]  
 ベン・シャーン(1898-1969)／労働者より農民へ…感謝をこめて／1944年／紙・オフセット [後期]  
 ベン・シャーン(1898-1969)／我が友よ／1944年／紙・オフセット [後期]  
 ベン・シャーン(1898-1969)／スイミングプール／1945年／ボード・テンペラ  
 ベン・シャーン(1898-1969)／ラッキードラゴン／1960年／綿布・テンペラ  
 ベン・シャーン(1898-1969)／恐怖の夜の町／1951年／ボード・グアッシュ、テンペラ  
 ベン・シャーン(1898-1969)／《リルケ『マルテの手記』より 一行の詩のためには…》／1968年／紙・リトグラフ  
 [前期]『多くの都市を』／『多くの人々を』／『少年の日の思い出を』／『産婦の叫び』／『死んでゆく人の枕もと』／『愛にみちた多くの夜の回想』  
 [後期]『まだ知らぬ国々の道を』／『思いがけぬ邂逅』／『死者の傍で』／『一篇の詩の最初の言葉』／『白衣の中に眠りおちて恢復をまつ産後の女』／『星くずとともに消え去った旅寝の夜々』

##### ◆ヨーロッパの美術

カミーユ・コロー(1796-1875)／ヴィル・ダヴレー 林をぬけてコロア家へ向かう池沿いの道／1873年／カンヴァス・油彩  
 カミーユ・ピサロ(1830-1903)／エラニーの菜園／1899年／カンヴァス・油彩  
 ジャコモ・マンズー(1908-1991)／車に乗った子供／1982年／ブロンズ  
 ヘンリー・ムーア(1898-1986)／母と子：腕／1980年／ブロンズ

#### 展示室 D

##### ◆斎藤清の版画 [前期]

斎藤 清(1907-1997)／月雲 (1)／1980年／紙・木版  
 斎藤 清(1907-1997)／霊峰 (1)／1980年／紙・木版  
 斎藤 清(1907-1997)／霊峰 (3), 牧場 (A)／1980年／紙・木版  
 斎藤 清(1907-1997)／霊峰 (4), 牧場 (B)／1980年／紙・木版  
 斎藤 清(1907-1997)／霊峰 (11)／1980年／紙・木版  
 斎藤 清(1907-1997)／霊峰 (15), 晴天なり／1980年／紙・木版

斎藤 清(1907-1997)／霊峰 (16), 牧場 (C)／1980年／紙・木版  
 斎藤 清(1907-1997)／霊峰 (19), 野の仏／1980年／紙・木版  
 斎藤 清(1907-1997)／霊峰 夕映え／1986年／紙・木版  
 斎藤 清(1907-1997)／夕焼, 富士五合目／1980年／紙・木版  
 ◆斎藤清の版画 [後期]

斎藤 清(1907-1997)／アネモネ／1963年／紙・木版  
 斎藤 清(1907-1997)／アネモネ／1963年／紙・コラグラフ  
 斎藤 清(1907-1997)／パンジー／1963年／紙・コラグラフ  
 斎藤 清(1907-1997)／編物／1966年／紙・木版  
 斎藤 清(1907-1997)／夜 (A)／1966年／紙・木版  
 斎藤 清(1907-1997)／慈愛 (A)／1968年／紙・木版  
 斎藤 清(1907-1997)／夕日／1969年／紙・コラグラフ  
 斎藤 清(1907-1997)／夢 (B)／1971年／紙・木版  
 斎藤 清(1907-1997)／幻影／1974年／紙・木版  
 斎藤 清(1907-1997)／ランプ／1975年／紙・木版

##### ◆現代の版画 [前期]

加納 光於(1933-)／星 反芻学／1962年／紙・インタリオ  
 加納 光於(1933-)／星 反芻学／1962年／紙・インタリオ  
 加納 光於(1933-)／《しし座》—偶有と変容 (1)／1991-92年／紙・カラーインタリオ  
 加納 光於(1933-)／《しし座》—偶有と変容 (3)／1991-92年／紙・カラーインタリオ  
 加納 光於(1933-)／《しし座》—偶有と変容 (5)／1991-92年／紙・カラーインタリオ  
 百瀬 寿(1944-)／S-Orange and Green by Gold and Silver／1985年／紙・シルクスクリーン  
 百瀬 寿(1944-)／S-Blue and Orange by Gold and Silver／1984年／紙・シルクスクリーン  
 百瀬 寿(1944-)／S-Blue by Silver and Gold／1985年／紙・シルクスクリーン  
 百瀬 寿(1944-)／S-Pink by Silver and Gold／1985年／紙・シルクスクリーン

##### ◆現代の版画 [後期]

李 禹煥(1936-1992)／遺跡地にて(5点組)／1984年／紙・リトグラフ  
 長谷川 雄一(1945-)／大地への接近 (7)／1991年／紙・木版  
 長谷川 雄一(1945-)／風速記'06／2006年／紙・木版  
 長谷川 雄一(1945-)／風の譜／1990年／紙・木版  
 長谷川 雄一(1945-)／或る日／1995年／紙・木版

#### 屋外・ホール彫刻

林 範親(1948-)／『路地裏』／1994 (平成6)年／ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具  
 佐藤 忠良(1912-2011)／『若い女・シャツ』／1982 (昭和57)年／ブロンズ  
 エミリオ・グレコ(1913-1995)／『スケートをする女』／1951年／ブロンズ  
 マリノ・マリーニ(1901-1980)／『騎手』／1956-57年／ブロンズ  
 井上 武吉(1930-1998)／『My Sky Hole 89-2』／1989 (平成元)年／ステンレス・鏡面磨き  
 フェルナン・レジェ(1881-1955)／『歩く花』／1952-53年 原型作成／ブロンズ・エナメル塗装\*

## ③ 「第Ⅲ期常設展」

会期：令和4年10月22日(土)～12月18日(日)

内容：・生誕100年 大山忠作：大山忠作《O先生》ほか

- ・型染の魅力：柚木沙弥郎《人型》、伊砂利彦《シェーンベルク作曲 浄夜より》ほか
- ・海外の美術：アンドリュー・ワイエス《松ぼっくり男爵》ほか
- ・銅版画と木版画：岸田劉生《天地創造》、恩地孝四郎《母と子》ほか
- ・美術家たちとそれぞれの戦争、あるいは分断：野地正記《スダマティ（死んでしまった）》ほか

出品リスト（\*は寄託作品）

## 展示室 A

## ◆銅版画と木版画

亜欧堂 田善（1748-1822）／素描（唐人物）／制作年不詳／紙本墨画／特別出品・個人蔵

亜欧堂 田善（1748-1822）／素描（写生図）／制作年不詳／紙本墨画／特別出品・個人蔵

亜欧堂 田善（1748-1822）／素描（人物図）／制作年不詳／紙本墨画／特別出品・個人蔵

亜欧堂 田善（1748-1822）／イスパニア女帝コロンブス引見図／1804-18年頃／絹本銅版

蠣崎 波響（1765-1826）／雉子／1812年／絹本著色

蠣崎 波響（1765-1826）／鍾馗／1812年／絹本著色

蠣崎 波響（1765-1826）／鴛鴦／1812年／絹本著色

熊坂 適山（1796-1864）／百花の図／1854年／絹本著色

熊坂 適山（1796-1864）／蘭亭曲水図／1859年／絹本著色

高久 隆古（1810-1858）／山郵馬市図／1848年／絹本墨画淡彩

渡辺 光徳（1887-1945）／荒川／1931年／紙・エッチング

渡辺 光徳（1887-1945）／すか川 なべし橋／1925年／紙・エッチング

岸田 劉生（1891-1929）／「天地創造」より1.欲望／1914年／紙・銅版

長谷川 潔（1891-1980）／玻璃球のある静物／1959年／紙・銅版

長谷川 潔（1891-1980）／狐と葡萄（ラ・フォンテーヌ寓話）／1963年／紙・銅版

浜口 陽三（1909-2000）／白菜／1960年／紙・銅版

浜田 知明（1917-2018）／副校長D氏像／1956年／紙・エッチング

駒井 哲郎（1920-1976）／調理場／1958年／紙・銅版

駒井 哲郎（1920-1976）／海底の祭／1951年／紙・銅版

斎藤 清（1907-1997）／鏡／1938年頃／紙・木版

斎藤 清（1907-1997）／会津の冬（御母堂）／1938-40年頃／紙・木版

斎藤 清（1907-1997）／会津の冬（坂下）／1938-40年頃／紙・木版

恩地 孝四郎（1891-1955）／母と子／1917年／紙・木版

恩地 孝四郎（1891-1955）／ボエム No.2 山の属／1937年／紙・木版

山口 源（1896-1976）／能役者／1958年／紙・木版

## ◆型染の魅力—柚木沙弥郎と伊砂利彦

柚木 沙弥郎（1922-）／人型／1993年／木綿・型絵染め

柚木 沙弥郎（1922-）／窓／1981年／絹・型絵染め

柚木 沙弥郎（1922-）／人びと／1984年／絹・型絵染め

伊砂 利彦（1924-2010）／シェーンベルク作曲 浄夜より／1996年／和紙・型染め

伊砂 利彦（1924-2010）／ムソルグスキー作曲「展覧会の絵」イメージ

より／1972年／和紙・型染め

伊砂 利彦（1924-2010）／瀬／1978年／和紙・型染め

伊砂 利彦（1924-2010）／海に逝きし人々にささげる鎮魂歌／1992年／和紙・型染め

伊砂 利彦（1924-2010）／沖縄戦で逝きし人々にささげる鎮魂歌／1991年／和紙・型染め

## 展示室 B

## ◆生誕100年 大山忠作

大山 忠作（1922-2009）／O先生／1946年／紙本著色

大山 忠作（1922-2009）／室内／1950年／紙本著色

大山 忠作（1922-2009）／幼童曼陀羅／1967年／紙本著色

大山 忠作（1922-2009）／岡潔先生像／1968年／紙本著色

大山 忠作（1922-2009）／母子像／1969年／紙本著色

大山 忠作（1922-2009）／京舞／1977年／紙本著色

大山 忠作（1922-2009）／爽涼／1980年／紙本著色

佐藤 園夫（1922-2006）／少年と馬／1980年／紙本著色

永山 十志夫（1917-2002）／雨の窓／1974年／紙本著色

松本 榮（1927-2007）／大王崎／1971年／紙本著色

室井 東志生（1935-2012）／朝／1968年／紙本著色

山口 蓬春（1893-1971）／桃／制作年不詳／紙本著色

高山 辰雄（1912-2007）／静物／制作年不詳／紙本著色

佐藤 玄々（朝山）（1888-1963）／白菜／1931年／木彫\*

佐藤 玄々（朝山）（1888-1963）／鳩巢／1928年／木心乾漆・横井美恵子コレクション

## ◆関根正二と大正期の洋画

長谷川 昇（1886-1973）／裸婦／1928年／カンヴァス・油彩

前田 寛治（1896-1930）／裸婦／1925年／カンヴァス・油彩

前田 寛治（1896-1930）／裸体（後向きの裸婦）／1927年／カンヴァス・油彩／河野保雄コレクション

川口 軌外（1892-1966）／柘榴／1932年／カンヴァス・油彩

木村 荘八（1893-1958）／樹の下に遊んでいる子供／1915年／カンヴァス・油彩

関根 正二（1899-1919）／菊川橋／1916年／紙・インク

関根 正二（1899-1919）／一本杉の風景／1918年／カンヴァス・油彩

関根 正二（1899-1919）／風景／1916年頃／板・油彩

岸田 劉生（1891-1929）／畑と赤土の道（浜松風景）／1920年10月20日／板・油彩／河野保雄コレクション

萬 鉄五郎（1885-1927）／庫／1918年／カンヴァス・油彩

## 展示室 C・D

## ◆美術家たちとそれぞれの戦争、あるいは分断

ベン・シャーン（1898-1969）／これがナチの残虐だ／1942年／紙・オフセット

ベン・シャーン（1898-1969）／ラッキードラゴン／1960年／綿布・テンペラ

ベン・シャーン（1898-1969）／《リルケ『マルテの手記』より 一行の詩のためには…》より『多くの都市を』／1968年／紙・リトグラフ  
アンドリュー・ワイエス（1917-2009）／松ぼっくり男爵／1976年／ボード・テンペラ

野地 正記（1914-1997）／スダマティ（死んでしまった）／1948年／紙・水彩

橋本章（1919-2003）／武装する都市／1979年／カンヴァス・油彩

吉井 忠（1908-1999）／くるみを割る自画像／1941年／カンヴァス・油彩



若松 光一郎 (1914-1995) / 戦時下の女たち / 1944年 / カンヴァス・油彩

麻生 三郎 (1913-2000) / 家族 / 1959年 / カンヴァス・油彩

浜田 知明 (1917-2018) / 初年兵哀歌(歩哨) / 1951年 / 紙・エッチング、アクアチント / 河野保雄コレクション

浜田 知明 (1917-2018) / 初年兵哀歌(歩哨) / 1954年 / 紙・エッチング・メゾチント

糸園 和二郎 (1911-2001) / 夜 / 1973年 / カンヴァス・油彩

秀島 由己男 (1934-2018) / 霊歌〈ベトナム〉 / 1971年 / 紙、雁皮紙貼・メゾチント

瀬戸 正人 (1953-) / 祖父ハットの墓参り。ナムディン地区 / 1983年 / ゼラチン・シルバー・プリント

瀬戸 正人 (1953-) / ファンティ家の一族と母。《バンコク、ハノイ》1982-1987年 (43) / ゼラチン・シルバー・プリント

瀬戸 正人 (1953-) / ラマ1世通りとパヤタイ通りの交差点付近。《バンコク、ハノイ》1982-1987年 (6) / ゼラチン・シルバー・プリント

瀬戸 正人 (1953-) / バンコク中央駅の裏通り。早朝。《バンコク、ハノイ》1982-1987年 (1) / ゼラチン・シルバー・プリント

ヤノベケンジ (1965-) / ラッキードラゴン構想模型 / 2008年 / アルミニウム、鉄、真鍮、FRP ほか\*

奈良 美智 (1959-) / 神風ファイター / 2002年 / カンヴァス・油彩\*

小沢 剛 (1965-) / ベジタブル・ウェポン さんまのつみれ鍋 / 東京 / 2001年 / タイプCプリント\*

小沢 剛 (1965-) / ベジタブル・ウェポン ゴーヤーチャンプルー / 沖縄 / 2005年 / タイプCプリント\*

小沢 剛 (1965-) / ベジタブル・ウェポン アルバニア料理 / ニューヨーク / 2002年 / タイプCプリント\*

小沢 剛 (1965-) / ベジタブル・ウェポン 羊肉火鍋 / 北京 / 2002年 / タイプCプリント\*

小沢 剛 (1965-) / ベジタブル・ウェポン ソンロブ / ラサ、中国 / 2006年 / タイプCプリント\*

小沢 剛 (1965-) / ベジタブル・ウェポン カトゴ (野菜とバナナの煮物) / ホイマ、ウガンダ / 2008年 / タイプCプリント\*

小沢 剛 (1965-) / ベジタブル・ウェポン お煮しめ / 福島 / 2011年 / タイプCプリント / 個人蔵

小沢 剛 (1965-) / ベジタブル・ウェポン 芋煮 / 福島 / 2012年 / タイプCプリント / 個人蔵

#### 屋外・ホール彫刻

ジャコモ・マンズー (1908-1991) / 車に乗った子供 / 1982年 / ブロンズ

林 範親 (1948-) / 『路地裏』 / 1994 (平成6)年 / ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具

佐藤 忠良 (1912-2011) / 『若い女・シャツ』 / 1982 (昭和57)年 / ブロンズ

エミリオ・グレコ (1913-1995) / 『スケートをする女』 / 1951年 / ブロンズ

マリノ・マリーニ (1901-1980) / 『騎手』 / 1956-57年 / ブロンズ

ヘンリー・ムーア (1898-1986) / 母と子：腕 / 1980年 / ブロンズ

井上 武吉 (1930-1998) / 『My Sky Hole 89-2』 / 1989 (平成元)年 / ステンレス・鏡面磨き

フェルナン・レジェ (1881-1955) / 『歩く花』 / 1952-53年 原型作成 / ブロンズ・エナメル塗装\*

#### ④ 「第IV期常設展」

会期：令和5年1月5日(木)～3月5日(日)

内容：・現代の日本画：田淵俊夫《惶I》ほか

・抽象の絵画：山口長男《垣》ほか

・印象派の名品：クロード・モネ《ジヴェルニーの草原》ほか

・河野保雄コレクション：長谷川利行《ねこ》ほか

出品リスト (\*は寄託作品)

#### 展示室A

##### ◆日本画の名品

速水 御舟 (1894-1935) / 晩冬の桜 / 1928年 / 絹本着色

下村 観山 (1873-1930) / 寒空 / 1923年 / 絹本着色・軸装

村上 華岳 (1888-1939) / 早春風景 / 1919年頃 / 絹本着色・軸装

酒井 三良 (1897-1969) / 左義長 / 1920年 / 絹本着色・軸装

酒井 三良 (1897-1969) / 雪に埋もれつつ正月はゆく / 1919年 / 絹本着色・屏風二曲一隻

福田 豊四郎 (1904-1970) / ふるさとへ帰る / 1964年 / 紙本着色・屏風四曲一隻

佐藤 玄々 (朝山) (1888-1963) / 山兔 / 1951年頃 / 木彫

佐藤 玄々 (朝山) (1888-1963) / 冬眠 / 1928年 / 木彫 / 横井美恵子コレクション

山本 丘人 (1900-1986) / 月夜の噴煙 / 1962年 / 絹本着色

太田 正弘 (1914-1978) / 野の冬 / 1975年 / 紙本着色

田淵 俊夫 (1941-) / 惶I / 2012年 / 紙・墨

今井 珠泉 (1930-2023) / 夕照 / 1967年 / 紙本着色

齋藤 隆 (1943-) / 貌I / 2003年 / 紙本墨画

齋藤 隆 (1943-) / 貌V / 2003年 / 紙本墨画

齋藤 隆 (1943-) / 貌VII / 2005年 / 紙本墨画

齋藤 隆 (1943-) / 私は誰なのか(もしくはアダムとイブ) / 1984年 / 紙・コンテ

齋藤 隆 (1943-) / 空花Iのための下絵 / 2010年 / 和紙・墨

齋藤 隆 (1943-) / 空花IIのための下絵 / 2010年 / 和紙・墨

##### ◆関根正二と大正期の洋画

木村 荘八 (1893-1958) / 母の像 / 1912年 / 板・油彩

萬 鉄五郎 (1885-1927) / 庫 / 1918年 / カンヴァス・油彩

岸田 劉生 (1891-1929) / 静物(白き花瓶と台皿と林檎四個) / 1918年 / カンヴァス・油彩

関根 正二 (1899-1919) / 真田吉之助夫妻像 / 1918年 / カンヴァス・油彩

関根 正二 (1899-1919) / 姉弟 / 1918年 / カンヴァス・油彩

#### 展示室B

##### ◆抽象絵画

堂本 尚郎 (1928-2013) / コンポジション / 1954-59年 / カンヴァス・油彩

齋藤 義重 (1904-2001) / 作品13 / 1961年 / 合板・油彩

山口 長男 (1902-1983) / 垣 / 1962年 / 板・油彩

村井 正誠 (1905-1999) / 風の人 / 1968年 / カンヴァス・油彩

山田 正亮 (1930-2010) / Work D-321 / 1979年 / カンヴァス・油彩

山田 正亮 (1930-2010) / Work D-325 / 1979年 / カンヴァス・油彩

宇田 義久 (1966-) / water-line 07-1 (white) / 2007年 / パネル・糸・アクリル・ウレタンニス

野見山 暁治 (1920-) / ある歲月 / 2011年 / カンヴァス・油彩

堂本 右美 (1960-) / いきる15 / 2011年 / カンヴァス・油彩

橋本章(1919-2003)／地平／1961年／板・塗料・砂  
 若松光一郎(1914-1995)／変容／1975年／カンヴァス・コラージュ  
 田口安男(1930-)／みもぎの手／1984年／カンヴァス・油彩・テンペラ  
 オノサト・トシノブ(1912-1986)／シルク No.10／1967年／紙・シルクスクリーン  
 オノサト・トシノブ(1912-1986)／シルク No.18／1968年／紙・シルクスクリーン  
 黒崎彰(1937-2019)／失われた楽園3／1972年／紙・木版・シルクスクリーン  
 黒崎彰(1937-2019)／闇のコンポジションA／1970年／紙・木版  
 斎藤清(1907-1997)／土器(A)／1952年／紙・木版  
 斎藤清(1907-1997)／土器(B)／1952年／紙・木版  
 斎藤清(1907-1997)／土器とハニワ／1954年／紙・木版  
 斎藤清(1907-1997)／障子(D)／1964年／紙・木版  
 斎藤清(1907-1997)／石庭・京都(C)／1965年／紙・木版  
 斎藤清(1907-1997)／夕陽／1972年／紙・木版  
 吾子可苗(1980-)／cocoon／2014年／漆・和紙・麻布・木・金粉・錫粉\*  
 黒沼令(1978-)／呟く人／2010年／桂・エゾ松・樺・彩色\*

#### 展示室C

##### ◆印象派と海外の名品

クロード・モネ(1840-1926)／ジヴェルニーの草原／1890年／カンヴァス・油彩  
 カミーユ・ピサロ(1830-1903)／エラニーの菜園／1899年／カンヴァス・油彩  
 ピエール＝オーギュスト・ルノワール(1841-1919)／帽子を被る女／制作年不詳／カンヴァス・油彩  
 マルク・シャガール(1887-1985)／少年時代の思い出／1958年／紙・銅版  
 ジョン・スローン(1871-1951)／ジェファーソンマーケット・ナイト／1911年／カンヴァス・油彩  
 アンドリュウ・ワイエス(1917-2009)／ドイツ人の住むところ／1973年／紙・水彩  
 アンドリュウ・ワイエス(1917-2009)／冬の水車小屋／1978年／紙・水彩  
 ベン・シャーン(1898-1969)／トム・ムーニーの母親に挨拶するジミー・ウォーカー／1932-33年／紙・グアッシュ  
 ベン・シャーン(1898-1969)／W. P. A. サンデー／1939年／紙・グアッシュ  
 ベン・シャーン(1898-1969)／これらあらゆる権利のために我々は闘いを開始したのだ／1946年／紙・リトグラフ  
 ベン・シャーン(1898-1969)／ニューヨーク市・8番街・33丁目・ニューヨーク中央郵便局／1933-34年／インクジェット・プリント  
 ベン・シャーン(1898-1969)／ニューヨーク市・ウェルフェア島・ブラックウェル島刑務所／1934年5-6月／インクジェット・プリント  
 ベン・シャーン(1898-1969)／ニューヨーク・ニュー・ハンプトン・ニューヨーク市立少年院／1934年5-6月／インクジェット・プリント  
 ベン・シャーン(1898-1969)／ニューヨーク市／1932-35年／インクジェット・プリント  
 ベン・シャーン(1898-1969)／ニューヨーク市・6番街／1932-35年／インクジェット・プリント  
 ベン・シャーン(1898-1969)／ニューヨーク市・ウェスト通／1933-35年／インクジェット・プリント

ベン・シャーン(1898-1969)／テネシー州・マーフリーズボロ／1935年10月／インクジェット・プリント  
 ベン・シャーン(1898-1969)／ニューヨーク市・パワリー／1936年4月／インクジェット・プリント  
 ベン・シャーン(1898-1969)／オハイオ州・ニュー・カーライル・競売／1938年7月30日／インクジェット・プリント

#### 展示室D

##### ◆河野保雄コレクション

長谷川利行(1891-1940)／ねこ／制作年不詳／ガラス・油彩  
 長谷川利行(1891-1940)／湯浴する女／制作年不詳／ガラス・油彩  
 鶴岡政男(1907-1979)／鳩を持つ少女／1954年／ガラス・油彩  
 鶴岡政男(1907-1979)／凝視／1953年／ガラス・油彩  
 糸園和三郎(1911-2001)／椿／1954年／ガラス・油彩・コラージュ  
 糸園和三郎(1911-2001)／鳥／制作年不詳／ガラス・油彩  
 北川民次(1894-1989)／教会に集る群れ／1962年／ガラス・油彩  
 桂ゆき(1913-1991)／ブドウとキツネ／制作年不詳／ガラス・油彩  
 桂ゆき(1913-1991)／アフリカの思ひ出／1954年／ガラス・油彩  
 松本榮(1927-2007)／辻音楽師(メキシコ)／1997年／ガラス・油彩  
 大沢昌助(1903-1997)／青い坐像／制作年不詳／ガラス・油彩  
 吉井忠(1908-1999)／飯坂から見た吾妻山／1996年／ガラス・油彩  
 清宮質文(1917-1991)／蠟燭／1988年／ガラス・水彩  
 清宮質文(1917-1991)／夜明け／制作年不詳／ガラス・水彩  
 萩原守衛(1879-1910)／洗濯する女／1909年／ブロンズ  
 鶴岡政男(1907-1979)／鳥／1951年／ブロンズ  
 桂ゆき(1913-1991)／女／制作年不詳／ブロンズ  
 桂ゆき(1913-1991)／躍動するカップ／1965年／ブロンズ  
 陽成二(1898-1935)／支那人の皿廻し／1928年／ブロンズ  
 中村直人(1905-1981)／楽器／1970年／ブロンズ

#### 屋外・ホール彫刻

ジャコモ・マンズー(1908-1991)／車に乗った子供／1982年／ブロンズ  
 林範親(1948-)／『路地裏』／1994(平成6)年／ナラ、ヒバ、古材・アクリル絵具  
 佐藤忠良(1912-2011)／『若い女・シャツ』／1982(昭和57)年／ブロンズ  
 エミリオ・グレコ(1913-1995)／『スケートをする女』／1951年／ブロンズ  
 マリノ・マリーニ(1901-1980)／『騎手』／1956-57年／ブロンズ  
 ヘンリー・ムーア(1898-1986)／母と子：腕／1980年／ブロンズ  
 井上武吉(1930-1998)／『My Sky Hole 89-2』／1989(平成元)年／ステンレス・鏡面磨き  
 フェルナン・レジェ(1881-1955)／『歩く花』／1952-53年 原型作成／ブロンズ・エナメル塗装\*

## 2 特集展示

### (1) みんな大好き！福島ねこづくし展



A4 チラシ

会 期：令和 4 年 7 月 23 日(土)～ 8 月 21 日(日) 開催日数 26 日

分 野：日本画、洋画、版画、彫刻

展示数：378 点

観覧料：常設展料金

観覧者数：4,525 名

担 当：橋本恵里、宮武 弘

関連事業：

・スライドトーク「福島の猫神と猫絵馬」

日時：7 月 31 日(日) 14:00-15:00

講師：石黒伸一朗氏（村田町歴史みらい館館長）

場所：美術館講堂（聴講無料）

参加者数：68 名

・関連ワークショップ「猫絵馬作りに挑戦！」

内容：台紙とペンで自由な猫絵馬を制作。

期間：本展開催中 通期

場所：美術館エントランスホール（参加無料）

参加者数：約 900 名

概要：

福島は知られざる猫天国？だった。養蚕がさかんとなった明治以降の福島県では、蚕の天敵・ネズミを駆除する猫は重宝がられ、はては“神”として祀られた。川俣町に猫を祭神とする猫稲荷神社がつくられたのをはじめ、各地に猫をあがめる民間信仰が生まれたのである。この小企画は、当館所蔵作品から身近な愛玩動物として画家たちが描いた猫の作品や、福島県川俣町に伝わる民間信仰としての猫の姿をとおして、近年の猫ブームの底流をさぐる試みとなった。

また会期中はエントランスホールで関連ワークショップを開催。夏休み期間でもあり多くの利用者が賑わいを見せた。



展示風景



関連ワークショップ



スライドトーク

## 出品リスト：

[No. / 作家名 / 作品名 / 制作年 / 材質技法]

## ◆第1章 見つけた！美術のなかの猫たち

## (1) キマッてる！モデル猫たち

- 1 / 佐藤玄々 (朝山) / 麝香猫 / 1954年 / ブロンズ
- 2 / 斎藤清 / 競艶 / 1973年 / 紙・木版
- 3 / 斎藤清 / 猜疑 / 1973年 / 紙・木版
- 4 / 斎藤清 / あれっ三姿 / 1987年 / 紙・木版
- 5 / 会津勝巳 / 叢苑 / 1928年 / 紙本着色 / \* 寄託作品
- 6 / 佐藤玄々 (朝山) / 猫 / 1947年 / 紙本墨画淡彩
- 7 / 斎藤清 / 凝視 (猫) / 1948年 / 紙・木版
- 8 / 斎藤清 / 凝視 (二匹の猫) / 1952年 / 紙・木版
- 9 / 斎藤清 / 凝視 / 1971年 / 紙・木版
- 10 / 斎藤清 / 凝視 (B) / 1957年 / 紙・木版
- 11 / 斎藤清 / 猫 (1) / 1963年 / 紙・コラグラフ
- 12 / 斎藤清 / 猫 (2) / 1963年 / 紙・コラグラフ
- 13 / 斎藤清 / 猫 (3) / 1963年 / 紙・コラグラフ
- 14 / 斎藤清 / 猫 (4) / 1963年 / 紙・コラグラフ
- 15 / 斎藤清 / 猫 (5) / 1963年 / 紙・コラグラフ
- 16 / 斎藤清 / 猫 (6) / 1963年 / 紙・コラグラフ
- 17 / 佐藤玄々 (朝山) / 牝猫 / 1928年 / 木彫 / 横井美恵子コレクション

## (2) 猫かわいい。小さきものたち

- 18 / 渡部菊二 / 猫1 / 制作年不詳 / 紙・鉛筆
- 19 / 渡部菊二 / 猫2 / 制作年不詳 / 紙・鉛筆
- 20 / 藤森静雄 / 路傍の小猫 / 1929年 / 紙・木版
- 21 / 斎藤清 / 愛撫 (A) / 1953年 / 紙・木版
- 22 / 井上長三郎 / ねこ / 制作年不詳 / 紙・水彩 / 川妻さち子コレクション
- 23 / 井上長三郎 / ねこ / 制作年不詳 / カンヴァス・油彩 / 河野保雄コレクション
- 24 / 山口 薫 / 菱形の池のある庭 / 1969年 / 紙・水彩 / 河野保雄コレクション
- 25 / 池部 鈞 / 猫 / 1951年 / カンヴァス・油彩 / 河野保雄コレクション
- 26 / 長谷川利行 / ねこ / 制作年不詳 / ガラス・油彩 / 河野保雄コレクション

## (3) 一緒に暮らそう。生活のなかの猫

- 27 / 春日部たすく / 魚の番をする猫たち / 1956年 / 紙・水彩
- 28 / 室井東志生 / 僚 / 1984年 / 紙本着色
- 29 / 酒井三良 / 雪に埋もれつつ正月はゆく / 1919年 / 絹本着色
- 30 / 春日部たすく / 死 / 1957年 / 紙・水彩
- 31 / 春日部たすく / 猫曼陀羅 / 1958年 / 紙・水彩

## ◆第2章 お願い！猫神さま 川俣町猫稲荷神社の絵馬たち

出品作品全て、川俣町猫稲荷神社の絵馬群より 347点

### 3 企画展

#### (1) 写真展 岩合光昭の世界ネコ歩き2 & どうぶつ家族



A4 チラシ

会 期：令和4年3月19日(土)～5月22日(日)

開催日数 56日 (令和4年度 45日)

分 野：写真

展示数：約 260 点

主 催：福島県立美術館、福島民報社

後 援：NHK 福島放送局

企画協力：株式会社 NHK エンタープライズ

企画制作：クレヴィス

観覧料：一般・大学生 1,000 (800) 円、高校生 600 (500) 円、

小・中学生 400 (300) 円 ※ ( ) 内は 20 名以上の団体料金

観覧者数：19,094 名 (令和3年度 3,022 名)

担 当：橋本恵里、荒木康子、大北 孝

関連事業：

・岩合光昭ギャラリートーク

日時：4月29日(金) ① 11:00～11:30 ② 14:00～14:30

場所：企画展示室 参加者数：①②各 100 名

・岩合光昭サイン会

日時：4月29日(金) ① 11:30～12:30 ② 14:30～15:30

場所：講堂 参加者数：① 250 名 ② 130 名

・関連イベント「自慢のネコちゃん写真大募集」

自慢のネコちゃんの写真を応募いただき、エントランスホールで展示する。

受付期間：3月19日(土)～4月30日(日)

概要：

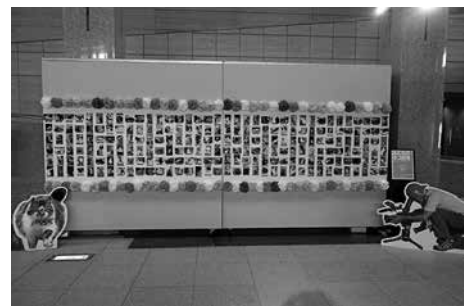
岩合光昭は、動物写真家としていまや世界中にファンを持つ、人気と実力を兼ね備えた作家である。近年話題となったシリーズに「岩合光昭の世界ネコ歩き2」(NHKBSで放映中)や「どうぶつ家族」がある。本展は、この2シリーズを同時に展示し、動物写真家・岩合光昭の世界を約260点の作品で味わう初めての展覧会。ネコたちの屈託のない立ち振る舞いや、動物たちの飾らない愛情に満ちた表情は、東日本大震災から10年以上を経て、あらためて命の尊さ、家族の絆、生命の循環といった普遍的な問題を考える機会を提供してくれるだろう。



展示風景



ギャラリートーク



関連イベント

出品リスト：

[No./ 作品名] ※出品番号のない作品については未陳列

◆岩合光昭の世界ネコ歩き 2

1-10	アメリカ/ニューヨーク	1	
11-20	カナダ/プリンス・エドワード島	2, 4	ケニア/マサイラ国立保護区
21-23	ペルー/ティティカカ湖	5	タンザニア/ンゴロンゴロ保全地域
24	ペルー/ヤナワラ村	6	
25	ペルー/クスコ	7	タンザニア/ンゴロンゴロ保全地域
26-29	ペルー/サクサイワマン	8	タンザニア/セレンゲティ国立公園
30-32	ペルー/オリヤンタイタンボ	9	
33	チリ/バルパライソ	10-14	タンザニア/セレンゲティ国立公園
34-35	チリ/マイポ・ヴァレー	15	ケニア/アンボセリ国立公園
36-40	チリ/サンティアゴ	16	タンザニア/マニヤラ湖国立公園
41-45	チリ/バルパライソ	18	ケニア/ナクル湖国立公園
46-54	ブラジル/リオデジャネイロ	19	南アフリカ/ボンデボック国立公園
55-58	スペイン/カピレイラ	20	タンザニア/セレンゲティ国立公園
59	スペイン/クエンカ	22	マダガスカル/ベレンティ保護区
60-63	スペイン/パトネス・デ・アリーバ	23	インド/ナガラオール国立公園
64-68	スペイン/アラルコン	24-25	インドネシア/ボルネオ島
69	スペイン/アタルベイタル	27	インドネシア/タンジュンプティン国立公園
70-72	スペイン/マドリッド	28	
73-75	イングランド/プリストル	29	中国/臥龍ジャイアントパンダ保護研究センター
76-81	イングランド/コッツウォルズ	31	オーストラリア/スタート国立公園
82-83	スコットランド/エディンバラ	32	オーストラリア/カンガルー島
85	スコットランド/ダンディ	34	オーストラリア/マチソン川流域
86-90	スコットランド/グラスゴー郊外	35-36, 38	オーストラリア/カンガルー島
91-92	スコットランド/スターリング	40	インドネシア/ツカンブシ諸島
93-96	オランダ/ストンブウェイク	44, 47	日本/長野県、地獄谷温泉
97-102	オランダ/アムステルダム	49	カナダ/ジャスパー国立公園
103-105	チェコ/チェスキー・クルムロフ	51	カナダ/コーツ島
106-108	チェコ/プラハ郊外	53	カナダ/マニトバ州
109-111	チェコ/ホシン	54-55	カナダ/ウェージャーベイ
112-120	モルドバ/キシナウ	56	カナダ/ハドソン湾
121-122	モルドバ/クリコバ	57	南極半島
123-124	モルドバ/キシナウ	58	南極/ウェッデル海
125-130	アラブ首長国連邦/アル・アイン	61-62	タンザニア/セレンゲティ国立公園
131-134	アラブ首長国連邦/ドバイ	64	ケニア/ナクル湖国立公園
135-138	スリランカ/ヌワラエリヤ	69	オーストラリア/キンチェガ国立公園
139-144	スリランカ/ゴール	71-72	ケニア/アンボセリ国立公園
145-147	オーストラリア/ミラ・ミラ	75	ケニア/ナクル湖国立公園
148	オーストラリア/マリーバ	76	タンザニア/セレンゲティ国立公園
149	オーストラリア/ケアンズ郊外	81	インド/ランタンボール国立公園
150-152	オーストラリア/ケアンズ	82	カナダ/ハドソン湾
153-156	オーストラリア/ヤラ・バレー	85	タンザニア/セレンゲティ国立公園
157-161	バリ島/ジャティレイ	86	南アフリカ/クルーガー国立公園近郊
162-164	バリ島/ウブド	88	インドネシア/サンガラキ島
165-166	バリ島/デンパサール	90-98	カナダ/セントローレンス湾
167	バリ島/ジャンバランビーチ	99	カナダ/ハドソン湾
168-169	日本/香川県、男木島	100-102	タンザニア/ンゴロンゴロ保全地域
170-173	日本/愛媛県、青島	103-104	オーストラリア/スタート国立公園
174-175	日本/香川県、佐柳島	111-112	タンザニア/セレンゲティ国立公園
		120-121	アメリカ/ハワイ州・マウイ島沖
		132-135	タンザニア/セレンゲティ国立公園

ふくしまのねこ 10点

◆どうぶつ家族

## (2) 東北へのまなざし 1930-1945



A4 チラシ

会 期：令和4年6月4日(土)～7月10日(日) 開催日数32日  
分 野：工芸、民俗、建築、写真、絵画、版画  
展示数：380点  
主 催：福島県立美術館、日本経済新聞社  
特別協力：公財 日本民藝館  
観覧料：一般・大学生1,000(800)円、高校生600(500)円、  
小・中学生400(300)円 ※ ( ) 内は20名以上の団体料金  
観覧者数：2,639名  
担 当：堀 宜雄

### 関連事業：

・講演会「リュックを背負った芭蕉！ -ドイツ人建築家が見た昭和初期の東北」

日時：令和4年6月5日(日) 14:00-15:30

講師：沢 良子氏（建築史家、福島学院大学副学長）

場所：美術館講堂（聴講無料）

参加者数：50名

・公開対談「アウト・オブ・民藝 東北へのまなざし編」

日時：6月25日(土) 14:00-15:30

講師：軸原ヨウスケ氏（デザイナー）× 中村裕太氏（美術家）

場所：美術館講堂（聴講無料）

参加者数：56名

・ギャラリートーク

日時：①6月12日(日) ②7月1日(金)

参加者数：①15名 ②20名

### 概要：

1930年代、時代の先端を見ていた人々が、東北地方を訪れ、その土地の建築や人々の生活用品に注目した。建築家ブルーノ・タウト、柳宗悦、シャルロット・ペリアンなどがそれで、郷土玩具を蒐集した武井武雄や、東北出身の「考現学」の祖・今和次郎や、東北生活美術研究会展を主導した吉井忠なども、故郷の人々と暮らしを見つめ直している。本展は、こうした複層的な東北を見つめる「眼」とおとして、あらためて東北のくらしと文化について考えるものであった。後進的、周縁とみなされてきた東北地方は、豊饒なる文化の揺籃として脚光をあびた時期があったことを、300点を超える資料群で検証する展覧会となった。岩手県立美術館、東京ステーションギャラリーとの共同企画。



展示風景



講演会



公開対談



ギャラリートーク

## 出品リスト：

[No. / 作品名 / 作家名 / 制作年 / 材質技法 / 所蔵]

## ◆I. ブルーノ・タウトの東北「探検」

- I\_1 / 箱ぞり // 昭和期 / 木、金属 / 秋田県立博物館  
 I\_2 / ソリ(子供用) // 昭和期 / 木、金具 / 秋田県立博物館  
 I\_3 / ミノゲラ // 昭和期 / 草、海藻 / 秋田県立博物館  
 I\_4 / ササゲラ // 昭和期 / 笹、草 / 秋田県立博物館  
 I\_5 / 鶴亀模様祝いゲラ // 昭和期 / 布、海藻等 / 秋田県立博物館  
 I\_6 / ミノボッチ // 昭和期 / 草 / 秋田県立博物館  
 I\_7 / てっぽうはだこ // 昭和期 / 木綿 / 秋田県立博物館  
 I\_8 / すねこでたち // 昭和期 / 木綿 / 秋田県立博物館  
 I\_9 / かんじき // 昭和期 / 木、藁 / 秋田県立博物館  
 I\_10 / フミダワラ(踏み俵) // 昭和期 / 藁 / 秋田県立博物館  
 I\_11 / ワラグツ // 昭和期 / 藁、木綿 / 秋田県立博物館  
 I\_12 / ワラグツ // 昭和期 / 藁、木綿 / 秋田県立博物館  
 I\_13 / ワラグツ // 昭和期 / 藁 / 秋田県立博物館  
 I\_14 / ワラゾウリ(アシナカ) // 昭和期 / 藁 / 秋田県立博物館  
 I\_15 / ワラゾウリ // 昭和期 / 藁、木綿 / 秋田県立博物館  
 I\_16 / 馬クツ // 昭和期 / 藁 / 秋田県立博物館  
 I\_17 / 雪ベラ // 昭和期 / 木、麻紐 / 秋田県立博物館  
 I\_18 / 雪ベラ // 昭和期 / 木 / 秋田県立博物館  
 I\_19 / 雪ベラ // 昭和期 / 木 / 秋田県立博物館  
 I\_20 / 木ボラ // 昭和期 / 木 / 秋田県立博物館  
 I\_21 / 祝儀棒(ぼんでんこ) 2本 // 昭和期 / 彩色・木 / 秋田県立博物館  
 I\_22 / 自在鉤 // 昭和期 / 木、金具 / 秋田県立博物館  
 I\_23 / エヅメ(嬰詰) // 昭和期 / 藁 / 秋田県立博物館  
 I\_24-1 / 中山人形 えじこ // 昭和初期 / 彩色・土 / 秋田県立博物館  
 I\_24-2 / 中山人形 凧を持つ子 // 昭和初期 / 彩色・土、糸 / 秋田県立博物館  
 I\_24-3 / 中山人形 ハチ公 // 昭和初期 / 彩色・土 / 秋田県立博物館  
 I\_24-4 / 中山人形 おぼこ座像 // 昭和初期 / 彩色・土 / 秋田県立博物館  
 I\_24-5 / 中山人形 雪の子そり遊び // 昭和初期 / 彩色・土、糸 / 秋田県立博物館  
 I\_25 / 雪国の市場 / 勝平得之 / 1931年 / 木版・紙 / 秋田市立赤れんが郷土館  
 I\_26 / 雪の街 / 勝平得之 / 1932年 / 木版・紙 / 秋田市立赤れんが郷土館  
 I\_27 / 雪むろ / 勝平得之 / 1932年 / 木版・紙 / 秋田市立赤れんが郷土館  
 I\_28-1 / 秋田風俗人形 博労 / 勝平得之 / 昭和初期 / 彩色・木 / 秋田市立赤れんが郷土館  
 I\_28-2 / 秋田風俗人形 秋田犬 / 勝平得之 / 昭和初期 / 彩色・木 / 秋田市立赤れんが郷土館  
 I\_28-3 / 秋田風俗人形 博労 / 勝平得之 / 昭和初期 / 彩色・木 / 秋田市立赤れんが郷土館  
 I\_28-4 / 秋田風俗人形 まわし / 勝平得之 / 昭和初期 / 彩色・木 / 秋田市立赤れんが郷土館  
 I\_28-5 / 秋田風俗人形 少女 / 勝平得之 / 昭和初期 / 彩色・木 / 秋田市立赤れんが郷土館  
 I\_28-6 / 秋田風俗人形 仙人 / 勝平得之 / 昭和初期 / 彩色・木 / 秋田市立赤れんが郷土館

- I\_28-7 / 秋田風俗人形 雪ベラ / 勝平得之 / 昭和初期 / 彩色・木 / 秋田市立赤れんが郷土館  
 I\_29 / 料治熊太編『版藝術』33号 // 1934年12月 / 雑誌(白と黒社) / 秋田市立赤れんが郷土館  
 I\_30 / 勝平得之『民俗版画集』全20集 // 1935年以降 / 3枚組絵はがき / 秋田市立赤れんが郷土館  
 I\_31 / ブルーノ・タウト 勝平得之宛書簡 // 1935年12月2日 / 書簡 / 秋田市立赤れんが郷土館  
 I\_32 / ブルーノ・タウト 勝平得之宛書簡 // 1936年2月13日 / 書簡 / 秋田市立赤れんが郷土館  
 I\_33 / 勝平得之 タウト旅程のためのメモ // 1936年 / スケッチブック / 秋田市立赤れんが郷土館  
 I\_34 / 秋田の冬市(『日本の家屋と生活』口絵) 色版摺り工程 / 勝平得之 / 1936年2月 / 木版・紙(4枚) / 秋田市立赤れんが郷土館  
 I\_35 / ブルーノ・タウト『日本の家屋と生活』三省堂 // 1937年 / 書籍 / 秋田市立赤れんが郷土館  
 I\_36 / 『文藝春秋』15巻3号 // 1937年3月 / 雑誌(文藝春秋社) / 個人蔵  
 I\_37 / 勝平得之「秋田に於けるタウトさん」原稿 // 1939年頃 / インク・原稿用紙 / 秋田市立赤れんが郷土館  
 I\_38 / 仙台鉄道局編纂『東北の民俗』日本旅行協会 // 1937年 / 書籍 / 個人蔵  
 I\_39 / ブルーノ・タウト 工藝指導所関係原稿 // 1933-34年 / カーボンコピー・紙 / 岩波書店(早稲田大学図書館寄託)  
 I\_40 / ブルーノ・タウト「工藝指導所の創造的發展に関する提案と問題提起」原稿 // 1933-34年 / インク、鉛筆・紙 / 岩波書店(早稲田大学図書館寄託)  
 I\_41 / ブルーノ・タウト 工藝指導所関連翻訳原稿 // 1933-34年 / インク・紙 / 岩波書店(早稲田大学図書館寄託)  
 I\_42 / 『工藝指導』3号 // 1930年9月 / 雑誌(商工省工藝指導所) / 山鬼文庫  
 I\_43 / 『工藝ニュース』2巻9号 // 1933年9月 / 雑誌(商工省工藝指導所編、工政会出版部) / 個人蔵  
 I\_44 / 『復刻版 工藝ニュース』1期2巻 国書刊行会 // 2013年 / 書籍 / 山鬼文庫  
 I\_45 / 『復刻版 工藝ニュース』1期3巻 国書刊行会 // 2013年 / 書籍 / 山鬼文庫  
 I\_46 / ライトスタンド1・A型 / ブルーノ・タウト(原型指導) / 1933年原型指導・1984年復元 / 青銅鑄造、和紙 / 仙台市博物館  
 I\_47 / ライトスタンド1・B型 / ブルーノ・タウト(原型指導) / 1933年原型指導・1984年復元 / 真鍮、アクリル / 仙台市博物館  
 I\_48 / ライトスタンド1・D型 / ブルーノ・タウト(原型指導) / 1933年原型指導・1984年復元 / 白銅、アルミ / 仙台市博物館  
 I\_49 / 椅子(規範原型 タイプC) / ブルーノ・タウト(原型指導) / 1933年原型指導 / 木 / 仙台市博物館  
 I\_50 / 木製自在本立て / ブルーノ・タウト(デザイン) / 1934年 / 木、金属 / 群馬県立歴史博物館  
 I\_51 / 裁縫箱 / ブルーノ・タウト(デザイン) / 1934年 / 着色・竹 / 群馬県立歴史博物館  
 I\_52 / 竹製傘取っ手 各種 / ブルーノ・タウト(デザイン) / 1934年 / 竹 / 群馬県立歴史博物館  
 I\_53 / 卵殻螺鈿丸形パウダーケース / ブルーノ・タウト(デザイン) / 1934年 / 漆、卵殻・木 / 群馬県立歴史博物館



- L\_54 / 卵殻螺鈿角形シガレットケース / ブルーノ・タウト (デザイン) / 1934年 / 漆、卵殻・木 / 群馬県立歴史博物館
- L\_55 / デッサン (卵殻パウダーケース) / ブルーノ・タウト / 1935年3月1日 / 鉛筆・紙 / 群馬県立歴史博物館
- L\_56 / デッサン (コンパクトケース) / ブルーノ・タウト / 1934年9月4日 / 鉛筆、水彩・紙 / 群馬県立歴史博物館
- L\_57 / マガジンラック / ブルーノ・タウト (デザイン) / 1935年 / 竹 / 山形県立博物館
- L\_58 / デッサン (メロンバスケット) / ブルーノ・タウト / 1935年8月12日 / 鉛筆、水彩・紙 / 群馬県立歴史博物館
- L\_59 / ハンドバッグ / ブルーノ・タウト (デザイン) / 1935年 / 竹、金属 / 山形県立博物館
- L\_60 / リキュールボトル、グラスセット / ブルーノ・タウト (デザイン) / 1936年以降 / ガラス、塗料・木 / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_61 / デッサン (リキュールボトル) / ブルーノ・タウト / 1936年7月11日 / 鉛筆、水彩・紙 / 群馬県立歴史博物館
- L\_62 / 置き時計 / ブルーノ・タウト (デザイン) / 1935年 / 木、金属 / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_63 / 木製小筆筒 / ブルーノ・タウト (デザイン) / 1937年 / 木、金属 / 群馬県立歴史博物館
- L\_64 / ブルーノ・タウト 履歴書・著作目録 // 1933-36年 / インク・紙 / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_65 / ブルーノ・タウト 日記 I-VIII 8冊及び索引 // 1933年 / 鉛筆、カーボンコピー・紙 / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_66 / ブルーノ・タウト 手帳 7冊 // 1933-38年 / インク、鉛筆・紙 / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_67 / ブルーノ・タウト メモ帳 3冊 // 1933-34年 / インク、鉛筆、水彩・紙 / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_68 / ブルーノ・タウト 写真アルバム I-IV 4冊 // 1933-36年 / 写真アルバム / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_69 / 仙台近郊鎌倉山 / ブルーノ・タウト / 1933年11月12日頃 / 墨画・紙 (色紙) / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_70 / 松島 / ブルーノ・タウト / 1933年11月18日以降 / 墨画・紙 (色紙) / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_71 / 仙台、銀杏と絵馬 / ブルーノ・タウト / 1933年11月23日頃 / 淡彩・紙 (色紙) / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_72 / 斎川村 / ブルーノ・タウト / 1934年3月4日 / 墨画淡彩・紙 (色紙) / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_73 / 画帖 桂離宮 / ブルーノ・タウト / 1934年 / 墨画淡彩・紙 / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_74 / タウト印章 / 作者不詳 / 1933年12月1日 / 竹 / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_75 / タウト印章 / 児島喜久雄刻 / 1934年2月18日 / 石 / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_76 / タウト印章 / 楠瀬日年刻 / 1935年10月23日 / 石 / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_77 / タウト印章 / 楠瀬日年刻 / 1935年10月23日 / 石 / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_78 / ブルーノ・タウト 『アルプス建築』 // 1919年 / 書籍 / 東京都市大学図書館 蔵田文庫
- L\_79 / ブルーノ・タウト 『都市の冠』 // 1919年 / 書籍 / 東京都市大学図書館 蔵田文庫
- L\_80 / ブルーノ・タウト 『都市の解体』 // 1920年 / 書籍 / 東京都市大学図書館 蔵田文庫
- L\_81 / ブルーノ・タウト 『宇宙建築師』 // 1920年 / 書籍 / 東京都市大学図書館 蔵田文庫
- L\_82 / 『アサヒグラフ』 21巻24号 // 1933年12月13日 / 雑誌からの1頁 (朝日新聞社) / 個人蔵
- L\_83 / ブルーノ・タウト、平居均訳 『ニッポン—ヨーロッパ人の眼で見た』 第2版 明治書房 // 1934年 / 書籍 / 個人蔵
- L\_84 / ブルーノ・タウト 『日本建築の基礎』 (講演録) 国際文化振興会 // 1936年 / 書籍 / 東京都市大学図書館 蔵田文庫
- L\_85 / ブルーノ・タウト、森嶋郎訳 『日本文化私観』 第8版 明治書房 // 1940年 / 書籍 / 個人蔵
- L\_86 / ブルーノ・タウト、篠田英雄訳 『日本美の再発見—建築学的考察』 (岩波新書) 岩波書店 // 1939年 / 書籍 / 個人蔵
- L\_87 / ブルーノ・タウト、篠田英雄 (1-3巻)・藤島亥治郎 (5巻) 訳 『タウト全集』 1・2・3・5巻 育生社弘道閣 // 1942-44年 / 書籍 / 個人蔵
- L\_88 / ブルーノ・タウト、篠田英雄訳 『日本 タウトの日記』 I-V 岩波書店 // 1950-59年 / 書籍 / 福島県立美術館
- L\_89 / 『NIPPON』 2号 // 1935年1月 / 雑誌 (日本工房) / 東京都市大学図書館 蔵田文庫
- L\_90 / ブルーノ・タウト 「日本工芸のかたち」 原稿 // 1935年3月23日 / インク・紙 / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_91 / 『NIPPON』 3号 // 1935年4月 / 雑誌 (日本工房) / 東京都市大学図書館 蔵田文庫
- L\_92 / ブルーノ・タウト 「奈良」 原稿 2種 // 1935年6月3日 / タイプ打ち・紙、インク・紙 / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_93 / 『TRAVEL IN JAPAN』 1巻3号 // 1935年秋 / 雑誌 (鉄道省国際観光局) / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_94 / ブルーノ・タウト 「日本の村」 原稿 // 1936年 / タイプ打ち・紙 / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_95 / 『TRAVEL IN JAPAN』 2巻3号 // 1936年秋 / 雑誌 (鉄道省国際観光局) / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_96 / ブルーノ・タウト 「いかものとインチキ」 原稿 // 1936年1月28日 / インク・紙 / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_97 / ブルーノ・タウト 「ゲテモノかハイカラか？」 原稿 // 1936年1月29日 / タイプ打ち・紙 / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_98 / ブルーノ・タウト 柳宗悦宛書簡 // 1934年4月10日 / カーボンコピー・紙 / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_99 / ブルーノ・タウト 篠田英雄宛書簡 (スクラップブック) // 1934-38年 / 写真、インク・紙 / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_100 / 『工藝』 42号 // 1934年6月 / 雑誌 (日本民藝協会) / 福島県立美術館
- L\_101 / タウト、柳宗悦と仲間たち // 1934年5月25日 / ゼラチンシルバークラフト / 日本民藝館
- L\_102 / 熱海日向別邸近くにて // 1936年9月20日 / ゼラチンシルバークラフト / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_103 / 画帖 五城瓊謙 (ごじょうけいえん) / 児島喜久雄、木下幸太郎他 / 1934年、1936年 / 墨画淡彩・紙 / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_104 / 亀甲形鉄瓶 / 八代小泉仁左衛門 / 1928年 / 鉄 / 個人蔵
- L\_105 / 蔵田周忠 『ブルーノ・タウト』 (建築新書) 相模書房 // 1937年 / 書籍 / 個人蔵
- L\_106 / タウト肖像写真 / ウラジミール・ゴロフシニコフ / 1933年 / ゼラチンシルバークラフト / 岩波書店 (早稲田大学図書館寄託)
- L\_107 / デスマスク // 1939年頃 / ブロンズ / 岩波書店 (早稲田大学図

書館寄託)

I\_108 / 『国際建築』15巻2号 // 1939年2月 / 雑誌(国際建築協会) / 山鬼文庫

I\_109 / 『復刻版 工芸ニュース』2期1巻 国書刊行会 // 2013年 / 書籍 / 山鬼文庫

I\_110-1 / タウト追悼会関連資料 案内状 // 1939年2月24日 / タイプ打ち・紙 / 岩波書店(早稲田大学図書館寄託)

I\_110-2 / タウト追悼会関連資料 案内状送付名簿 // 1939年 / インク・紙 / 岩波書店(早稲田大学図書館寄託)

I\_110-3 / タウト追悼会関連資料 参会者名簿 // 1939年3月16日 / 鉛筆、インク・紙 / 岩波書店(早稲田大学図書館寄託)

I\_110-4 / タウト追悼会関連資料 参会者名簿(断片) // 1939年 / 鉛筆、インク・紙 / 岩波書店(早稲田大学図書館寄託)

I\_111 / ワルワーラ・プブノワ「ブルーノ・タウトの思い出」原稿 // 1939年頃 / タイプ打ち・紙 / 岩波書店(早稲田大学図書館寄託)

◆II. 柳宗悦の東北美学 ◎展示替あり 上巻:6・4~6・19 中巻:6・21~6・30 下巻7・1~7・10

II\_1 / 柳宗悦『日本民藝美術館設立趣意書』 // 1926年 / 書籍(私版本) / 日本民藝館

II\_2 / 柳宗悦『手仕事の日本』靖文社 // 1948年 / 書籍 / 日本民藝館

II\_3 / 『手仕事の日本』挿絵原画 12種 / 芹沢銈介 / 1945年 / 墨・紙 / 日本民藝館

II\_4 / 日本民藝地図(現在之日本民藝) / 芹沢銈介 / 1941年 / 型絵染・紙(屏風六曲一雙・四曲一雙) / 日本民藝館

II\_5 / こぎん衣裳 / 青森県津軽 / 明治期 / 麻、木綿 / 日本民藝館

II\_6 / 菱刺衣裳 / 青森県南部 / 大正期 / 麻、木綿 / 日本民藝館

II\_7 / 菱刺し股引き(タツツケ) / 青森県南部 / 大正期 / 大麻、木綿 / 日本民藝館

II\_8 / 肩七宝文様刺子袖無し半纏 / 山形県庄内 / 大正期頃 / 木綿、刺子 / 日本民藝館

II\_9 / 椿文様常盤紺型 / 宮城県仙台 / 1934年頃 / 型染、布 / 日本民藝館

II\_10 / 蓑(伊達げら) / 青森県津軽 / 1934年頃 / 紙縫、糸、胡桃皮、科皮 / 日本民藝館

II\_11 / 蓑(伊達げら) / 宮城県 / 1934年頃 / 藁、糸、布 / 日本民藝館

II\_12 / 蓑 / 山形県大石田村 / 1940年 / 藁 / 日本民藝館

II\_13 / 蓑 / 福島県南会津 / 1940年代 / 岩芝、山葡萄皮、麻 / 日本民藝館

II\_14 / 背中当(ぼんどり) / 山形県庄内 / 1939年 / 木綿、ぼろ布 / 日本民藝館

II\_15 / 背中当(ぼんどり) / 山形県庄内 / 1939年 / 藁、科皮、木綿 / 日本民藝館

II\_16 / 雪兜 / 山形県羽後 / 1940年 / 藁、科皮、木綿 / 日本民藝館

II\_17 / 藁手袋 / 山形県 / 1940年頃 / 藁 / 日本民藝館

II\_18 / 藁沓 / 山形県 / 1940年頃 / 藁 / 日本民藝館

II\_19 / 刺子足袋 / 宮城県 / 1940年頃 / 木綿、刺子 / 日本民藝館

II\_20 / 米揚箆 / 岩手県鳥越 / 1934年頃 / 竹 / 日本民藝館

II\_21 / 竹行李 / 岩手県鳥越 / 1930年代 / 竹 / 日本民藝館

II\_22 / 亀の子箆 / 山形県鶴岡 / 1934年頃 / 竹 / 日本民藝館

II\_23 / 手付肥箆 / 山形県庄内 / 1940年頃 / 竹 / 日本民藝館

II\_24 / 文字入小宮(考案:鈴木繁男) / 秋田県角館 / 1942年頃 / 樺 / 日本民藝館

II\_25 / 漆絵牡丹文菓子櫃 / 岩手県盛岡 / 1934年頃 / 木、漆 / 日本民藝館

II\_26 / ひあげ / 岩手県二戸村 / 1934年頃 / 木、漆 / 日本民藝館

II\_27 / 春慶塗わっぱ 浜弁当 / 山形県酒田 / 1930年代 / 木、漆 / 日本民藝館

II\_28 / 海鼠釉片口 / 秋田県檜岡 / 1930年代 / 陶器 / 日本民藝館

II\_29 / 流釉切立壺 / 岩手県長島 / 明治期 / 陶器 / 日本民藝館

II\_30 / 油徳利 / 岩手県久慈 / 1930年代 / 陶器 / 日本民藝館

II\_31 / 焙烙 / 宮城県堤 / 1930年代 / 陶器 / 日本民藝館

II\_32 / 鉄釉海鼠流水甕 / 宮城県堤 / 江戸末期 / 陶器 / 日本民藝館

II\_33 / 白釉片口 / 山形県平清水 / 1930年代 / 陶器 / 日本民藝館

II\_34 / 飴釉白流皿 / 福島県会津津郷 / 1930年代 / 陶器 / 日本民藝館

II\_35 / 白釉緑流蓋物 / 福島県会津津郷 / 1930年代 / 陶器 / 日本民藝館

II\_36 / 海鼠釉鉢 / 福島県館 / 下 / 1940年 / 陶器 / 日本民藝館

II\_37 / 岩七輪 / 秋田県阿仁合 / 1930年代 / 陶器 / 日本民藝館

II\_38 / 笹紋灰ならし / 秋田県羽後 / 1930年代 / 鉄 / 日本民藝館

II\_39 / 蔵戸錠前 / 秋田県大館 / 1934年頃 / 鉄 / 日本民藝館

II\_40 / 羽広鉄瓶 / 山形県山形 / 1934年頃 / 砲金 / 日本民藝館

II\_41 / 灰ならし / 山形県羽前 / 1930年代 / 真鍮 / 日本民藝館

II\_42 / 鬼靄面鍔付湯釜 / 岩手県 / 1930年代後半 / 鉄 / 日本民藝館

II\_43 / 明神堂(祠) / 宮城県堤 / 1930年代 / 陶器 / 日本民藝館

II\_44 / 堤人形 花魁 / 宮城県 / 江戸期 / 彩色・土 / 日本民藝館

II\_45 / 相良人形 / 山形県 / 江戸期 / 彩色・土 / 日本民藝館

II\_46 / 三春人形 橋弁慶 / 福島県三春 / 江戸期 / 彩色・和紙 / 日本民藝館

II\_47 / 黒こけし / 山形県蔵王高湯(推定) / 明治期 / 彩色・木 / 日本民藝館

II\_48 / 東北経鬼門譜 / 棟方志功 / 1937年 / 木版・紙(屏風六曲一雙) / 日本民藝館

II\_49 / 東北経鬼門譜 三幅 / 棟方志功 / 1937年 / 木版・紙 / 日本民藝館

II\_50 / 善知鳥版画巻 / 棟方志功 / 1938年 / 木版・紙(三巻) / 日本民藝館

II\_51 / 不來方板画柵 全二柵のうち「雨ニモ負ケズの柵」 / 棟方志功 / 1952年 / 木版・紙 / 日本民藝館

II\_52 / 『工藝』全120号 // 1931-51年 / 雑誌(聚楽社、日本民藝協会) / 宮城県美術館

II\_53 / 『工藝』47号 // 1934年11月 / 雑誌(日本民藝協会) / 個人蔵

II\_54 / 『工藝』108号 // 1942年1月 / 雑誌(日本民藝協会) / 福島県立美術館

II\_55 / 『工藝』110号 // 1942年7月 / 雑誌(日本民藝協会) / 個人蔵

II\_56 / 『月刊民藝』創刊号 // 1939年4月 / 雑誌(日本民藝協会) / とんかつ文庫

II\_57 / 『月刊民藝』3巻3号 // 1941年3月 / 雑誌(日本民藝協会) / とんかつ文庫

II\_58 / 『月刊民藝』3巻3号 // 1941年4月 / 雑誌(日本民藝協会) / とんかつ文庫

II\_59 / 『月刊民藝』4巻10号 // 1942年10月 / 雑誌(日本民藝協会) / 福島県立美術館

II\_60 / 柳宗悦『工藝文化』再版 文藝春秋社 // 1942年 / 書籍 / 福島

県立美術館

II\_61 / 柳宗悦『雪国の蓑』日本民藝協会「工藝」編集室// 1942年/書籍/個人蔵

II\_62 / 柳宗悦、式場隆三郎編『現在の日本民藝』昭和書房// 1942年/書籍/個人蔵

II\_63 / 名取洋之助『日本の日用品』国際文化振興会/亀倉雄策(レイアウト)/ 1938年/書籍/福島県立美術館

II\_64 / 『NIPPON』特別号// 1938年4月/雑誌(日本工房)/個人蔵

II\_65 / 『NIPPON』15号// 1938年6月/雑誌(日本工房)/個人蔵

II\_66 / 『NIPPON』33号// 1943年9月/雑誌(日本工房)/山鬼文庫、福島県立美術館

II\_67 / 不出品

II\_68 / 壽岳文章・静子『紙漉村旅日記』私家版// 1943年/書籍/個人蔵

II\_69 / 柳宗悦 米浪庄式宛書簡// 1955年3月6日/書簡/個人蔵

II\_70 / 柳宗悦 米浪庄式宛はがき// 1956年1月1日/はがき/個人蔵

### ◆III. 郷土玩具の王国

III\_1-1 / こけし(土湯系)/佐久間由吉/ 1939年/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_1-2 / こけし(土湯系)/渡辺作蔵/大正末期/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_1-3 / こけし(土湯系)/阿部金蔵/昭和初期/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_1-4 / こけし(土湯系)/斎藤太治郎/ 1932年/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_1-5 / こけし(土湯系)/渡辺キン/大正初期/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_1-6 / こけし(土湯系)/阿部治助/大正末・昭和初期頃/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_1-7 / こけし(土湯系)/大内今朝吉/ 1937年以前/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_1-8 / こけし(土湯系)/佐久間榮松/ 1941年頃/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_1-9 / こけし(土湯系)/西山勝次/ 1941年/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_1-10 / こけし(土湯系)/西山辨之助/ 1923年頃/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_1-11 / こけし(土湯系)/(伝)佐久間浅之助/ 1906年以前/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_1-12 / こけし(土湯系)/岩本善吉/ 1932年/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_2-1 / こけし(弥治郎系)/佐藤慶治/ 1936-40年頃/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_2-2 / こけし(弥治郎系)/佐藤喜一/ 1941年頃/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_2-3 / こけし(弥治郎系)/本田鶴松/大正末頃/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_2-4 / こけし(弥治郎系)/小倉嘉三郎/ 1932年頃/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_2-5 / こけし(弥治郎系)/佐藤勘内/ 1939年11月/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_2-6 / こけし(弥治郎系)/佐藤傳内/ 1940年8月/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_2-7 / こけし(弥治郎系)/葛作蔵/ 1935-45年頃/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_2-8 / こけし(弥治郎系)/佐藤今三郎/ 1940年/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_2-9 / こけし(弥治郎系)/新山栄五郎/ 1937年12月/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_3-1 / こけし(遠刈田系)/作者不詳/明治末期/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_3-2 / こけし(遠刈田系)/佐藤松之進/ 1941年/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_3-3 / こけし(遠刈田系)/佐藤文六/ 1943年/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_3-4 / こけし(遠刈田系)/佐藤治平/ 1939年頃/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_3-5 / こけし(遠刈田系)/佐藤友晴/ 1940年/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_3-6 / こけし(遠刈田系)/佐藤円吉/ 1937年頃/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_3-7 / こけし(遠刈田系)/菅原庄七/ 1961年/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_3-8 / こけし(遠刈田系)/佐藤秀一/ 1939年4月/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_3-9 / こけし(遠刈田系)/佐藤丑蔵/昭和初期/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_3-10 / こけし(遠刈田系)/佐藤直助/ 1937年以前/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_4-1 / こけし(蔵王高湯系)/斎藤松治/ 1940年頃/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_4-2 / こけし(蔵王高湯系)/遠藤幸三/ 1945年以前/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_4-3 / こけし(蔵王高湯系)/岡崎栄治郎/ 1936年7月/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_4-4 / こけし(蔵王高湯系)/我妻勝之助/ 1932年頃/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_4-5 / こけし(蔵王高湯系)/岡崎久太郎/ 1939-41年頃/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_4-6 / こけし(蔵王高湯系)/荒井金七/ 1932年頃/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_4-7 / こけし(蔵王高湯系)/橋本力蔵/ 1942年頃/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_4-8 / こけし(蔵王高湯系)/木村吉太郎/ 1944年2月/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_4-9 / こけし(蔵王高湯系)/岡崎栄作/ 1941年/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_5-1 / こけし(山形系)/小林吉太郎/ 1939年頃/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_5-2 / こけし(山形系)/鈴木安太郎/ 1936-39年頃/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_5-3 / こけし(山形系)/小林倉吉/ 1943年/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

III\_5-4 / こけし(山形系)/小林倉吉/ 1937年8月/彩色・木/原郷のこけし群 西田記念館

- こけし群 西田記念館  
 III\_5-5 / こけし(山形系) / 小林吉太郎 / 1937年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_5-6 / こけし(山形系) / 小林吉兵衛 / 1941年 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_6-1 / こけし(作並系) / 平賀謙蔵 / 1933年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_6-2 / こけし(作並系) / 平賀謙蔵 / 1941年 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_6-3 / こけし(作並系) / 高橋豊吉 / 大正末 - 昭和初期 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_6-4 / こけし(作並系) / 平賀謙次郎 / 1940年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_6-5 / こけし(作並系) / 平賀多蔵 / 1940年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_7-1 / こけし(鳴子系) / 庄司永吉 / 1941年 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_7-2 / こけし(鳴子系) / 河村清太郎 / 1937年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_7-3 / こけし(鳴子系) / 大沼誓 / 1940年 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_7-4 / こけし(鳴子系) / 小松五平 / 大正期 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_7-5 / こけし(鳴子系) / 高橋勘治 / 1906-07年 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_7-6 / こけし(鳴子系) / 高橋勘治一家 / 大正 - 昭和初期 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_7-7 / こけし(鳴子系) / 松田初見 / 1940年 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_7-8 / こけし(鳴子系) / 岡崎斉 / 1936年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_7-9 / こけし(鳴子系) / 秋山忠 / 1935-40年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_7-10 / こけし(鳴子系) / 高橋武蔵 / 1932年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_8-1 / こけし(肘折系) / 奥山喜代治 / 昭和初期 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_8-2 / こけし(肘折系) / 鈴木幸之助 / 1939年4月 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_8-3 / こけし(肘折系) / 佐藤巳之助 / 1940年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_8-4 / こけし(肘折系) / 佐藤周助 / 1930-31年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_8-5 / こけし(肘折系) / 斎藤伊之助 / 1945年以前 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_8-6 / こけし(肘折系) / 中島正 / 1933年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_8-7 / こけし(肘折系) / 奥山運七 / 1931年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_9-1 / こけし(南部系) / 藤原政五郎 / 1940年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_9-2 / こけし(南部系) / 常川新太郎 / 1939年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_9-3 / こけし(南部系) / 安保一郎 / 1941年 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_9-4 / こけし(南部系) / 佐々木与始郎 / 1910年代 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_9-5 / こけし(南部系) / 寺沢政吉 / 1933年 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_9-6 / こけし(南部系) / 作者不詳 / 制作年不詳 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_9-7 / こけし(南部系) / 坂下権太郎 / 1939年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_9-8 / こけし(南部系) / 煤孫茂吉 / 1939年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_9-9 / こけし(南部系) / 作者不詳 / 1941年 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_10-1 / こけし(木地山系) / 小椋久太郎 / 1933-34年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_10-2 / こけし(木地山系) / 小椋石蔵 / 1935-40年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_10-3 / こけし(木地山系) / 小椋泰一郎 / 1934年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_10-4 / こけし(木地山系) / 小椋泰一郎 / 1941年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_10-5 / こけし(木地山系) / 小椋石蔵 / 1935年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_10-6 / こけし(木地山系) / 小椋米吉 / 1940年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_10-7 / こけし(木地山系) / 小椋久四郎 / 1925年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_10-8 / こけし(木地山系) / 高橋兵次郎 / 1932-33年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_10-9 / こけし(木地山系) / 柴田鉄蔵 / 1939年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_10-10 / こけし(木地山系) / 小椋久太郎 / 1937年 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_11-1 / こけし(津軽系) / 村井福太郎 / 1939年 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_11-2 / こけし(津軽系) / 斎藤幸兵衛 / 昭和初期 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_11-3 / こけし(津軽系) / 三上文蔵 / 1942年 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_11-4 / こけし(津軽系) / 長谷川辰雄 / 1939年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_11-5 / こけし(津軽系) / 盛秀太郎 / 1934年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_11-6 / こけし(津軽系) / 間宮明太郎 / 1937年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_11-7 / こけし(津軽系) / 嶋津彦三郎 / 1930年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_11-8 / こけし(津軽系) / 佐藤伊太郎 / 1932-33年頃 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_11-9 / こけし(津軽系) / 川越謙作 / 1942年 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館  
 III\_11-10 / こけし(津軽系) / 盛秀太郎 / 昭和初期 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館

- こけし群 西田記念館
- III\_12-1 / こけし(独立系) / 小椋千代吾郎 / 1938年 / 彩色・木 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_12-2 / こけし(独立系) / 作者不詳 / 大正末期 / 彩色・木 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_12-3 / こけし(独立系) / 作者不詳 / 1933年 / 彩色・木 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_12-4 / こけし(独立系) / 高岡鉄寿 / 1934年 / 彩色・木 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_12-5 / こけし(独立系) / 大滝武寛 / 1937年 / 彩色・木 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_12-6 / こけし(独立系) / 作者不詳 / 1938年 / 彩色・木 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_12-7 / こけし(独立系) / 軽部留治 / 1937年 / 彩色・木 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_12-8 / こけし(独立系) / 脇本三十郎 / 1932年頃 / 彩色・木 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_12-9 / こけし(独立系) / 白畑重治 / 1933年 / 彩色・木 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_12-10 / こけし(独立系) / 竹野銀次郎 / 大正中期 / 彩色・木 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_12-11 / こけし(独立系) / 柏倉勝郎 / 1938年 / 彩色・木 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_12-12 / こけし(独立系) / 佐藤七之助 / 1933年 / 彩色・木 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_12-13 / こけし(独立系) / 加納正八 / 1939年 / 彩色・木 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_12-14 / こけし(独立系) / 小椋甚九郎 / 1938年 / 彩色・木 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_13 / 黒こけし(弥治郎系) / 作者不詳 / 制作年不詳 / 彩色・木 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_14 / 黒こけし(鳴子系) / 作者不詳 / 明治末頃 / 彩色・木 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_15-1 / 三春人形 俵乗り大黒 // 江戸期 / 彩色・和紙 / 三春町歴史民俗資料館
- III\_15-2 / 三春人形 錦祥女 // 幕末期 / 彩色・和紙 / 三春町歴史民俗資料館 橋元四郎平コレクション
- III\_15-3 / 三春人形 唐人姿 // 江戸期 / 彩色・和紙 / 三春町歴史民俗資料館 橋元四郎平コレクション
- III\_15-4 / 三春人形 太鼓打ち // 江戸期 / 彩色・和紙 / 三春町歴史民俗資料館
- III\_15-5 / 三春人形 佐々木高綱 // 江戸期 / 彩色・和紙 / 三春町歴史民俗資料館 橋元四郎平コレクション
- III\_15-6 / 三春人形 梶原景季 // 江戸期 / 彩色・和紙 / 三春町歴史民俗資料館 橋元四郎平コレクション
- III\_15-7 / 三春人形 手習子 // 1828年 / 彩色・和紙 / 三春町歴史民俗資料館 橋元四郎平コレクション
- III\_15-8 / 三春人形 若衆 // 幕末期 / 彩色・和紙 / 三春町歴史民俗資料館 橋元四郎平コレクション
- III\_15-9 / 三春人形 千歳 // 江戸期 / 彩色・和紙 / 三春町歴史民俗資料館 らっこコレクション
- III\_15-10 / 三春人形 踊三番叟 // 江戸期 / 彩色・和紙 / 三春郷土人形館 橋元四郎平コレクション
- III\_16 / 三春人形木型 8体 // 幕末頃 / 木、漆 / 個人蔵
- III\_17-1 / 堤人形 力士 // 幕末 - 明治初期 / 彩色・土 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_17-2 / 堤人形 熊と金太郎 // 明治期 / 彩色・土 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_17-3 / 堤人形 石橋 // 幕末 - 明治初期 / 彩色・土 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_17-4 / 堤人形 太鼓打ち // 幕末 - 明治初期 / 彩色・土 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_17-5 / 堤人形 座美人 // 幕末 - 明治初期 / 彩色・土 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_18-1 / 花巻人形 鳥天狗退治 // 幕末 - 明治初期 / 彩色・土 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_18-2 / 花巻人形 釣三昧 // 幕末 - 明治初期 / 彩色・土 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_18-3 / 花巻人形 武将(義経) // 幕末 - 明治初期 / 彩色・土 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_18-4 / 花巻人形 夜寒お春 // 幕末 - 明治初期 / 彩色・土 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_18-5 / 花巻人形 福祿寿 // 幕末 - 明治初期 / 彩色・土 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_19-1 / 相良人形 犬乗り // 幕末 - 明治初期 / 彩色・土 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_19-2 / 相良人形 童子 // 幕末 - 明治初期 / 彩色・土 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_19-3 / 相良人形 花車 // 幕末 - 明治初期 / 彩色・土 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_19-4 / 相良人形 鎌とぎ // 幕末 - 明治初期 / 彩色・土 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_19-5 / 相良人形 犬と子ども // 幕末 - 明治初期 / 彩色・土 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_20 / 三春羽子板 3枚 // 制作年不詳 / 彩色・木 / 原郷のこけし群 西田記念館
- III\_21 / 三春駒 // 江戸期 / 彩色・木 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_22 / 猿乗り八幡駒 // 制作年不詳 / 彩色・木 / 三春町歴史民俗資料館 橋元四郎平コレクション
- III\_23 / 赤べこ // 昭和初期 / 彩色・和紙 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_24 / 腰高虎 // 幕末期 / 彩色・和紙 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_25-1 / お面 雌狐 // 昭和初期 / 彩色・和紙 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_25-2 / お面 雄狐 // 昭和初期 / 彩色・和紙 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_25-3 / お面 黄鬼 // 昭和初期 / 彩色・和紙 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_25-4 / お面 赤鬼 // 昭和初期 / 彩色・和紙 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_25-5 / お面 青鬼 // 昭和初期 / 彩色・和紙 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_25-6 / お面 ひょっとこ // 昭和初期 / 彩色・和紙 / 三春郷土人形館 らっこコレクション

- III\_25-7 / お面 烏帽子の翁 / 昭和初期 / 彩色・和紙 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_25-8 / お面 金太郎 / 昭和初期 / 彩色・和紙 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_25-9 / お面 毘沙門天 / 昭和初期 / 彩色・和紙 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_25-10 / お面 武者 / 昭和初期 / 彩色・和紙 / 三春郷土人形館 らっこコレクション
- III\_26 / 『日本の家庭』3巻4号臨時増刊号 / 1906年5月 / 雑誌(同文館) / 原郷のこけし群 西田記念館
- III\_27 / 清水晴風『うなみの友』2編 / 1911年 / 雑誌(芸艸堂) / 原郷のこけし群 西田記念館
- III\_28 / 片岡平爺編『大供』1-4号 / 1918年2-7月 / 雑誌(大供会) / 原郷のこけし群 西田記念館
- III\_29 / 杉山寿栄男『三春人形 趣味の図集』工藝美術研究会 / 1925年 / 書籍 / 原郷のこけし群 西田記念館
- III\_30 / 有坂與太郎編『日本玩具集 おしゃぶり』1編 東北篇 郷土玩具普及会 / 1926年 / 書籍 / 原郷のこけし群 西田記念館
- III\_31 / 有坂與太郎『諸国おもちゃ番付』 / 1927年 / 印刷物 / 個人蔵
- III\_32 / 天江富弥『こけし這子の話』郷土趣味会 / 1928年 / 書籍 / 原郷のこけし群 西田記念館
- III\_33 / 武井武雄『日本郷土玩具 東の部』地平社書房 / 1930年 / 書籍 / 個人蔵
- III\_34 / 武井武雄『日本郷土玩具』金星堂 / 1934年 / 書籍 / 個人蔵
- III\_35 / 橋文策編『木形子研究』1-12号 / 1932年4月-33年8月 / 雑誌(木形子洞) / 原郷のこけし群 西田記念館
- III\_36 / 有坂與太郎編『郷土玩具』1巻1号 / 1933年1月 / 雑誌(建設社) / 原郷のこけし群 西田記念館
- III\_37 / 料治熊太編『版藝術』18号「全国郷土玩具版画集」 / 1933年9月 / 雑誌(白と黒社) / 福島県立美術館
- III\_38 / 料治熊太編『版藝術』19号「続全国郷土玩具版画集」 / 1933年10月 / 雑誌(白と黒社) / 福島県立美術館
- III\_39 / 料治熊太編『版藝術』20号「続々郷土玩具版画集」 / 1933年11月 / 雑誌(白と黒社) / 福島県立美術館
- III\_40 / 料治熊太編『版藝術』41号「秋田郷土玩具集」 / 1935年9月 / 雑誌(白と黒社) / 秋田市立赤れんが郷土館
- III\_41 / 料治熊太編『版藝術』49号「東北郷土玩具集」 / 1936年5月 / 雑誌(白と黒社) / 福島県立美術館
- III\_42 / 料治熊太編『版藝術』56号「福島宮城郷土玩具集」 / 1936年11月 / 雑誌(白と黒社) / 福島県立図書館
- III\_43 / 「郷土玩具」『NIPPON』5号 / 1935年11月 / 雑誌(日本工房) / 東京都市大学図書館 蔵田文庫
- III\_44 / 仙台鉄道局編『東北の玩具』日本旅行協会 / 1938年 / 書籍 / 個人蔵
- III\_45 / 西沢笛畝編画、仙台鉄道局編集『東北の玩具』日本旅行協会 / 1941年 / 書籍 / 個人蔵
- III\_46 / 山内金三郎、今村秀太郎編『これくしよん』戦前版 61冊 / 1937年4月-43年6月 / 雑誌(吾八) / 個人蔵(福島県立美術館寄託)
- III\_47 / 米浪庄式編『こけし人形図集』おけし園 / 1941年 / 書籍 / 原郷のこけし群 西田記念館
- III\_48 / 武井武雄『愛蔵こけし図譜』吾八 / 1941-44年 / 木版・紙、経本折 / 原郷のこけし群 西田記念館
- III\_49 / 菊楓会同人編『こけし鑑』便利堂 / 1942年 / 書籍 / 原郷のこけし群 西田記念館
- III\_50 / 西田峯吉『こけし風土記』(民族玩具叢書5巻)新龍社 / 1943年 / 書籍 / 福島県立美術館
- III\_51 / 勘兵衛酒屋カレンダー 2種 / 天江富弥 / 1938年 / 印刷・紙、木 / 原郷のこけし群 西田記念館
- III\_52 / 『こけし』1-30号合本 / 1939年6月-44年1月 / 会報(東京こけし会) / 原郷のこけし群 西田記念館
- III\_53 / 米浪庄式編『こけしだより』1-4輯 / 1939-41年 / 雑誌(おけし彙ん) / 原郷のこけし群 西田記念館
- III\_54 / 米浪庄式「こけし落穂集」原稿 / 1939年頃 / 草稿 / 個人蔵
- III\_55 / 西田峯吉編『こけし関連スクラップブック』3冊 / 1939年頃 / スクラップブック / 原郷のこけし群 西田記念館
- III\_56 / 板祐生 絵手紙 19通 / 1944-45年頃 / 木版、孔版・紙 / 原郷のこけし群 西田記念館
- ◆IV.「雪調」ユートピア
- IV\_1 / 『積雪地方農村経済調査所概要』 / 1935年2月 / 雑誌(積雪地方農村経済調査所) / 個人蔵
- IV\_2 / 『積雪地方農村経済調査所報告』36号 / 1940年3月 / 雑誌(積雪地方農村経済調査所) / 個人蔵
- IV\_3 / 映像「鉄道省の実験、雪調の伝習他」 / 積雪地方農村経済調査所 / 1937-40年頃 / 記録映像(オリジナル71分) 約6分 / 雪の里情報館 / 未陳
- IV\_4 / 文化映画『雪国』 / 監督：石本統吉、監修：日本雪氷協会、日本民藝協会、制作会社：藝術映画社 / 1939年 / 記録映像(オリジナル38分) 約7分 / 雪の里情報館
- IV\_5 / 柳宗悦 山口弘道宛はがき(『起案文書昭和12年綴り』) / 1937年8月22日 / はがき / 雪の里情報館 / 未陳
- IV\_6-1 / 柳宗悦 山口弘道宛書簡(『最上郡民藝品展覧会・民藝の会関係資料綴り』) / 1938年1月29日 / 書簡 / 雪の里情報館
- IV\_6-2 / 「最上郡民藝品」部 民藝品展覧会出品目録(『最上郡民藝品展覧会・民藝の会関係資料綴り』) / 1938年 / 文書 / 雪の里情報館
- IV\_7 / 『雪国』3巻8号 / 1938年8月 / 雑誌(財団法人雪国協会) / 雪の里情報館
- IV\_8 / 『雪国』3巻11号 / 1938年11月 / 雑誌(財団法人雪国協会) / 雪の里情報館
- IV\_9 / 積雪地方農村経済調査所関連写真スクラップブック / 1939-40年 / 雪の里情報館 / 未陳
- IV\_10 / 『月刊民藝』2巻8号 / 1940年8月 / 雑誌(日本民藝協会) / 個人蔵
- IV\_11 / 「第二回東北民藝品展覧会開催に就いて」(『民藝品展覧会関係昭和14-16年 雪国協会綴り』) / 1941年 / 印刷物 / 雪の里情報館
- IV\_12 / 『月刊民藝』3巻6号 / 1941年7月 / 雑誌(日本民藝協会) / とんかつ文庫
- IV\_13 / 椅子 / 西村久松(芹沢銈介指導) / 1941年 / 藁、樹皮 / 山形県立博物館
- IV\_14 / 角椅子 / 寺西吉蔵(芹沢銈介指導) / 1941年 / カンエンガヤツリ、木綿糸、藁 / 山形県立博物館
- IV\_15 / 「竹材新生活具展観」パンフレット 3種 / 1940-41年 / 印刷物 / 河井寛次郎記念館
- IV\_16 / 柳宗悦 河井寛次郎宛書簡 / 1940年9月10日 / 書簡 / 河井寛次郎記念館

IV\_17 / 柳宗悦 河井寛次郎宛書簡 // 1940年10月1日 / 書簡 / 河井寛次郎記念館

IV\_18 / 『工藝ニュース』10巻1号 // 1941年1月 / 雑誌(工業調査協会刊) / 山鬼文庫

IV\_19 / 『工藝ニュース』10巻3号 // 1941年3月 / 雑誌(工業調査協会刊) / 個人蔵

IV\_20 / 三角脚座卓用盆 / シャルロット・ペリアン(デザイン) / 1941年 / 竹 / 山形県立博物館

IV\_21 / 三角脚座卓 / シャルロット・ペリアン(デザイン) / 1941年 / 木 / 山形県立博物館 / 未陳

IV\_22 / 寝台敷 / シャルロット・ペリアン(デザイン) / 1941年 / カンエンガヤツリ、木綿裂 / 山形県立博物館

IV\_23 / クッション / シャルロット・ペリアン(デザイン) / 1941年 / カンエンガヤツリ、木綿糸 / 山形県立博物館

IV\_24 / 折りたたみ式寝台 / シャルロット・ペリアン(デザイン) / 1941年 / 木、金属 / 山形県立博物館

IV\_25 / 『NIPPON』26号 // 1941年5月 / 雑誌(国際報道工藝) / 東京都市大学図書館 蔵田文庫

IV\_26 / シャルロット・ペリアン、坂倉準三『選擇・傳統・創造—日本藝術との接觸—』小山書店 // 1941年 / 書籍 / 個人蔵

IV\_27 / 山形県最上郡稲舟村松木郷蔵(付集会所) / 今和次郎 / 1934-54年 / インク・トレーシングペーパー / 工学院大学図書館

IV\_28 / 恩賜郷倉建築工事設計図甲号 1:20、1:100 / 今和次郎 / 1935年 / 印刷物 / 工学院大学図書館

IV\_29-1 / 今和次郎標準設計による恩賜郷倉 (山形県新庄市金沢) 模型 1:30 / 青山学院大学黒石研究室制作 // 2011年 / ミクストメディア / 青山学院大学黒石研究室

IV\_29-2 / 今和次郎標準設計による恩賜郷倉 (山形県新庄市鳥越) 模型 1:30 / 青山学院大学黒石研究室制作 // 2011年 / ミクストメディア / 青山学院大学黒石研究室

IV\_30 / 『積雪地方農村経済調査報告』4号 // 1934年11月 / 雑誌(積雪地方農村経済調査所) / 個人蔵

IV\_31 / 積雪地方農村経済調査所 雪国試験農家家屋 透視図 / 今和次郎 / 1937年 / インク・トレーシングペーパー / 工学院大学図書館 / 未陳

IV\_32 / 積雪地方農村経済調査所 雪国試験農家家屋 1、2階平面図 / 今和次郎 / 1937年 / インク・トレーシングペーパー / 工学院大学図書館

IV\_33 / 積雪地方農村経済調査所 雪国試験農家家屋 3階平面図、断面図 / 今和次郎 / 1937年 / インク・トレーシングペーパー / 工学院大学図書館

IV\_34 / 今和次郎『積雪地方農家家屋改善ニ関スル調査研究報告』 // 1940年 / 冊子 / 雪の里情報館

IV\_35 / 積雪地方農村経済調査所 雪国試験農家家屋模型 // 1997年 / ミクストメディア / 雪の里情報館

IV\_36 / “東北地方気候区図 1:1,000,000” / 今和次郎、竹内芳太郎(勸同潤会・東北調査委員会) / 1940年 / 青焼図 / 工学院大学図書館

IV\_37 / 農山村住宅標準設計・平面計画案 間取り一覧(1) / 今和次郎、竹内芳太郎(勸同潤会・東北調査委員会) / 1941年 / 青焼図 / 工学院大学図書館

IV\_38 / 農山村住宅標準例第9号(C5)型 平面図 1:100 / 今和次郎、竹内芳太郎(勸同潤会・東北調査委員会) / 1941年 / 青焼図 / 工学院大学図書館

IV\_39 / 農山村住宅標準例第9号(C5)型 透視図 / 今和次郎 / 1941年 / インク・トレーシングペーパー / 工学院大学図書館

IV\_40 / 農山村住宅標準例第8号(C17)型 透視図 / 今和次郎 / 1941年 / インク・トレーシングペーパー / 工学院大学図書館

IV\_41 / 今和次郎『農村家屋の改善』(農村更生叢書)日本評論社 // 1933年 / 書籍 / 個人蔵

IV\_42 / 『東北地方農山漁村 住宅改善読本』財団法人同潤会 // 1940年 / 書籍 / 個人蔵

IV\_43 / 『東北地方農山漁村 住宅改善要旨』財団法人同潤会 // 1940年 / 書籍 / 個人蔵

IV\_44 / 『東北地方農山漁村 住宅改善調査報告書』I・II・III // 1941年 / 雑誌(日本学術振興会) / 工学院大学図書館

#### ◆V. 今和次郎・純三の東北考現学

V\_1 / 新潟・関川村の民家 『見聞野帖』1 / 今和次郎 / 1917年 / インク、水彩・紙 / 工学院大学図書館

V\_2 / 伊豆大島の民家 『見聞野帖』2 / 今和次郎 / 1919年 / インク、水彩・紙 / 工学院大学図書館

V\_3 / 山形・吹浦の石置屋根民家 / 山形・吹浦の開拓小屋 『見聞野帖』3 / 今和次郎 / 1921年 / 鉛筆・紙 / 工学院大学図書館

V\_4 / 青森三本木附近移住農家 『見聞野帖』4 / 今和次郎 / 1920年 / ゼラチンシルバープリント、インク・紙 / 工学院大学図書館

V\_5 / 青森県北津軽郡七和村高野区郷蔵 『見聞野帖』5 / 今和次郎 / 1935年 / 鉛筆・紙 / 工学院大学図書館

V\_6 / 茨城県東茨城郡下中妻村内原 日本国民高等学校農場 『見聞野帖』6 / 今和次郎 / 1936年 / インク・紙 / 工学院大学図書館

V\_7 / 『民家圖集』1輯 白茅会 // 1918年 / 書籍 / 工学院大学図書館 / 未陳

V\_8 / 今和次郎『日本の民家 田園生活者の住家』鈴木書店 // 1922年 / 書籍 / 工学院大学図書館、山鬼文庫

V\_9 / 今和次郎『民俗と建築 平民工藝論』(日本民俗叢書)磯部甲陽堂 // 1927年 / 書籍 / 個人蔵

V\_10 / 『国際建築』10巻7号 // 1934年7月 / 雑誌(国際建築協会) / 山鬼文庫

V\_11 / 炉端・自在鉤 / 今和次郎 / 1917年以降 / インク・トレーシングペーパー / 工学院大学図書館

V\_12 / 自在鉤 / 今和次郎 / 1917-28年 / インク・トレーシングペーパー / 工学院大学図書館

V\_13 / 自在鉤 / 今和次郎 / 1917-28年 / インク・トレーシングペーパー / 工学院大学図書館

V\_14 / 羽前西置賜郡蚕桑村・養蚕家屋 / 今和次郎 / 1943年頃 / 水彩・紙 / 工学院大学図書館

V\_15 / 岩代北会津郡・農家間取及室内 / 今和次郎 / 1943年頃 / 鉛筆・紙 / 工学院大学図書館

V\_16 / 秋田南秋田の農家 / 今和次郎 / 1943年頃 / インク・トレーシングペーパー / 工学院大学図書館

V\_17 / 大越娯楽場 スケッチ / 今和次郎 / 1926年頃 / 鉛筆・紙 / 工学院大学図書館

V\_18 / 大越娯楽場 東立面、西立面(原案) 1:50 / 今和次郎 / 1926年頃 / インク・紙 / 工学院大学図書館

V\_19 / 大越娯楽場模型 1:50 / 工学院大学谷口研究室制作 // 2011年 / ミクストメディア / 田村市教育委員会

V\_20 / 生保内セツルメント 南立図、西立面(積雪線の書き込み) / 今

和次郎／1935年頃／インク、鉛筆・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_21／生保内セツルメント 平面／今和次郎／1935年頃／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_22／生保内セツルメント 全景投影図／今和次郎／1935年頃／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_23／生保内セツルメント 附属農家家屋 南正面と室内投影図／今和次郎／1935年頃／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_24／文化映画『農村住宅改善』主婦の朝食時の行動図／今和次郎／1939年頃／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_25／土間の改善案 2図／今和次郎／制作年不詳／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_26／台所の改善案 2図／今和次郎／制作年不詳／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_27／今和次郎『草屋根』相模書房／／1941年／書籍／個人蔵

V\_28／今和次郎『住生活』乾元社／／1945年／書籍／個人蔵

V\_29／青森・大光寺村『野帖』29／今和次郎／1928年／鉛筆、インク・紙／工学院大学図書館

V\_30／陸奥のコギン／今和次郎／1928年／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_31／陸奥の農婦の半天／今和次郎／1928年／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_32／陸奥のケラ／今和次郎／1928年／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_33／『民俗藝術』1巻11号／／1928年11月／雑誌(民俗藝術の會)／個人蔵

V\_34／岩手県御明神村の農衣／今和次郎／1938年／インク、鉛筆・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_35／山形県南遊佐村の農衣とハンコタナ／今和次郎／1939年頃／インク、鉛筆・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_36／山形県南遊佐村のハンコタナの巻き方／今和次郎／1939年頃／インク、鉛筆・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_37／もんべの分布／今和次郎／制作年不詳／インク・紙／工学院大学図書館

V\_38／今和次郎、吉田謙吉『モデルノロヂオ 考現学』春陽堂／／1930年／書籍／東京都市大学図書館 蔵田文庫

V\_39／今和次郎、吉田謙吉『考現学採集 モデルノロヂオ』建設社／／1931年／書籍／工学院大学図書館、東京都市大学図書館 蔵田文庫

V\_40／「東京銀座街風俗記録」より「統計図索引」／今和次郎／1925年／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_41／「本所深川貧民窟附近風俗採集」より「本所深川の店にみられる品物と値段(1)」／今和次郎／1925年／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_42／「本所深川貧民窟附近風俗採集」より「本所深川の店にみられる品物と値段(2)」／今和次郎／1925年／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_43／犬の皮を着た人々／今純三／1928年／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_44／採集資料Ⅰ 1.私の家と雪との関係／今純三／1927年／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_45／採集資料Ⅱ 2.青森市外農家／3.青森市外松森通り／今純三／1927年／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_46／採集資料Ⅲ 4.市内相馬町漁師ノ家／5.青森市場末の長屋／今純三／1927年／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_47／採集資料Ⅵ 9.頭の防寒の調べ／10.頭の防寒の調べ／今純三／1927年／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_48／採集資料Ⅶ 11.外套の調べ／12.屋台／今純三／1927年／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_49／採集資料Ⅷ 13.櫓のイロイロ／14.雪の調査／今純三／1927年／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_50／採集資料Ⅸ 15.栄町裏ノ墓地／16.冬の子供の遊び／今純三／1927年／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_51／採集資料Ⅹ 17.ソリ／18.雪の調査 堤川／今純三／1927年／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_52／採集資料Ⅺ 19.雪ノタメノ道具／20-A.コミセ／今純三／1927年／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_53／採集資料ⅩⅠ 38.春サキの風俗／39.雪の上での動物の社会／今純三／1927年／インク・トレーシングペーパー／工学院大学図書館

V\_54／採集資料ⅩⅨ 51-A.青森市郊外の農家／51-B.青森市郊外の農家／今純三／1927年／鉛筆、水彩・紙／インク・紙／工学院大学図書館

V\_55／採集資料ⅩⅩⅡ 53-C.運動会露店／エチコ／今純三／1927年／インク・紙／インク、色鉛筆・紙／工学院大学図書館

V\_56／今和次郎宛考現学調査ハガキ 自宅アトリエノ窓外風景／今純三／1931年／インク・紙／工学院大学図書館

V\_57／風俗図 露店、屋台店さまざま『青森県画譜』3輯／今純三／1933年／石版・紙／個人蔵

V\_58／風俗図 闘犬会場図『青森県画譜』5輯／今純三／1934年／石版・紙／個人蔵

V\_59／冬の街頭風俗『青森県画譜』6輯／今純三／1934年／石版・紙／個人蔵

V\_60／風俗図 乗り物いろいろ『青森県画譜』10輯／今純三／1934年／石版・紙／個人蔵

V\_61／青森港風景『青森県画譜』2輯／今純三／1933年／石版・紙／個人蔵

V\_62／収穫期の林檎園『青森県画譜』4輯／今純三／1934年／石版・紙／個人蔵

V\_63／黒石町図絵『青森県画譜』6輯／今純三／1934年／石版・紙／個人蔵

V\_64／青森市新町通り夜景『青森県画譜』6輯／今純三／1934年／石版・紙／個人蔵

## ◆VI. 吉井忠の山村報告記

VI\_1／吉井忠『東北記』／／1941-44年／鉛筆、インク・原稿用紙／昭和のくらし博物館

VI\_2／吉井忠 スケッチブック(白河馬市)／／1941年9月30日-10月1日／鉛筆・紙／個人蔵

VI\_3／吉井忠『南会津山村報告記』／／1942年／鉛筆、インク・紙／個人蔵

VI\_4／吉井忠 スケッチブック／／1942年9月11日-／鉛筆、インク・紙／個人蔵

VI\_5／裏磐梯／吉井忠／1942年9月／油彩・カンヴァス／福島県立美術館

VI\_6／木地師の山小屋／吉井忠／1942年／インク・紙／昭和のくらし博物館



- VI\_7 / 杓子籠の製作過程 / 吉井忠 / 1942年7月 / インク・紙 / 昭和のくらし博物館
- VI\_8 / 道具 / 吉井忠 / 1942年7月 / インク・紙 / 昭和のくらし博物館
- VI\_9 / 牛田の家の灯火具 / 吉井忠 / 1942年 / 鉛筆・紙 / 個人蔵
- VI\_10 / 佐々木カヨ 金沢村ニテ / 吉井忠 / 1942年11月23日 / 鉛筆・紙 / 個人蔵
- VI\_11 / 金沢村にて / 吉井忠 / 1942年11月23日 / 鉛筆・紙 / 個人蔵
- VI\_12 / 岩手県上閉伊郡金沢村 / 吉井忠 / 1942年11月23日 / 鉛筆・紙 / 個人蔵
- VI\_13 / 福島信夫山 / 吉井忠 / 1943年2月14日 / 鉛筆・紙 / 個人蔵
- VI\_14 / 二本松 / 吉井忠 / 1943年4月 / 鉛筆・紙 / 個人蔵
- VI\_15 / 玉ノ井 / 吉井忠 / 1943年 / 鉛筆・紙 / 個人蔵
- VI\_16 / 秋田県曲田 / 吉井忠 / 1943年7月 / 鉛筆・紙 / 個人蔵
- VI\_17 / 秋田県曲田 / 吉井忠 / 1943年7月 / 鉛筆・紙 / 個人蔵
- VI\_18 / スキフミ / 吉井忠 / 1943年7月 / 鉛筆・紙 / 個人蔵
- VI\_19 / 鋤踏み / 吉井忠 / 1943年7月 / 油彩・カンヴァス / 個人蔵
- VI\_20 / 《毛馬内風景》のためのスケッチ / 吉井忠 / 1943年7月 / 鉛筆・紙 / 個人蔵
- VI\_21 / 毛馬内風景 / 吉井忠 / 1943年7月 / 油彩・カンヴァス / 個人蔵(福島県立美術館寄託)
- VI\_22 / 秋田別所 / 吉井忠 / 1943年7月 / 鉛筆・紙 / 個人蔵
- VI\_23 / 葉打ち / 吉井忠 / 1943年10月 / 鉛筆・紙 / 個人蔵
- VI\_24 / 飯田川村 / 吉井忠 / 1943年10月8日 / 鉛筆・紙 / 個人蔵
- VI\_25 / 江刈村 岩泉村長宅 / 吉井忠 / 1943年10月 / 鉛筆・紙 / 個人蔵
- VI\_26 / 山村の形態 / 吉井忠 / 1943年 / 鉛筆・紙 / 個人蔵
- VI\_27 / 福島県伊達郡伏黒村上戸 / 吉井忠 / 1943年10月6日 / 鉛筆・紙 / 個人蔵
- VI\_28 / 花巻豊里町 宮沢政次郎氏宅 / 吉井忠 / 1943年10月12日 / 鉛筆・紙 / 個人蔵
- VI\_29 / マルボシ 山形 日本海 / 吉井忠 / 1944年2月13日 / 鉛筆・紙 / 個人蔵
- VI\_30 / 豊浦町 佐藤弥助宅 / 吉井忠 / 1944年 / 鉛筆・紙 / 個人蔵
- VI\_31 / 斎川村 / 吉井忠 / 1944年5月 / 鉛筆・紙 / 昭和のくらし博物館
- VI\_32 / 百目木 安達郡旭日村 / 吉井忠 / 1944年10月28日 / 鉛筆・紙 / 個人蔵
- VI\_33-1 / 美術文化協会展関係資料 第1-3回展はがき / 1940-42年 / 印刷物 / 個人蔵
- VI\_33-2 / 吉井忠旧蔵写真資料 / 1940-42年 / ゼラチンシルバープリント / 個人蔵
- VI\_34-1 / 東北生活美術研究会関係資料 第1回展はがき / 1943年 / 印刷物 / 個人蔵
- VI\_34-2 / 東北生活美術研究会関係資料 第1回展目録 / 1943年 / 印刷物 / 個人蔵
- VI\_34-3 / 東北生活美術研究会関係資料 第2回展目録 / 1944年 / 印刷物 / 個人蔵
- VI\_35 / 吉井忠旧蔵書 / 書籍 / 個人蔵
- 参考 / 吉井忠旧蔵 地図 / 地図 / 個人蔵

(3) 生誕 100 年 朝倉撰展



A4 チラシ

会 期：令和 4 年 9 月 3 日(土)～ 10 月 16 日(日) 開催日数 38 日  
 分 野：日本画、舞台美術、絵本挿絵等  
 展示数：160 件  
 主 催：福島県立美術館、福島民友新聞社  
 助 成：公益財団法人ポーラ美術振興財団、宝くじ事業  
 観覧料：一般・大学生 1,000 (800) 円、高校生 600 (500) 円、  
 小・中学生 400 (300) 円 ※ ( ) は 20 名以上の団体料金  
 観覧者数：4,376 名  
 担 当：増淵鏡子、濱田洋亮

関連事業：

・トークイベント「アヴァンギャルド母 朝倉撰のこと」／朗読会「スイッチョねこ」

日時：9 月 11 日(日) 14:00～15:00

講師：富沢亜古氏（俳優）

場所：美術館講堂

参加者数：80 名

・ギャラリートーク

日時：① 9 月 17 日(土) ② 10 月 8 日(土) 14:00～15:00

参加者数：① 25 名 ② 27 名

概 要：

朝倉撰（1922-2014）は、彫刻家・朝倉文夫の長女として東京・谷中に生まれ、17 歳のときから日本画家としてスタートを切った。戦前・戦中の作風は、農作業に勤しむ銃後の女性像をモダンな感覚で描き出し、戦後は、佐藤忠良や中谷泰といった仲間の作家たちと地方の漁村や炭鉱などを訪れ、労働者の生活に取材した社会派の作品を発表した。なかでも福島県の常磐炭田には何度も足を運ぶ。60 年安保闘争に参加したことを契機に、朝倉は舞台美術の世界に新しい可能性を見出していく。

作家の没後に画家としての朝倉の足跡が明らかになり、本展では舞台美術、挿絵とともに日本画作品を紹介、多様な創作活動の全貌に迫った。

（巡回先：神奈川県立近代美術館、練馬区立美術館）



展示風景



トークイベント／朗読会



ギャラリートーク

## 出品リスト：

[No./タイトル/制作年(上演・発行・発表年)/材質技法/サイズ(cm)  
/備考(制作/著者/発行社など)/所蔵・提供等]

## ◆1章 画家としての出発—リアルの自覚

1-1/更紗の部屋/1942年/顔料、紙/171.0×140.0/練馬区立美術館

1-2/歎び/1943年/顔料、紙/197.0×109.3/神奈川県立近代美術館

1-3/雪の径/1944年/顔料、紙/168.0×95.0/神奈川県立近代美術館

1-4/[響子像]/制作年不詳/油彩、板/33.0×23.7/台東区立朝倉彫塑館

参考/街頭に観る/1942年/顔料、紙/195.8×193.0/神奈川県立近代美術館

D-1/[うえかえ スケッチ(両面)]/1940-1941年頃/鉛筆、水彩、紙/41.5×37.8/台東区立朝倉彫塑館

D-2/[九官鳥 スケッチ]/1941年頃/鉛筆、水彩、紙/24.8×22.4/台東区立朝倉彫塑館

D-3/[小憩](素描淡彩)/1943年/水彩、紙/24.8×22.4/福島県立美術館

S-1/スケッチブック 1942.6/1942年6月~/鉛筆、水彩ほか、紙/36.5×28.0/台東区立朝倉彫塑館

S-2/スケッチブック/1942年8月~/鉛筆、水彩ほか、紙/57.0×37.0/台東区立朝倉彫塑館

S-3/スケッチブック/1943年6月~/鉛筆、水彩ほか、紙/27.0×36.5/台東区立朝倉彫塑館

S-4/スケッチブック 1944 花/1944年3月~/鉛筆、水彩ほか、紙/36.0×26.0/台東区立朝倉彫塑館

S-5/スケッチブック 1944 花 寫生帖/1944年6月~/鉛筆、水彩ほか、紙/36.0×26.0/台東区立朝倉彫塑館

S-6/スケッチブック 1944/1944年6月~/鉛筆、水彩ほか、紙/36.0×26.0/台東区立朝倉彫塑館

S-7/スケッチブック/1944年10月~/鉛筆、水彩ほか、紙/51.5×37.0/台東区立朝倉彫塑館

S-8/スケッチブック 1945~1947 奥多摩にて/1945年8月~/鉛筆、水彩ほか、紙/26.0×36.5/台東区立朝倉彫塑館

参考/スケッチブック/1942年/鉛筆、水彩、パステルほか、紙/37.0×29.5/練馬区立美術館

1-5/[自画像]/1947-50年/顔料、紙/40.8×31.6/ギャラリー・パリ

1-6/黄衣/1948年/顔料、紙/170.1×139.2/神奈川県立近代美術館

1-7/赤いフード/1950年頃/顔料、紙/37.7×45.4/個人蔵

1-8/裸婦A/1950年/顔料、紙/114.0×144.5/大分県立美術館

1-9/裸婦B/1950年/顔料、紙/117.0×73.0/台東区立朝倉彫塑館

1-10/裸婦C/1950年/顔料、紙/117.0×86.0/神奈川県立近代美術館

1-11/群像/1950年/顔料、紙/144.5×193.3/練馬区立美術館

1-12/おんな/1955年頃/顔料、カンヴァス/80.5×116.5/福島県立美術館

1-13/おんな/1955年頃/顔料、カンヴァス/64.1×100.0/台東区立朝倉彫塑館

1-14/女/1954年/墨、カンヴァス/60.5×45.5/台東区立朝倉彫塑館

D-4/[おんな3]/1955年頃/鉛筆、紙/36.0×45.2/福島県立美術館

D-5/[おんな4]/1955年頃/インク、紙/25.6×35.6/福島県立美術館

S-9/スケッチブック 1947~1948 踊り子/1946年11月~/鉛筆、水彩ほか、紙/36.5×25.0/台東区立朝倉彫塑館

S-10/スケッチブック(人物、裸婦)/1950年代/鉛筆ほか、紙/41.8×28.3/東京都現代美術館

## ◆2章 日本画と前衛—リアルの探求

2-1/寮/1952年/顔料、カンヴァス/91.0×65.0/福島県立美術館

2-2/働く人/1952年/顔料、紙/182.1×257.9/山口県立美術館

2-3/休む人/1953年/顔料、紙/72.0×60.3/台東区立朝倉彫塑館

2-4/夫婦/1953年/顔料、紙/130.5×162.5/神奈川県立近代美術館

2-5/日雇の母/1953年/顔料、紙/65.0×80.0/実践女子大学香雪記念資料館

2-6/背負う人々/1954年/顔料、カンヴァス/165.5×133.0/栃木県立美術館

2-7/群れ/1954年/顔料、カンヴァス/92.5×148.5/東京都現代美術館

2-8/担ぐ人々/1955年/顔料、カンヴァス/146.5×90.5/栃木県立美術館

2-9/ズリ山/1955年/顔料、カンヴァス/73.0×116.5/福島県立美術館

2-10/三人/1956年/顔料、カンヴァス/97.0×145.5/福島県立美術館

2-11/[炭鉱風景]/1956年頃/顔料、カンヴァス/61.0×80.0/福島県立美術館

2-12/[スコップと石炭袋]/1956年頃/顔料、カンヴァス/53.0×65.5/福島県立美術館

2-13/立話/1956年/顔料、コンテ、カンヴァス/145.5×112.0/豊橋市美術博物館

2-14/[題不詳]/制作年不詳/顔料、カンヴァス/93.5×119.5/東京都現代美術館

2-15/部屋/1957年/顔料、カンヴァス/89.5×145.3/実践女子大学香雪記念資料館

2-16/日本 1958/1958年/顔料、紙/168.0×368.9/福岡市美術館

2-17/日本 1958\_2/1958年/顔料、紙/168.0×368.9/山口県立美術館

2-18/吊り下げられたもの/1958年頃/顔料、コンテ、カンヴァス/41.0×31.7/豊橋市美術博物館

2-19/黒人歌手ボール・ロブソン※7月18日まで展示/1959年/顔料、紙/109.0×242.4/東京国立近代美術館

D-6/[佐藤忠良]/1951年頃/鉛筆、紙/36.3×25.7/東京都現代美術館

D-7/[ズリ山]/1955年/鉛筆、紙/37.8×59.0/福島県立美術館

D-8 / [炭鉱作業員] / 1955-56年 / 鉛筆、紙 / 45.0 × 36.8 / 福島県立美術館

S-11 / スケッチブック (横浜港) / 1952年 / 鉛筆ほか、紙 / 25.0 × 36.2 / 東京都現代美術館

S-12 / スケッチブック (東京) / 1953年 / 鉛筆ほか、紙 / 22.8 × 28.0 / 東京都現代美術館

S-13 / スケッチブック (銚子漁港) / 1953年 / 鉛筆ほか、紙 / 22.3 × 28.2 / 東京都現代美術館

S-14 / スケッチブック (多摩川堤工場) / 1953年 / 鉛筆ほか、紙 / 23.2 × 28.6 / 東京都現代美術館

S-15 / スケッチブック (東北) / 1955-56年頃 / 鉛筆ほか、紙 / 37.0 × 26.0 / 福島県立美術館

参考 / 『アトリエ 臨時増刊 新しいリアリズム』「あるスケッチ旅行の記録 福島県古河好間・小田炭坑にて」 / 発行: 1956年8月 / 個人蔵

2-20 / 内部への挑戦 / 1960年 / 顔料、紙 / 124.0 × 197.0 / 福島県立美術館

2-21 / 仲間 / 1960年 / 顔料、カンヴァス / 131.0 × 194.4 / 大分県立美術館

2-22 / 告発 61 / 1961年 / 顔料ほか、合板 / 129.5 × 182.1 / 神奈川県立近代美術館

2-23 / 1963 / 1963年 / 水性絵具、顔料、合板 / 260.5 × 195.0 / 東京都現代美術館

2-24 / 神話の廃墟 (1) / 1964年 / 水性絵具、顔料、合板 / 93.0 × 134.0 / 東京都現代美術館

2-25 / 神話の廃墟 / 1964年 / 顔料、合板 / 130.0 × 89.3 / 実践女子大学香雪記念資料館

2-26 / 幸せの外の不幸せ / 1964年 / 顔料、板 / 161.2 × 226.8 / 大分県立美術館

2-27 / 何かが始まった / 1965年 / 顔料、板 / 182.0 × 227.7 / 大分県立美術館

2-28 / [トナカイと時計] / 1960年代後半 / 顔料、板 / 145.2 × 112.2 / 実践女子大学香雪記念資料館

◆3章 舞台美術の世界—イメージは発見

3-1 / 「暗い火花」舞台写真 / 上演: 1957年4月 / パネル / 制作: ぶどうの会 / 会場: 中野公会堂 / 作: 木下順二 / 演出: 岡倉士朗 / 画像提供: アトリエ・アサクラ

3-2 / 「正義の人々」舞台写真 / 上演: 1957年6月 / パネル / 制作: 作品座 / 会場: 一橋講堂 / 作: アルベール・カミュ / 演出: 新島寿 / 画像提供: 武蔵野美術大学美術館・図書館

3-3 / 第2回円形劇場の夕「若人の歌」舞台写真 / 上演: 1957年11月 / パネル / 制作: 花友会 / 会場: 砂防会館ホール / 作曲: カール・ハインツ・シュトックハウゼン / 演出: 武智鉄二 / 舞台装置: 勅使河原蒼風 / 衣装: 朝倉摂 / 画像提供: 武蔵野美術大学美術館・図書館

3-4 / テレビドラマ「ムックリを吹く女」 / 放送: 1961年11月12日 / パネル / 制作: 北海道放送 / 作: 谷川俊太郎 / 演出: 森開運次 / 音楽: 武満徹 / 画像提供: HBC北海道放送

3-5-1 / 衝立 谷川俊太郎、粟津潔との合作 / 1964年 / 顔料、紙 / 各145.7 × 328.2 / 福島県立美術館

3-5-2 / 「リビング・リビング展 デパートのなかに建った2つの家」ポスター / 1964年 / 印刷、紙 / 72.8 × 105.9 / アトリエ・アサクラ

3-5-3 / 作品 / 1963年 / リトグラフ、紙 / 49.5 × 36.5 / 練馬区立美術

術館

3-5-4 / 作品 / 1963年 / リトグラフ、紙 / 30.3 × 44.2 / 練馬区立美術館

3-5-5 / 作品 / 1963年 / リトグラフ、紙 / 34.0 × 49.5 / 練馬区立美術館

3-6 / 「大家と新進 / ベッシイスマスの死」ポスター / 1964年 (上演: 1964年9月) / 印刷、紙 / 72.0 × 52.2 / 制作: 青俳 / 会場: 俳優座劇場 / 作: エドワード・オルビー / 演出: 老川比呂志・塩田殖 / 音楽: 湯浅譲二 / アトリエ・アサクラ

3-7 / 「象 / 三日月の影」ポスター / 1965年 (上演: 1965年6月) / シルクスクリーン、紙 / 74.1 × 52.0 / 制作: 青芸 / 会場: 俳優座劇場 / 作: 別役実・福田義之 / 演出: 観世榮夫 / 音楽: 林光 / アトリエ・アサクラ

3-8 / 「八月の狩」ポスター / 1965年 (上演: 1965年7月) / シルクスクリーン、紙 / 73.0 × 51.7 / 制作: 青俳 / 会場: 俳優座劇場 / 原作: 井上光晴 / 演出: 木村光一 / アトリエ・アサクラ

3-9 / 「戦友」ポスター / 1966年 (上演: 1966年9月) / 印刷、紙 / 72.5 × 50.5 / 制作: 青俳 + A T G / 会場: アートシアター新宿文化 / 作: 穂高稔 / 演出: 木村功 / アトリエ・アサクラ

3-10 / 「地の群れ」ポスター / 1966年 (上演: 1966年11月) / シルクスクリーン、紙 / 77.0 × 51.0 / 制作: 青俳 / 会場: 俳優座劇場 / 原作: 井上光晴 / 演出: 木村光一 / アトリエ・アサクラ

3-11 / 「蜘蛛たち」ポスター / 1968年 (上演: 1968年3月) / シルクスクリーン、紙 / 51.3 × 72.3 / 制作: 青俳 / 会場: 紀伊國屋ホール / 作: 井上光晴 / 演出: 木村光一 / アトリエ・アサクラ

3-12 / 「街と飛行船」ポスター / 1970年 (上演: 1970年9月) / シルクスクリーン、紙 / 78.0 × 55.0 / 制作: 青俳 / 会場: 紀伊國屋ホール / 作: 別役実 / 演出: 末木利文 / アトリエ・アサクラ

3-13-1 / 「袴垂れはどこだ」舞台写真 / 上演: 1964年5月 / パネル / 制作: 青芸 / 会場: 俳優座劇場 / 作: 福田善之 / 演出: 観世榮夫 / 音楽: 林光 / 画像提供: アトリエ・アサクラ

3-13-2 / 「袴垂れはどこだ」舞台模型 / 1964/2021年 / 水彩、木、紙 / 43.2 × 29.9 × 10.3 / アトリエ・アサクラ

3-13-3 / 「袴垂れはどこだ」ポスター / 1964年 / 印刷、紙 / 78.0 × 54.0 / アトリエ・アサクラ

3-14 / 「肝つ玉おっ母とその子供たち」舞台写真 / 上演: 1966年10月 / デジタルスライド上映 / 制作: 俳優座 / 会場: 渋谷公会堂 / 作: ベルトルト・ブレヒト / 演出: 千田是也 / 画像提供: アトリエ・アサクラ

3-15-1 / 映画「薔薇の葬列」ポスター / 1969年 (上演: 1969年9月) / 印刷、紙 / 72.0 × 51.0 / 制作: 松本プロ + A T G 映画 / 脚本・監督: 松本俊夫 / 音楽: 湯浅譲二 / アトリエ・アサクラ

3-15-2 / 映画「薔薇の葬列」パンフレット / 1969年 / 印刷、紙 / 19.0 × 17.0 / アトリエ・アサクラ

3-16-1 / 「薔原検校」舞台写真 / 上演: 1974年12月 / パネル / 制作: 五月舎 / 会場: 西武劇場 / 作: 井上ひさし / 演出: 木村光一 / 画像提供: アトリエ・アサクラ

3-16-2 / 「薔原検校」舞台模型 / 1974/2021年 / 水彩、木、紐、紙 / 60.0 × 42.7 × 30.7 / アトリエ・アサクラ

3-16-3 / 「薔原検校」エレベーション / 1974年 / 水彩、紙 / 29.7 × 42.0 / アトリエ・アサクラ

3-16-4 / 「薔原検校」衣装図 / 1974年 / インク、鉛筆、紙 / 26.0 × 29.3 / アトリエ・アサクラ

3-16-5 / 「薔原検校」大道具図 / 1974年 / 水彩、鉛筆、紙 / 29.6 ×

- 41.8 / アトリエ・アサクラ
- 3-16-6 / 「藪原検校」 台本 / 1974年 / 印刷、紙 / 24.7 × 17.5 / アトリエ・アサクラ
- 3-16-7 / 「藪原検校」 パンフレット (白) / 1974年 / 印刷、紙 / 26.0 × 17.3 / アトリエ・アサクラ
- 3-16-8 / 「藪原検校」 パンフレット (黒) / 1974年 / 印刷、紙 / 26.0 × 17.3 / アトリエ・アサクラ
- 3-17-1 / 「唐版 滝の白糸」 舞台写真 / 上演: 1975年3月 / パネル / 制作: 花の社交界 / 会場: 大映東京撮影所 / 作: 唐十郎 / 演出: 蜷川幸雄 / 画像提供: アトリエ・アサクラ
- 3-17-2 / 「唐版 滝の白糸」 舞台模型 / 2013/2021年 / 水彩、木、紙 / 51.3 × 45.5 × 31.2 / 会場: シアターコクーン / アトリエ・アサクラ
- 3-17-3 / 「唐版 滝の白糸」 エレベーション / 1975年 / 水彩、鉛筆、紙 (ボード) / 21.7 × 41.7 / アトリエ・アサクラ
- 3-17-4 / 「唐版 滝の白糸」 部分図 / 1975年 / 色鉛筆、鉛筆、紙 / 29.8 × 42.2 / アトリエ・アサクラ
- 3-17-5 / 「唐版 滝の白糸」 パンフレット / 1975年 / 印刷、紙 / 30.0 × 30.0 / アトリエ・アサクラ
- 3-17-6 / 「唐版 滝の白糸」 舞台資料冊子 / 1999年 / 印刷、紙 / 29.8 × 21.5 / 会場: シアターコクーン / アトリエ・アサクラ
- 3-18-1 / 「リア王」 舞台写真 / 上演: 1975年7月 / パネル / 制作: 東宝 / 会場: 日生劇場 / 作: ウィリアム・シェイクスピア / 演出: 蜷川幸雄 / 画像提供: アトリエ・アサクラ
- 3-18-2 / 「リア王」 エレベーション / 1975年 / 水彩、紙 / 23.3 × 54.5 / アトリエ・アサクラ
- 3-18-3 / 「リア王」 エレベーション / 1975年 / 水彩、紙 / 23.3 × 54.5 / アトリエ・アサクラ
- 3-18-4 / 「リア王」 エレベーション / 1975年 / 水彩、紙 / 23.3 × 54.5 / アトリエ・アサクラ
- 3-18-5 / 「リア王」 舞台平面図 / 1975年 / インク、紙 / 39.8 × 54.7 / アトリエ・アサクラ
- 3-18-6 / 「リア王」 舞台断面図 / 1975年 / インク、紙 / 39.8 × 54.7 / アトリエ・アサクラ
- 3-19 / 「メデア」 舞台写真 / 上演: 1975年7月 / デジタルスライド上映 / 制作: 冥の会 / 会場: 紀伊国屋ホール / 作: ルキウス・アンナエウス・セネカ / 演出: 渡辺守章 / 画像提供: アトリエ・アサクラ
- 3-20 / 「調理場」 舞台写真 / 上演: 1975年8月 / デジタルスライド上映 / 制作: 五月舎 / 会場: 西武劇場 / 作: アーノルド・ウェスカー / 演出: 木村光一 / 画像提供: アトリエ・アサクラ
- 3-21-1 / 「糸姫」 舞台写真 / 上演: 1975年9月 / パネル / 制作: 状況劇場 / 会場: 大久保ロケット工場 / 作・演出: 唐十郎 / 画像提供: アトリエ・アサクラ
- 3-21-2 / 「糸姫」 エレベーション / 1975年 / 鉛筆、紙 / 29.6 × 42.0 / アトリエ・アサクラ
- 3-21-3 / 「糸姫」 エレベーション / 1975年 / 鉛筆、紙 / 15.8 × 42.0 / アトリエ・アサクラ
- 3-22 / 映画「桜の森の満開の下」 ポスター / 1975年 (上演: 1975年5月) / 印刷、紙 / 73.0 × 51.5 / 制作: 東宝 / 原作: 坂口安吾 / 監督: 篠田正浩 / 音楽: 武満徹 / アトリエ・アサクラ
- 3-23-1 / 「越前竹人形」 舞台写真 / 上演: 1976年3月 / パネル / 制作: 五月舎 / 会場: 東横劇場 / 作: 水上勉 / 演出: 木村光一 / 画像提供: アトリエ・アサクラ
- 3-23-2 / 「越前竹人形」 エレベーション / 1976年 / 色鉛筆、鉛筆、紙 / 20.8 × 59.5 / アトリエ・アサクラ
- 3-23-3 / 「越前竹人形」 エレベーション / 1976年 / 色鉛筆、鉛筆、紙 / 20.8 × 59.5 / アトリエ・アサクラ
- 3-23-4 / 「越前竹人形」 エレベーション / 1976年 / 水彩、鉛筆、紙 / 20.5 × 42.0 / アトリエ・アサクラ
- 3-24 / 「オイディプス」 舞台写真 / 上演: 1976年5月 / デジタルスライド上映 / 制作: 東宝 / 会場: 日生劇場 / 作: ソフォクレス / 演出: 蜷川幸雄 / 画像提供: アトリエ・アサクラ
- 3-25 / 「蛇姫様」 舞台写真 / 上演: 1977年5月 / デジタルスライド上映 / 制作: 状況劇場 / 会場: 青山公園 (紅テント) / 作・演出: 唐十郎 / 画像提供: アトリエ・アサクラ
- 3-26-1 / 「三文オペラ」 舞台写真 / 上演: 1977年5月 / パネル / 制作: 東宝 / 会場: 帝国劇場 / 作: ベルトルト・ブレヒト / 演出: 蜷川幸雄 / 画像提供: アトリエ・アサクラ
- 3-26-2 / 「三文オペラ」 部分図1 / 1977年 / 水彩、鉛筆、インク、紙 / 29.7 × 42.0 / アトリエ・アサクラ
- 3-26-3 / 「三文オペラ」 部分図2 / 1977年 / コラージュ、水彩、鉛筆、インク、紙 / 42.0 × 28.6 / アトリエ・アサクラ
- 3-26-4 / 「三文オペラ」 エレベーション1 / 1977年 / 水彩、鉛筆、インク、紙 / 25.8 × 56.8 / アトリエ・アサクラ
- 3-26-5 / 「三文オペラ」 エレベーション2 / 1977年 / 水彩、鉛筆、インク、紙 / 42.0 × 28.8 / アトリエ・アサクラ
- 3-26-6 / 「三文オペラ」 部分図3 / 1977年 / 水彩、鉛筆、インク、紙 / 29.7 × 42.0 / アトリエ・アサクラ
- 3-27-1 / 「ハムレット」 舞台写真 / 上演: 1978年8月 / パネル / 制作: 東宝 / 会場: 帝国劇場 / 作: ウィリアム・シェイクスピア / 演出: 蜷川幸雄 / 画像提供: アトリエ・アサクラ
- 3-27-2 / 「ハムレット」 舞台模型 / 1978/2021年 / 水彩、木、紙 / 60.7 × 60.1 × 35.0 / アトリエ・アサクラ
- 3-27-3 / 「ハムレット」 舞台の鏡と朝倉 / 1978年 / 写真 / 25.0 × 30.0 / アトリエ・アサクラ
- 3-28-1 / 「近松心中物語」 舞台写真 / 上演: 1979年2月 / パネル / 制作: 東宝 / 会場: 帝国劇場 / 作: 秋元松代 / 演出: 蜷川幸雄 / 画像提供: アトリエ・アサクラ
- 3-28-2 / 「近松心中物語」 エレベーション / 1979年 / 水彩、鉛筆、紙 / 24.0 × 53.0 / アトリエ・アサクラ
- 3-28-3 / 「近松心中物語」 エレベーション 2幕2場 / 1979年 / 水彩、インク、鉛筆、紙 / 21.0 × 51.0 / アトリエ・アサクラ
- 3-28-4 / 「近松心中物語」 エレベーション 4幕2場 / 1979年 / 水彩、インク、鉛筆、紙 / 21.0 × 51.0 / アトリエ・アサクラ
- 3-28-5 / 「近松心中物語」 エレベーション 4幕3場 / 1979年 / 水彩、インク、鉛筆、紙 / 21.0 × 51.0 / アトリエ・アサクラ
- 3-29-1 / 「元禄港歌」 舞台写真 / 上演: 1980年8月 / パネル / 制作: 東宝 / 会場: 帝国劇場 / 作: 秋元松代 / 演出: 蜷川幸雄 / 画像提供: アトリエ・アサクラ
- 3-29-2 / 「元禄港歌」 エレベーション (海) / 1980年 / 水彩、鉛筆、紙 / 22.5 × 59.4 / アトリエ・アサクラ
- 3-29-3 / 「元禄港歌」 エレベーション (椿) / 1980年 / 水彩、鉛筆、紙 / 34.5 × 59.2 / アトリエ・アサクラ
- 3-30 / 「下谷万年町物語」 舞台写真 / 上演: 1981年2月 / デジタルスライド上映 / 制作: パルコ / 会場: PARCO 西武劇場 / 作: 唐十郎 / 演出: 蜷川幸雄 / 画像提供: アトリエ・アサクラ

3-31 / 「走れメルス」舞台写真/上演:1983年1月/デジタルスライド上映/制作:劇団夢の遊眠社/会場:紀伊国屋ホール/作・演出:野田秀樹/画像提供:アトリエ・アサクラ

3-32-1 / 「にぎり江」舞台写真/上演:1984年1月/パネル/制作:東宝/会場:日生劇場/原作:樋口一葉/演出:蛭川幸雄/画像提供:アトリエ・アサクラ

3-32-2 / 「にぎり江」エレベーション 路地/1984年/インク、水彩、紙(ボード)/25.8×53.5/アトリエ・アサクラ

3-32-3 / 「にぎり江」エレベーション 「菊の井」店先/1984年/インク、水彩、紙(ボード)/26.0×53.6/アトリエ・アサクラ

3-32-4 / 「にぎり江」エレベーション「菊の井」奥座敷/1984年/インク、水彩、紙(ボード)/25.0×54.3/アトリエ・アサクラ

3-33 / 「タンゴ・冬の終わりに」舞台写真/上演:1984年4月/デジタルスライド上映/制作:パルコ/会場:西武劇場 PARCO/作:清水邦夫/演出:蛭川幸雄/画像提供:アトリエ・アサクラ

3-34-1 / 「ピサロ」舞台写真/上演:1985年7月/パネル/制作:パルコ/会場:PARCO劇場/作:ピーター・シェーファー/演出:テレンス・ナップ/画像提供:アトリエ・アサクラ

3-34-2 / 「ピサロ」エレベーション(太陽)/1985年/アクリル、紙/26.8×41.6/アトリエ・アサクラ

3-34-3 / 「ピサロ」エレベーション (アンデス山中)/1985年/アクリル、紙/26.8×41.6/アトリエ・アサクラ

3-34-4 / 「ピサロ」衣装帳/1985年/水彩、鉛筆、紙/36.8×26.7/アトリエ・アサクラ

3-35-1 / 「ヤマトタケル」舞台写真/上演:1986年2月/パネル/制作:松竹/会場:新橋演舞場/作:梅原猛/演出:市川猿之助/画像提供:アトリエ・アサクラ

3-35-2 / 「ヤマトタケル」エレベーション 1幕2場 大碓命の家/1986年/水彩、紙(ボード)/20.3×35.6/アトリエ・アサクラ

3-35-3 / 「ヤマトタケル」エレベーション 1幕5場 クマソの館/1986年/水彩、紙(ボード)/16.8×35.4/アトリエ・アサクラ

3-35-4 / 「ヤマトタケル」エレベーション 3幕4場 能煩野の民家/1986年/水彩、紙(ボード)/20.3×35.6/アトリエ・アサクラ

3-36 / 「義経千本桜 吉野山」舞台写真/上演:1987年5月/デジタルスライド上映/制作:松竹/会場:新橋演舞場/演出:市川猿之助/画像提供:アトリエ・アサクラ

3-37-1 / 「蜘蛛女のキス」舞台写真/上演:1991年12月/パネル/制作:松竹/会場:ベニサン・ピット/作:マニエル・プイグ/演出:ロバート・アラン・アッカーマン/画像提供:アトリエ・アサクラ

3-37-2 / 「蜘蛛女のキス」舞台模型/1991年/水彩、木、紙/58.2×51.0×30.0/アトリエ・アサクラ

3-38 / 「ゴドーを待ちながら」舞台写真/上演:1994年10月/デジタルスライド上映/制作:銀座セゾン劇場/会場:銀座セゾン劇場/作:サミュエル・ベケット/演出:蛭川幸雄/画像提供:アトリエ・アサクラ

3-39 / 「エンジェルス・イン・アメリカ」舞台写真/上演:1995年12月/デジタルスライド上映/制作:銀座セゾン劇場/会場:銀座セゾン劇場/作:トニー・クシュナー/演出:ロバート・アラン・アッカーマン/画像提供:アトリエ・アサクラ

3-40 / 「星の王子様'98」舞台写真/上演:1998年5月/デジタルスライド上映/制作:TBS+パルコ+ヒューマンデザイン/会場:東京芸術劇場中ホール/原作:サン＝テグジュペリ/演出:ワームホールプロジェクト/画像提供:アトリエ・アサクラ

3-41-1 / 「オペラ源氏物語」舞台写真/上演:2001年9月/パネル/制作:日生劇場/会場:日生劇場/原作:紫式部/演出:コリン・グレアム/音楽:三木稔/画像提供:アトリエ・アサクラ

3-41-2 / 「オペラ源氏物語」エレベーション/2001年/コラージュ、インク、紙/24.5×41.0/アトリエ・アサクラ

3-41-3 / 「オペラ源氏物語」衣装帳/2001年/水彩、鉛筆、印刷、紙/39.0×27.0/アトリエ・アサクラ

3-41-4 / 「オペラ源氏物語」パンフレット(日本語版)/2001年/印刷、紙/25.8×18.3/アトリエ・アサクラ

3-41-5 / 「オペラ源氏物語」パンフレット(英語版)/2001年/印刷、紙/28.0×21.8/アトリエ・アサクラ

3-42 / 「ウイット」舞台写真/上演:2002年8月/デジタルスライド上映/制作:パルコ/会場:PARCO劇場/作:マーガレット・エドソン/演出:西川信廣/画像提供:アトリエ・アサクラ

3-43 / 舞扇/1969-2012年/顔料ほか、紙(扇)/H30.3/尾上墨雪映像/朝倉撰の舞台美術/2022年/デジタルスライド上映/映像制作:大田晃/約10分

参考/アニメーション「死せる兵士のバラード」原画/1965年/インク、水彩ほか、紙/会場:草月アートセンター/アトリエ・アサクラ

#### ◆4章 挿絵の仕事—余白を造形すること

参考/書籍『ばらいろの雲』/発行:1954年12月15日/著作:ジョルジュ・サンド/訳:杉捷夫/岩波少年文庫87(1959年3月30日第8刷)/発行:岩波書店/個人蔵

4-1 / 「ピーターと狼」紙芝居/1956年頃(発行:1956年頃)水彩、紙/各25.7×37.0/構成:堀尾青史/個人蔵

4-2 / 『てんぐのかくれみの』/発行:1956年9月1日/彩色、コラージュ、和紙/28.0×40.8ほか/案:岡本良雄/こどものとも6号/発行:福音館書店/宮城県美術館

4-3 / 『すねこ・たんぼこ』/発行:1958年1月1日/水彩、コラージュ、紙/27.0×39.0ほか/著作:与田準一/こどものとも22号/発行:福音館書店/宮城県美術館

4-4 / 『すねこ・たんぼこ』下絵/1957年頃/墨、紙/各26.5×41.0/著作:与田準一/こどものとも22号/発行:福音館書店/個人蔵

4-5 / 『三月ひなのつき』/発行:1963年12月1日/水彩、色鉛筆、コンテ、紙/33.0×52.5ほか/著作:石井桃子/世界傑作童話シリーズ3/発行:福音館書店/個人蔵

4-6 / 『てまりのうた』/発行:1966年11月1日/水彩、イラストレーションボード/20.5×59.1ほか/著作:与田準一/こどものとも128号/発行:福音館書店/宮城県美術館

4-7 / 『うりこひめとあまんじゃく』/発行:1968年2月10日/水彩、イラストレーションボード/37.5×25.8ほか/著作:木島始/ものがたり絵本7/発行:岩崎書店/個人蔵

4-8 / 『たつのこたろう』/発行:1969年5月20日/水彩、紙/各32.3×46.5/著作:松谷みよ子/日本の名作/発行:講談社/個人蔵

4-9 / 『ごんぎつね』/発行:1969年8月24日/アクリル、紙/35.0×49.3ほか/著作:新美南吉/日本の名作/発行:講談社/個人蔵

4-10 / 『アルプスの少女』/発行:1970年1月20日/水彩、インク、洋紙/各41.1×59.0/原作:ヨハンナ・スピリ/文:三越左千夫/少年少女世界の名作 第15巻/発行:世界文化社/神奈川近代文学館

4-11 / 『赤いろうそくと人魚』/発行:1970年1月28日/アクリル、

インク、紙／30.3×46.0ほか／著作：小川未明／日本の名作／発行：講談社／個人蔵

4-12／『注文の多い料理店』／発行：1971年1月28日／アクリル、イラストレーションボード／36.1×51.5ほか／著作：宮沢賢治／日本の名作／発行：講談社／個人蔵

4-13／『スイッチョねこ』／発行：1971年11月16日／アクリル、イラストレーションボード／36.4×51.4ほか／著作：大佛次郎／日本の名作／発行：講談社／大佛次郎記念館

4-14／『カーレンちゃん』／発行：1973年／水彩、サインペン、洋紙／各31.6×50.0／著作：アンデルセン／再話：柴田民三／世界名作イソップ・グリム・アンデルセン 11／発行：国際情報社／神奈川近代文学館

4-15／『かまっておんど』／発行：1987年10月16日／水彩、インク、洋紙／各29.5×47.2／著作：つかこうへい／発行：フジテレビ出版／神奈川近代文学館

4-16／「砂の器」／1960-61年／「読売新聞」夕刊 1960.5.17～1961.4.20 全337話／ペン、墨、鉛筆、洋紙／各19.6×26.9／著作：松本清張／発行：読売新聞社／神奈川近代文学館

4-17／「まち」／1972年／「新潟日報」1972.1.6～1.10 全5回／インク、洋紙／各13.3×18.6／著作：谷川俊太郎／発行：新潟日报社／神奈川近代文学館

4-18／「帰山の雁」／1974-75年／「週刊小説」1974.9.13～1975.11.28 全62話／ペン、墨、洋紙／26.5×12.4ほか／著作：水上勉／発行：実業之日本社／神奈川近代文学館

4-19／少女と黒猫／1963年／顔料、紙／44.2×32.0／個人蔵

4-20／猫／1960年代／油彩、顔料、カンヴァス／73.0×50.0／個人蔵

(4) 没後 200 年 亜欧堂田善—江戸の洋風画家・創造の軌跡



A4 チラシ

会 期：令和 4 年 10 月 29 日(日)～ 12 月 18 日(日) 開催日数 43 日

分 野：洋画、日本画、版画

展示数：262 点

主 催：福島県立美術館、福島民報社、KFB 福島放送、東京新聞  
特別協力：須賀川市立博物館、神戸市立博物館

観覧料：一般・大学生 1,000 (800) 円、高校生 600 (500) 円、  
小・中学生 400 (300) 円 \* ( ) 内は 20 名以上の団体料金

観覧者数：3,332 名

担 当：坂本篤史、宮武 弘

関連事業：

・ギャラリートーク

日時：① 11 月 12 日(日) 14:00～14:45 ② 12 月 3 日(日) 14:00～14:45

参加者数：① 25 名 ② 30 名

・ワークショップ「鍾馗様の小旗を作ろう」

日時：11 月 20 日(日) 10:00～12:00

講師：大野青峯氏（須賀川絵のぼり 吉野屋 六代目）

場所：実習室

参加者数：9 名

概要：

福島県須賀川に生まれた亜欧堂田善、本名永田善吉（1748-1822）は、司馬江漢と並んで、江戸時代後期を代表する洋風画家の一人である。現在の田善は白河藩主松平定信から腐食銅版画技術の習得を命じられ、西洋からもたらされた文物をもとに、試行錯誤の末、この技法を身に付けた。田善は、粘り強く銅版画を研究して自家薬籠中の物とした、いわば技法の大成者として高く評価されている。

田善の没後 200 年を記念して開催する本展覧会は、田善の銅版画をはじめ、肉筆の洋風画、素描などにより彼の画業を振り返るとともに、田善が目にしたであろう西洋版画や同時代の絵師たちの作品も展示し、その表現の源泉と独自性を探った。（巡回先：千葉市美術館）



展示風景



ギャラリートーク



ワークショップ



## 出品リスト：

[指定 No./作者名/作品タイトル/員数/制作年/材質技法/所蔵/展示期間 (I/II/III/IV ●が展示期間)]

国指定重要文化財=◎ 国指定重要美術品=○ 福島県指定文化財=□  
展示期間【I期=10/29～11/6】【II期=11/8～11/20】【III期=11/22～12/4】【IV期=12/6～12/18】

## ◆第一章：画業の始まり

1/亜欧堂田善/源頼義水請之図//一面/宝暦12年(1762)//板地着色/白山寺//●/●/●/●

2/永田崑山/関羽読書の図//一幅/江戸時代(18世紀)//絹本着色/個人蔵//●/●/●/●

3/月僊/恵比寿図//一幅/江戸時代(18世紀)//絹本着色//三重県立美術館//●/●/●/●

4/月僊/僊山採芝図//一幅/江戸時代(18世紀)//紙本墨画淡彩//三重県立美術館//●/●/●/●

5/松平定信(編)/『集古十種』//七十四冊(全八十五冊のうち)/江戸時代(19世紀)//紙本木版墨摺/福島県立博物館//●/●/●/●

6/谷文晁/田善肖像(『畫學齋過眼圖藁』下巻)一枚(一冊)/寛政6年(1794)//紙本墨画//大東急記念文庫//○/●/○/○

7/谷文晁/西遊画紀行帖//一帖(十二図)/江戸時代(18～19世紀)//紙本着色/板橋区立美術館//●/●/○/○

8/谷文晁/相州名勝図帖//一帖(八図)/寛政9年(1797)5月//絹本着色/東京国立博物館//○/○/●/●

9/亜欧堂田善/素描(鴨居岡・唐人物)一枚/寛政年間(1789～1801)後期頃/紙本墨画//個人蔵//●/●/●/●

10/白雲/岩瀬郡須加川町耕地之図//一幅/江戸時代(18～19世紀)//紙本墨画淡彩/個人蔵(須賀川市立博物館寄託)//●/●/○/○

11/白雲/会津津川冬景図巻//一卷(十四図)/享和元年(1801)頃//紙本墨画淡彩/歸空庵//●/●/●/●

12/司馬江漢/三壘景//一枚/天明3年(1783)9月//紙本銅版筆彩/神戸市立博物館//●/●/○/○

13/司馬江漢/Serhentine//一枚/天明5年(1785)//紙本銅版筆彩/千葉市美術館//○/○/●/●

14/司馬江漢/両国橋 TWEELANDBRUK//一枚/天明7年(1787)9月//紙本銅版筆彩/神戸市立博物館//●/●/○/○

15/司馬江漢/三壘之景 MIMEGULI//一枚/天明7年(1787)10月//紙本銅版筆彩/神戸市立博物館//○/○/●/●

16/鋤形蕙斎/東都繁昌図巻//一卷/享和3年(1803)//絹本着色/千葉市美術館(西谷コレクション)//●/●/●/●

## ◆第二章：西洋版画との出会い

17/ヨハン・エリアス・リーディングー(原画・刻)、マルティン・エリアス・リーディングー、ヨハン・ゴットフリード・ゾイター(刻)/『トルコの馬飾り・諸国馬図』//一冊(三十二図)/1752年(一～四図)//紙本銅版//早稲田大学図書館/※千葉会場のみ

□ 18/亜欧堂田善/銅版下絵曳馬図帖//一帖/寛政11年(1799)頃//紙本墨画//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)//●/●/●/●

□ 19/亜欧堂田善/素描(乗馬図)//一枚/江戸時代(18～19世紀)//紙本墨画//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)//●/●/●/●

20/司馬江漢/オランダ馬図//一面/寛政年間(1789～1801)頃

//絹本油彩//個人蔵//●/●/●/●

□ 21/亜欧堂田善/洋人曳馬図//一面/享和2年(1802)7月奉納//板地着色//東堂山 満福寺//●/●/●/●

□ 22/亜欧堂田善/洋人曳馬図//一枚/寛政年間(1789～1801)後期～文化年間(1804～18)初期頃/紙本銅版//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)//●/●/●/●

◎ 23/亜欧堂田善/洋人曳馬図//一枚/寛政年間(1789～1801)後期～文化年間(1804～18)初期頃/紙本銅版//広島県立歴史博物館(菅茶山関係資料)//●/●/○/○

24/亜欧堂田善/曳馬図//一枚/寛政年間(1789～1801)後期～文化年間(1804～18)前期頃/紙本銅版//東京国立博物館//○/○/●/●

□ 25/亜欧堂田善/曳馬図//一枚/寛政年間(1789～1801)後期～文化年間(1804～18)前期頃/絹本銅版(繪子)/須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)//●/●/○/○

□ 26/亜欧堂田善/曳馬図原版//一枚/寛政年間(1789～1801)後期～文化年間(1804～18)前期頃/銅板(鏡)//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)//●/●/●/●

260/ヨハン・エリアス・リーディングー(原画・刻)ほか/プロシア馬//一枚/1752年頃//紙本銅版//個人蔵//●/●/●/●

261/ヨハン・エリアス・リーディングー(原画・刻)ほか/トルコ馬//一枚/1752年頃//紙本銅版//個人蔵//●/●/●/●

## ◆第三章：新たな表現を求めて一洋風画の諸相

27/亜欧堂田善/蘭医図//一面/寛政年間(1789～1801)後期頃/絹本油彩//歸空庵//●/●/●/●

28/M・C・ヒルシュマン子(原画)、ヨハン・ヤーコプ・ハイド(刻)/ヨハン・ウィルヘルム・ワインマンの肖像一枚/1683年//紙本銅版//個人蔵//●/●/●/●

29/亜欧堂田善/富士山頂図//一面/寛政年間(1789～1801)後期頃/絹本着色//公益財団法人平野政吉美術財団//●/●/●/●

30/亜欧堂田善/海浜アイヌ図//一幅/寛政12年(1800)//絹本着色//個人蔵//●/●/○/○

31/亜欧堂田善/湖辺武人図//一面/寛政年間(1789～1801)後期～文化年間(1804～18)頃//絹本油彩//個人蔵//●/●/●/●

32/司馬江漢/七里ヶ浜図//一面/寛政年間(1789～1801)末期頃/絹本油彩//個人蔵//●/●/●/●

□ 33/亜欧堂田善/七里ヶ浜遠望図//一面/寛政年間(1789～1801)後期～享和年間(1801～04)頃//絹本油彩//個人蔵(須賀川市立博物館寄託)//●/●/●/●

□ 34/亜欧堂田善/七里ヶ浜図//一面/寛政年間(1789～1801)後期～文化年間(1804～18)前期頃/絹本油彩//桑折町種徳美術館//●/●/●/●

35/亜欧堂田善/江嶋兒之洲奥院之図//一面/文化年間(1804～18)前期頃/絹本油彩//天日鷲神社//●/●/●/●

36/亜欧堂田善/七里ヶ浜図//一面/文化年間(1804～18)頃/絹本油彩//個人蔵//●/●/●/●

37/柳々居辰斎/相州七里浜//一枚/文化年間(1804～18)中期頃/大判錦絵//神奈川県立歴史博物館//○/○/●/●

38/柳々居辰斎/両国//一枚/文化～文政年間(1804～30)頃/大判錦絵//神奈川県立歴史博物館//○/○/○/●

39/昇亭北寿/江之嶋七里ヶ浜//一枚/文化元～6年(1804～09)

頃/大判錦絵//神奈川県立歴史博物館/○/○/○/●

40/昇亭北寿/武州千住大橋之景//一枚/文化元~6年(1804~09)頃/大判錦絵//神奈川県立歴史博物館/○/○/●/○

41/昇亭北寿/甲斐国猿橋ノ真瀉之図//一枚/文化6年~文政年間(1809~30)頃/大判錦絵//神奈川県立歴史博物館/○/○/●/○

42/亜欧堂田善/今戸瓦焼図//一幅/寛政年間(1789~1801)後期~文化年間(1804~18)前期頃/絹本油彩//神戸市立博物館/○/●/●/●

○ 43/亜欧堂田善/両国図//一幅/寛政年間(1789~1801)後期~文化年間(1804~18)頃/絹本油彩//秋田市立千秋美術館/●/●/○/○

44/亜欧堂田善/江戸城辺風景図//一面/寛政年間(1789~1801)後期~文化年間(1804~18)前期頃/絹本油彩//東京藝術大学/●/●/●/●

45/亜欧堂田善/護持院ヶ原図//一面/文化年間(1804~18)頃//絹本油彩//東京国立博物館/●/●/○/○

46/亜欧堂田善/江戸街頭風景図//一面/文化年間(1804~18)頃/絹本油彩//東京藝術大学/●/●/●/●

47/亜欧堂田善/三囲雪景図//一面/文化年間(1804~18)頃/絹本油彩//歸空庵//○/○/●/●

48/亜欧堂田善/三囲雪景図//一面/文化年間(1804~18)頃/絹本油彩//個人蔵(須賀川市立博物館寄託)/○/○/●/●

◎ 49/亜欧堂田善/浅間山図屏風//六曲一隻/文化年間(1804~18)頃/紙本油彩//東京国立博物館/●/●/○/○

50/亜欧堂田善/浅間山図屏風稿本//五枚のうち/文化年間(1804~18)頃/紙本着色//個人蔵/●/●/●/●

51/谷文晁(画)、川村寿庵(編)/『日本名山図会』//三冊/文化9年(1812)刊//紙本木版墨摺/千葉市美術館(ラヴィッツコレクション)/●/●/●/●

52/亜欧堂田善/塩焼図//一面/文化年間(1804~18)頃/絹本油彩//歸空庵//○/○/○/●

53/亜欧堂田善/山水人物図//一幅/文化年間(1804~18)頃/絹本油彩//歸空庵//●/●/●/●

54/亜欧堂田善/花下遊楽図//一面/文化年間(1804~18)頃/絹本油彩//公益財団法人立花財団 立花家史料館/●/●/●/●

55/亜欧堂田善/少女愛犬図//一幅/文化年間(1804~18)~文政5年(1822)頃/絹本墨画//個人蔵/●/●/●/●

56/フランシス・コーツ(原画)、ジェームズ・ワトソン(刻)/少女ラッセルズ//一枚/18世紀(ロンドン、ライランド&ブライヤー発行)/紙本銅版//個人蔵/●/●/●/●

57/亜欧堂田善/水辺牽馬之図//一面/文化年間(1804~18)後期~文政5年(1822)頃/絹本油彩//宮内庁三の丸尚蔵館/○/○/●/●

58/亜欧堂田善/天趣自得説//一帖/文化6年(1809)頃/紙本墨画//歸空庵//●/●/●/●

□ 59/亜欧堂田善/写生(手)//一枚/江戸時代(18~19世紀)//紙本墨画//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)/●/●/●/●

60/亜欧堂田善/蘭画帖//一幅(四図)/文化10年(1813)6月//紙本墨画・紙本銅版/神戸市立博物館/●/●/●/●

61/ヤン・ヨンスター(著)/『動物図譜』//一冊(オランダ語版)//1660年刊//紙本銅版//府中市美術館/●/●/○/○

62/ヘラルド・ライレッセ(著)/『大画法書』//一冊(オランダ語版)/1707年刊//紙本銅版//個人蔵/○/●/●/○

63/森島中良(編)/『紅毛雑話』//五冊/天明7年(1787)9月刊//紙本木版墨摺/早稲田大学図書館/※千葉会場のみ

□ 64/亜欧堂田善/素描(洋人)//一枚/文化年間(1804~18)頃//紙本墨画//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)/●/●/●/●

## ◆第四章：銅版画総覧

65//セザール・ド・シヨワジュールの肖像//一枚/17世紀後半//紙本銅版//個人蔵/●/●/●/●

□ 66/亜欧堂田善/MASR//一枚/寛政年間(1789~1801)後期~享和年間(1801~04)頃/紙本銅版(赤インク)/須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)/●/●/●/●

67/ニコラス・テン・ハーフェ、フレデリック・デ・ウィット/オーフェルエイセル地図//一枚/18世紀前半(アムステルダム、ヤン・コーヴェンス&コルネリス・モルティール発行)/紙本銅版筆彩/個人蔵/●/●/●/●

□ 68/亜欧堂田善/キューピットと壺と人間//一枚/寛政年間(1789~1801)後期~享和年間(1801~04)頃/紙本銅版//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)/●/●/●/●

□ 69/亜欧堂田善/西洋街頭風景図(西洋古城図)//一枚/寛政年間(1789~1801)後期~享和年間(1801~04)頃/紙本銅版//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)/●/●/●/●

□ 70/亜欧堂田善/牧童図原版//一枚/寛政年間(1789~1801)後期~享和年間(1801~04)頃/銅板(鏡)//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)/●/●/●/●

□ 71/亜欧堂田善/西洋港風景図(西洋河港風景図)原版//一枚(一基)/寛政年間(1789~1801)後期~文化年間(1804~18)前期頃/銅板(硯屏)//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)/●/●/●/●

72//デュッフェル城//一枚/17世紀後半//紙本銅版//個人蔵/●/●/●/●

73//アンデルシュタット城//一枚/17世紀後半//紙本銅版//個人蔵/●/●/●/●

74/フランツ・エルティンガー/ホーホストラーテン城//一枚/17世紀後半//紙本銅版//個人蔵/●/●/●/●

□ 75/亜欧堂田善/蘭語江戸地名//一枚/寛政年間(1789~1801)後期~文化年間(1804~18)初期頃/紙本銅版//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)/●/●/●/●

76/亜欧堂田善/金龍山浅草寺之図//一枚/寛政年間(1789~1801)後期~文化年間(1804~18)初期頃/紙本銅版//東京国立博物館/●/●/○/○

77/亜欧堂田善/金龍山浅草寺之図//一枚/寛政年間(1789~1801)後期~文化年間(1804~18)初期頃/紙本銅版//個人蔵/○/○/●/●

□ 78/亜欧堂田善/榎坂溜池之景//一枚/寛政年間(1789~1801)後期~文化年間(1804~18)初期頃/紙本銅版//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)/●/●/●/●

79/亜欧堂田善/佃浦風景(大槻家旧蔵《洋風版画貼交軸》)//一枚/寛政年間(1789~1801)後期~文化年間(1804~18)初期頃/紙本銅版//杜若文庫/●/●/●/●

80/亜欧堂田善/自隅田川望南之図//一枚/寛政年間(1789~

1801) 後期～文化年間(1804～18) 初期頃/紙本銅版//神戸市立博物館/●/●/○/○

□ 81/亜欧堂田善/自隅田川望南之図//一枚/寛政年間(1789～1801) 後期～文化年間(1804～18) 初期頃/紙本銅版//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)/○/○/●/●

◎ 82/亜欧堂田善/銅版画見本帖//一帖(十二図)/文化年間(1804～18) 前期頃/紙本銅版//須賀川市立博物館

82-1/多賀城碑/文化4年(1807)//82-2/洋人曳馬・地球儀/文化年間(1804～18) 前期頃//●/●/○/○

82-3/驪山比翼塚/文化2年(1805)//82-4/動物と市松模様/文化年間(1804～18) 前期頃//●/●/○/○

82-5/ヴァイオリン/文化年間(1804～18) 前期頃//82-6/マリー・ルイズ/文化年間(1804～18) 前期頃//●/●/○/○

82-7/ネーデルラントの独立/文化年間(1804～18) 前期頃//82-8/フロニンヘンの新地図/文化年間(1804～18) 前期頃//○/○/●/●

82-9/農耕女神像/文化年間(1804～18) 前期頃//82-10/ピョートル大帝像/文化年間(1804～18) 前期頃//○/○/●/●

82-11/稲穂と雀/文化年間(1804～18) 前期頃//82-12/稚松と夜の捕鳥/文化年間(1804～18) 前期頃//○/○/●/●

◎ 83/亜欧堂田善/多賀城碑・ネーデルラントの独立原板/一枚(表裏)/文化年間(1804～18) 前期頃/銅板//須賀川市立博物館/●/●/●/●

□ 84/亜欧堂田善/多賀城碑//一枚/文化4年(1807)//紙本銅版//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)/○/○/●/●

85/亜欧堂田善/洋人曳馬・地球儀・イスパニア女帝コロンブス引見の図/二枚(一幅に貼付)/文化年間(1804～18) 頃//紙本銅版//神戸市立博物館/○/○/●/●

86/ギョーム・ド・リール/ギリシャ地図//一枚/18世紀前半(アムステルダム、ヤン・コーヴェンス&コルネリス・モルティール発行)/紙本銅版筆彩/個人蔵//●/●/●/●

□ 87/亜欧堂田善/驪山比翼塚//一枚/文化2年(1805)//紙本銅版//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)/○/○/●/●

88/亜欧堂田善/鈴ヶ森図//一枚/文化年間(1804～18)～文政5年(1822) 頃/紙本木版多色摺・筆彩/個人蔵//○/○/●/●

89/亜欧堂田善/マリー・ルイズ//一枚/文化年間(1804～18) 前期頃/絹本銅版//神戸市立博物館/○/○/●/●

□ 90/亜欧堂田善/ネーデルラントの独立/一枚/文化年間(1804～18) 前期頃/紙本銅版//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)/●/●/○/○

91/亜欧堂田善/農耕女神像//一枚/文化年間(1804～18) 前期頃/紙本銅版//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)/●/●/○/○

92/ゲオルグ・パウル・ブッシュ(刻)/ブランデンブルク辺境伯領地図/一枚/18世紀前半(アムステルダム、ヤン・コーヴェンス&コルネリス・モルティール発行)/紙本銅版筆彩/個人蔵//●/●/●/●

□ 93/亜欧堂田善/ピョートル大帝像//一枚/文化年間(1804～18) 前期頃/紙本銅版//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)/●/●/○/○

94/亜欧堂田善/ピョートル大帝像(大槻家旧蔵《洋風版画貼交軸》

/一枚/文化年間(1804～18) 前期頃/絹本銅版//杜若文庫//●/●/●/●

95/亜欧堂田善/稲穂と雀//一枚/文化年間(1804～18) 頃//布地銅版(茶摺)/個人蔵//●/●/○/○

96/フランス・デ・バッケル/夜の捕鳥(ショメル『日用家庭百科事典』所載)/一枚/1738年//紙本銅版//個人蔵//●/●/●/●

97/フランス・デ・バッケル/夜の捕鳥(ショメル『日用家庭百科事典』所載)/一枚/1742年//紙本銅版//個人蔵//●/●/●/●

□ 98/亜欧堂田善/素描(狩獵)//一枚/寛政年間(1789～1801) 後期～文化年間(1804～18) 頃/紙本墨画//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)/●/●/●/●

□ 99/亜欧堂田善/驪山比翼塚(煙草入)/一個/文化年間(1804～18) 以降/布地銅版//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)/●/●/●/●

□ 100/亜欧堂田善/動物と市松模様(筒袋)/一口/文化年間(1804～18) 以降/絹本銅版//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)/●/●/●/●

101/亜欧堂田善/ヴァイオリン(合切籠)/一個/文化年間(1804～18) 以降/布地銅版//須賀川市立博物館/●/●/●/●

□ 102/亜欧堂田善/ピョートル大帝像(筒)/一個/文化年間(1804～18) 以降/絹本銅版//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)/●/●/●/●

□ 103/亜欧堂田善/籠造り・人物・西洋風景図(帽子)/一個/文化年間(1804～18) 頃/布地銅版(藍摺)/須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)/●/●/●/●

104/ヤン&カスバル・ライケン(画・著)/『人間の職業』/一冊(オランダ語版)/1704年刊(初版1694年)//紙本銅版//町田市立国際版画美術館/●/●/●/●

105/司馬江漢ほか/『京城画苑』/一冊/文化11年(1814) 正月刊//紙本木版多色摺/千葉市美術館/●/●/●/●

106/亜欧堂田善/群雀図//一枚/文化年間(1804～18) 以降/布地銅版//神戸市立博物館/●/●/○/○

107/亜欧堂田善/花模様//一枚/文化年間(1804～18) 以降/布地銅版//須賀川市立博物館/●/●/●/●

108/亜欧堂田善/蝶図//一枚/文化年間(1804～18) 以降/布地銅版//須賀川市立博物館/●/●/●/●

109/亜欧堂田善/亀図//一枚/文化年間(1804～18) 以降/布地銅版//須賀川市立博物館/●/●/●/●

110/亜欧堂田善/イスパニア女帝コロンブス引見の図/一枚/文化年間(1804～18) 頃/紙本銅版//東京国立博物館/●/●/○/○

111/亜欧堂田善/イスパニア女帝コロンブス引見の図/一枚/文化年間(1804～18) 頃/紙本銅版//歸空庵//●/●/●/●

□ 112/亜欧堂田善/素描(ペルラカタ城、イスパニア女帝コロンブス引見の図)/一枚/文化年間(1804～18) 頃//紙本墨画//須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)/●/●/●/●

113/亜欧堂田善/雲龍図//一枚/文化年間(1804～18) 頃//紙本銅版//東京国立博物館/○/○/●/●

114/亜欧堂田善/雲龍図(半襟)//一枚/文化年間(1804～18) 以降/絹本銅版//須賀川市立博物館/●/●/●/●

115/亜欧堂田善/DE ZUIDER ZEE(ザウデル・ゼー)/一枚/文化年間(1804～18) 頃//絹本銅版//神戸市立博物館/●/●/○/○

116/亜欧堂田善/DE ZUIDER ZEE(ザウデル・ゼー)/一枚/文化年間(1804～18) 頃//紙本銅版//杜若文庫//●/●/●/●

- 117 / 亜欧堂田善 / 《ザウデル・ゼー》と《花模様》による帛紗 / 一枚 / 文化年間 (1804 ~ 18) 以降 / 絹本銅版 (縮緬) / 個人蔵 (須賀川市立博物館寄託) / ● / ● / ● / ●
- 118 / 亜欧堂田善 / 西洋帆船図 / 一枚 / 文化年間 (1804 ~ 18) 頃 / 紙本銅版 / 個人蔵 / ● / ● / ● / ●
- 119 / 亜欧堂田善 / 西洋帆船図・DE ZUIDER ZEE (ザウデル・ゼー) 原版 / 一枚 (表裏) / 文化年間 (1804 ~ 18) 頃 / 銅板 / 須賀川市立博物館 / ● / ● / ● / ●
- ◎ 120 / 亜欧堂田善 / 銅版画東都名所図 / 一帖 (二十五図) / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版 / 須賀川市立博物館 / 120-1 / 三囲眺望之図 / 120-2 / 万年橋大橋両国橋勝景 / 120-3 / 三俣真景 / ● / ● / ○ / ○ / 120-4 / 霊岸島湊之図 / 120-5 / 佃島真景 / 120-6 / 自駿河台水道橋眺望 / ● / ● / ○ / ○ / 120-7 / 自斜橋聖堂眺望之図 / 120-8 / 自上野望山下 / 120-9 / 新吉原夜俄之図 / ● / ● / ○ / ○ / 120-10 / 東都名所全図 / 120-11 / 真洲先稲荷隅田川眺望 / 120-12 / 吉原大門図 / ● / ● / ○ / ○ / 120-13 / 二州橋夏夜図 / ● / ● / ○ / ○ / 120-14 / 桜田馬場射御之図 / 120-15 / 自大榎屋後楼臨不忍池園 / 120-16 / 自道灌山望鴻台之図 / ○ / ○ / ● / ● / 120-17 / 日本橋魚廓図 / 120-18 / 今戸瓦焼之図 / 120-19 / 愛宕山眺望之図 / ○ / ○ / ● / ● / 120-20 / 愛宕山二 / 120-21 / 三囲図 / 120-22 / 品川月夜図 / ○ / ○ / ● / ● / 120-23 / 両国勝景 / 120-24 / 金龍山浅草寺 / 120-25 / 飛鳥山眺望 / ○ / ○ / ● / ●
- ◎ 121 / 亜欧堂田善 / 三囲眺望之図 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版 / 広島県立歴史博物館 (菅茶山関係資料) / ○ / ○ / ● / ●
- 122 / 亜欧堂田善 / 万年橋大橋両国橋勝景 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版 / 神戸市立博物館 / ○ / ○ / ● / ●
- 123 / 亜欧堂田善 / 万年橋大橋両国橋勝景 (異版) / 一枚 / 文化年間 (1804 ~ 18) 頃 / 紙本銅版 / 須賀川市立博物館 (太田貞喜コレクション) / ● / ● / ○ / ○
- 124 / 亜欧堂田善 / 三俣真景 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版 / 神戸市立博物館 / ○ / ○ / ● / ●
- 125 / 亜欧堂田善 / 霊岸島湊之図 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版 / 千葉市美術館 / ○ / ○ / ● / ●
- 126 / 亜欧堂田善 / 佃島真景 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版 / 神戸市立博物館 / ○ / ○ / ● / ●
- 127 / 亜欧堂田善 / 佃島真景 (異版) / 一枚 / 文化年間 (1804 ~ 18) 頃 / 紙本銅版筆彩 / 東京国立博物館 / ○ / ○ / ● / ○
- 128 / 亜欧堂田善 / 自駿河台水道橋眺望 (異版) / 一枚 / 文化年間 (1804 ~ 18) 頃 / 紙本銅版筆彩 / 神戸市立博物館 / ○ / ○ / ● / ●
- 129 / 亜欧堂田善 / 自斜橋聖堂眺望之図 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版 / 神戸市立博物館 / ○ / ○ / ● / ●
- 130 / 亜欧堂田善 / 自神田橋望聖堂 / 一枚 / 文化年間 (1804 ~ 18) 頃 / 紙本銅版筆彩 / 東京国立博物館 / ○ / ○ / ○ / ●
- 131 / 亜欧堂田善 / 自神田橋望聖堂 / 一枚 / 文化年間 (1804 ~ 18) 頃 / 紙本銅版 / 神戸市立博物館 / ○ / ○ / ● / ●
- 132 / 亜欧堂田善 / 自上野望山下 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版 / 神戸市立博物館 / ○ / ○ / ● / ●
- 133 / 亜欧堂田善 / 自上野望山下 (異版) / 一枚 / 文化年間 (1804 ~ 18) 頃 / 紙本銅版 / 須賀川市立博物館 (太田貞喜コレクション) / ○ / ○ / ● / ●
- ◎ 134 / 亜欧堂田善 / 新吉原夜俄之図 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版 / 広島県立歴史博物館 (菅茶山関係資料) / ○ / ○ / ● / ●
- 135 / 亜欧堂田善 / 東都名所全図 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版筆彩 / 神戸市立博物館 / ○ / ○ / ● / ●
- ◎ 136 / 鋏形蕙斎 / 江戸名所之絵 / 一枚 / 享和 3 年 (1803) / 紙本木版多色摺 / 広島県立歴史博物館 (菅茶山関係資料) / ● / ● / ○ / ○
- 137 / 亜欧堂田善 / 真洲先稲荷隅田川眺望 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版筆彩 / 神戸市立博物館 / ○ / ○ / ● / ●
- 138 / 亜欧堂田善 / 吉原大門図 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版筆彩 / 神戸市立博物館 / ○ / ○ / ● / ●
- 139 / 亜欧堂田善 / 二州橋夏夜図 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版筆彩 / 神戸市立博物館 / ○ / ○ / ● / ●
- 140 / 亜欧堂田善 / 桜田馬場射御之図 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版筆彩 / 神戸市立博物館 / ● / ● / ○ / ○
- 141 / 亜欧堂田善 / 自大榎屋後楼臨不忍池園 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版筆彩 / 神戸市立博物館 / ● / ● / ○ / ○
- 142 / 亜欧堂田善 / 自道灌山望鴻台之図 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版筆彩 / 神戸市立博物館 / ● / ○ / ○ / ○
- 143 / 亜欧堂田善 / 自道灌山望鴻台之図 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版 / 須賀川市立博物館 (太田貞喜コレクション) / ● / ● / ○ / ○
- 144 / 亜欧堂田善 / 日本橋魚廓図 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版筆彩 / 神戸市立博物館 / ● / ○ / ○ / ○
- 145 / 亜欧堂田善 / 日本橋魚廓図 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版 / 須賀川市立博物館 (太田貞喜コレクション) / ● / ● / ○ / ○
- 146 / 鋏形蕙斎 (北尾政美) / 浮絵東都日本橋小田原町魚市之図 / 一枚 / 天明年間 (1781 ~ 89) 頃 / 大判錦絵 / 神奈川県立歴史博物館 / ○ / ● / ○ / ○
- 147 / 亜欧堂田善 / 今戸瓦焼之図 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版筆彩 / 神戸市立博物館 / ● / ● / ○ / ○
- 148 / 亜欧堂田善 / 愛宕山眺望之図 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版筆彩 / 神戸市立博物館 / ● / ● / ○ / ○
- 149 / 亜欧堂田善 / 愛宕山眺望之図 (異版) / 一枚 / 文化年間 (1804 ~ 18) 頃 / 紙本銅版 / 千葉市美術館 / ● / ● / ○ / ○
- 150 / 亜欧堂田善 / 品川月夜図 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版 / 神戸市立博物館 / ● / ● / ○ / ○
- 151 / 亜欧堂田善 / 両国勝景 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版筆彩 / 東京国立博物館 / ○ / ● / ○ / ○
- 152 / 亜欧堂田善 / 飛鳥山眺望 / 一枚 / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 紙本銅版 / 町田市立国際版画美術館 / ● / ● / ○ / ○
- ◎ 153 / 亜欧堂田善 / 三囲眺望之図・新吉原夜俄之図原版 / 一枚 (表裏) / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 銅板 / 須賀川市立博物館 / ● / ● / ● / ●
- ◎ 154 / 亜欧堂田善 / 自上野望山下・東都名所全図原版 / 一枚 (表裏) / 文化元 ~ 6 年 (1804 ~ 09) 頃 / 銅板 / 須賀川市立博物館 / ● / ● / ● / ●
- ◎ 155 / 亜欧堂田善 / 真洲先稲荷隅田川眺望・自道灌山望鴻台之図

- 原版／一枚(表裏)／文化元～6年(1804～09)頃／銅板／須賀川市立博物館／●／●／●／●
- ◎ 156／亜欧堂田善／駿河台水道橋眺望原版／一枚／文化元～6年(1804～09)頃／銅板／須賀川市立博物館／●／●／●／●
- ◎ 157／亜欧堂田善／桜田馬場射御之図・今戸瓦焼之図原版／一枚(表裏)／文化元～6年(1804～09)頃／銅板／須賀川市立博物館／●／●／●／●
- 158／亜欧堂田善／三囲図・品川月夜図原版／一枚(表裏)／文化元～6年(1804～09)頃／銅板／東京国立博物館／●／●／●／●
- 159／亜欧堂田善／西洋公園図／一枚／文化年間(1804～18)頃／紙本銅版／須賀川市立博物館／●／●／●／●
- 160／ジョン・ティニー(刻)／フォンテーヌブロー宮翼廊眺望／一枚／18世紀後半(ロンドン、ロバート・セイヤー発行)／紙本銅版筆彩／個人蔵／●／●／●／●
- 161／亜欧堂田善／ゼルマニヤ廊中之図／一枚／文化6年(1809)正月／紙本銅版筆彩／神戸市立博物館／●／●／○／○
- ◎ 162／亜欧堂田善／ゼルマニヤ廊中之図／一枚／文化6年(1809)正月／紙本銅版／広島県立歴史博物館(菅茶山関係資料)／○／○／●／●
- 163／亜欧堂田善／ゼルマニヤ廊中之図／一枚／文化6年(1809)正月／絹本銅版／公益財団法人平野政吉美術財団／●／●／●／●
- 164／ヨハン・ニューホフ(著)／『東西海陸記行』／一冊(オランダ語版)／1682年刊／紙本銅版／神戸市立博物館／●／●／●／●
- 165／ジャック・リゴ(原画)、ポール・エンジャー(刻)／パリ市庁舎眺望／一枚／1749年4月(ロンドン、ロバート・セイヤー&ジョン・ボイデル発行)／紙本銅版／個人蔵／●／●／●／●
- 166／古代ローマ繁栄の図／一枚／18世紀後半(ロンドン、ロバート・セイヤー、ジョン・ボウルズ発行)／紙本銅版筆彩／個人蔵／●／●／●／●
- 167／古代ローマ繁栄の図(眼鏡絵)／一枚／18世紀後半(パリ、ジャン＝フランソワ・ドモン発行)／紙本銅版筆彩／個人蔵／●／●／●／●
- 168／反射式覗き機関(覗き眼鏡)／一基／18世紀(イギリス製)／木製／千葉市美術館／●／●／●／●
- 169／亜欧堂田善／大日本金龍山之図／一枚／文化年間(1804～18)頃／紙本銅版／個人蔵(須賀川市立博物館寄託)／●／●／○／○
- 170／亜欧堂田善／大日本金龍山之図／一枚／文化年間(1804～18)頃／紙本銅版／須賀川市立博物館／○／○／●／●
- 171／亜欧堂田善／大日本金龍山之図(後摺)／一枚／大正～昭和9年(1912～34)頃 ※原版は文化年間(1804～18)頃／紙本銅版／神戸市立博物館／●／●／○／○
- 172／亜欧堂田善／大日本金龍山之図原版／一枚／文化年間(1804～18)頃／銅板／須賀川市立博物館／●／●／●／●
- 173／亜欧堂田善・新井令恭(画)、宇田川玄真(著)／『医範提綱内象銅版図』／一帖／文化5年(1808)三月跋／(画)紙本銅版(一部に後世の筆彩)、(文)紙本木版墨摺／杜若文庫／●／●／●／●
- 174／亜欧堂田善・新井令恭(画)、宇田川玄真(著)／『医範提綱内象銅版図』／一帖／文化5年(1808)3月跋／(画)紙本銅版、(文)紙本木版墨摺／個人蔵／●／●／●／●
- 175／宇田川玄真(著)／『医範提綱』／三冊／文化2年(1805)3月序／紙本木版墨摺／福島県立美術館／●／●／●／●
- 176／ステューヴン・プランカールト(著)／『新訂解剖学』／一冊(オランダ語版)／1696年刊／紙本銅版／国際日本文化研究センター／●／○／○／○
- 177／亜欧堂田善／新鑄総界全図・日本境界略図／一卷(序・跋・二図)／文化6年(1809)六月序／紙本銅版筆彩 ※序・跋は木版墨摺／郡山市立美術館／●／●／○／○
- 178／亜欧堂田善／新鑄総界全図・日本境界略図／一卷(序・跋・二図)／文化6年(1809)六月序／紙本銅版筆彩 ※序・跋は木版墨摺／神戸市立博物館／○／○／●／●
- 179／亜欧堂田善／新鑄総界全図(異版)／一枚／文化6年(1809)頃／紙本銅版／須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)／●／●／●／●
- ◎ 180／亜欧堂田善／新訂万国全図／一鋪／文化7年(1810)※刊行は文化13年(1816)頃／紙本銅版筆彩／広島県立歴史博物館(菅茶山関係資料)／○／○／●／●
- 181／亜欧堂田善／新訂万国全図／一鋪／文化7年(1810)※刊行は文化13年(1816)頃／紙本銅版筆彩／個人蔵／●／●／○／○
- 182／亜欧堂田善／新訂万国全図／一鋪／文化7年(1810)※刊行は文化13年(1816)頃／紙本銅版筆彩／福島県立美術館／●／●／●／●
- 183／亜欧堂田善(テンセン)／魚売図／一枚／文化年間(1804～18)頃／紙本銅版／須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)／●／●／○／○
- 184／亜欧堂田善／両国夕涼図／一枚／文化年間(1804～18)頃／紙本銅版筆彩／神戸市立博物館／○／○／●／●
- 185／亜欧堂田善(テンセン)／シハアタコ／一枚／文化年間(1804～18)頃／紙本銅版／須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)／○／○／●／●
- 186／亜欧堂田善(アワウテンセン)／サスキヘンテン／一枚／文化年間(1804～18)頃／紙本銅版筆彩／東京国立博物館／○／○／●／○
- 187／亜欧堂田善(あわうてんせん)／エイタイハシノツ／一枚／文化年間(1804～18)頃／紙本銅版／東京国立博物館／●／●／○／○
- 188／亜欧堂田善(アワウテンセン)／レウコクハシ／一枚／文化年間(1804～18)頃／紙本銅版／東京国立博物館／○／○／●／●
- 189／亜欧堂田善(アワウテンセン)／アサクサラクヤマ／一枚／文化年間(1804～18)頃／紙本銅版／須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)／○／○／●／●
- 190／亜欧堂田善(アワウテンセン)／シナカワシホヒ／一枚／文化年間(1804～18)頃／紙本銅版／東京国立博物館／●／●／○／○
- 191／亜欧堂田善(アヲヲテンセン)／ヨシハラトケイ／一枚／文化年間(1804～18)頃／紙本銅版／須賀川市立博物館(太田貞喜コレクション)／●／●／○／○
- 192／亜欧堂田善(アヲヲテンセン)／エノキサカノツ／一枚／文化年間(1804～18)頃／紙本銅版／東京国立博物館／●／●／○／○
- 193／亜欧堂田善(アヲヲテンセン)／シノハスノケイ／一枚／文化年間(1804～18)頃／紙本銅版／東京国立博物館／○／○／●／●
- 194／亜欧堂田善(アヲヲテンセン)／シノハスノケイ／一枚／文化年間(1804～18)頃／紙本銅版筆彩／個人蔵(須賀川市立博物館寄

託) / ● / ● / ○ / ○

195 / 亜欧堂田善 (アヲヲテンセン) / ミツマタノケイ / 一枚 / 文化年間 (1804 ~ 18) 頃 / 紙本銅版 / 個人蔵 (須賀川市立博物館寄託) / ○ / ○ / ● / ●

196 / 亜欧堂田善 / ミメクリノツ / 一枚 / 文化年間 (1804 ~ 18) 頃 / 紙本銅版筆彩 / 東京国立博物館 / ○ / ● / ○ / ○

197 / 亜欧堂田善 (画)、石井雨考ほか (句) / 釣魚図 / 一枚 / 文化6年 (1809) 以前 / 紙本木版多色摺 (俳諧摺物) / 個人蔵 / ● / ● / ○ / ○

198 / 亜欧堂田善 (画)、石井雨考ほか (句) / 河豚図 / 一枚 / 文化6年 (1809) / 紙本銅版 (俳諧摺物) / 個人蔵 (須賀川市立博物館寄託) / ● / ● / ● / ●

199 / 亜欧堂田善 (画)、石井雨考ほか (句) / 塩焼之図 (俳諧一枚摺《みちのく須賀川連新春賀摺》) / 一枚 / 文化10年 (1813) 正月 / 紙本木版筆彩 (俳諧摺物) / 須賀川市立博物館 / ● / ● / ● / ●

200 / 亜欧堂田善 (画)、石井雨考 (編) / 陸奥国石川郡大隈瀧芭蕉翁碑之図 (『青蔭集』所載) / 一枚 (一冊) / 文化11年 (1814) 5月 / (画) 紙本銅版、(文) 紙本木版墨摺 / 千葉市美術館 / ● / ● / ● / ●

201 / 亜欧堂田善 / 陸奥国石川郡大隈瀧芭蕉翁碑之図 / 一枚 / 文化11年 (1814) 5月 / 紙本銅版 / 東京国立博物館 / ○ / ○ / ● / ●

□ 202 / 印章 / 三類 / 寛政年間 (1789 ~ 1801) 後期 ~ 文政5年 (1822) 頃 / 木製 (つげ) / 須賀川市立博物館 (太田貞喜コレクション) / ● / ● / ● / ●

203 / 銅版制作用具 (ルーラー・定規・曲尺・コンパス・デバイダー・ルーレット・ビュランほか) / 十三点 / 寛政年間 (1789 ~ 1801) 後期 ~ 文化年間 (1804 ~ 18) 頃 / 真鍮・鉄 / 須賀川市立博物館 / ● / ● / ● / ●

204 / 看板「大日本創製 亜欧堂先生鐫 当所名産 鏤盤摺 円極菴」 / 一枚 / 江戸時代 (19世紀) / 木製 / 須賀川市立博物館 / ● / ● / ● / ●

205 / 亜欧堂商標木版 / 一枚 / 江戸時代 (19世紀) / 木製 / 東京国立博物館 / ● / ● / ● / ●

206 / 銅版画包装紙「大日本創製 西洋画法鏤盤摺 亜欧堂」 / 一枚 / 江戸時代 (19世紀) / 紙本木版墨摺 / 千葉市美術館 / ● / ● / ● / ●

259 / 亜欧堂田善 / ゼルマニヤ廊中之図 / 一枚 / 文化6年 (1809) 正月 / 紙本銅版 / 個人蔵 / ● / ● / ○ / ○

262 / スターヴェン・プランカールト / 『新訂解剖学』 / 一冊 (ラテン語版) / 1695年刊 / 紙本銅版 / 個人蔵 / ○ / ● / ● / ●

#### ◆第五章：田善の横顔—山水と人物

207 / 亜欧堂田善 (画)、千里啓 (賛) / 孔子像 / 一幅 / 文化年間 (1804 ~ 18) 後期頃 / 絹本着色 / 個人蔵 / ● / ● / ● / ●

208 / 月僊 / 東方朔図 / 一幅 / 江戸時代 (18世紀) / 絹本着色 / 三重県立美術館 / ● / ● / ● / ●

209 / 月僊 / 松蔭読書図 / 一幅 / 江戸時代 (18世紀) / 絹本着色 / 三重県立美術館 / ● / ● / ● / ●

210 / 月僊 / 溪山行旅図 / 一幅 / 江戸時代 (19世紀) / 絹本着色 / 三重県立美術館 / ● / ● / ● / ●

211 / 月僊 / 『列僊図賛』 / 一冊 (三巻三冊を合本) / 安永9年 (1780) 10月序 / 紙本木版墨摺 / 千葉市美術館 (ラヴィッツコレクション) / ● / ● / ● / ●

212 / 亜欧堂田善 / 素描 (太上老君) / 一枚 / 安永9年 (1780) ~

文政5年 (1822) 頃 / 紙本墨画 / 須賀川市立博物館 / ● / ● / ● / ●

213 / 亜欧堂田善 / 福祿寿三星之図 / 一幅 / 文化5年 (1808) 12月 / 絹本着色 / 個人蔵 / ● / ● / ● / ●

214 / 亜欧堂田善 / 遠藤猪野右衛門像 / 一面 (もと掛軸) / 文化年間 (1804 ~ 18) 後期頃 / 絹本着色 / 須賀川市立博物館 / ● / ● / ● / ●

215 / 亜欧堂田善 / 許由巢父図 / 一幅 / 文化10年 (1813) 10月 / 絹本着色 / 個人蔵 / ● / ● / ● / ●

□ 216 / 亜欧堂田善 / 海浜之図 (衝立) / 一基 (もと小襖) / 文化年間 (1804 ~ 18) 後期頃 / 絹本着色 / 須賀川市立博物館 (太田貞喜コレクション) / ● / ● / ● / ●

217 / 亜欧堂田善 / 大隈瀧之図 (表) 山水・海浜之図 (裏) / 八図 / 文化13年 (1816) 10月 / (表) 絹本着色 四面 (裏) 紙本着色 四面 / 個人蔵 (須賀川市立博物館寄託) / ● / ● / ● / ●

218 / 亜欧堂田善 / 蓬莱山図 / 一幅 / 文化14年 (1817) 3月 / 絹本着色 / 個人蔵 / ● / ● / ● / ●

219 / 亜欧堂田善 / 呂洞賓図 / 一幅 / 文化14年 (1817) 8月 / 絹本着色 / 個人蔵 / ● / ● / ● / ●

220 / 亜欧堂田善 / 圯上人物図 / 一幅 / 文化14年 (1817) 8月 / 紙本着色 / 歸空庵 / ● / ● / ● / ●

221 / 亜欧堂田善 / 七福神之図 / 一幅 / 文化年間 (1804 ~ 18) 末期頃 / 紙本着色 / 須賀川市立博物館 / ● / ● / ● / ●

222 / 亜欧堂田善 / 雑画図巻 / 一卷 (七図) / 文政2 ~ 3年 (1819 ~ 20) 頃 / 紙本墨画・紙本墨画淡彩 / 神戸市立博物館 / ● / ● / ● / ●

223 / 亜欧堂田善 / 百老之図 / 一幅 / 文政2年 (1819) 2月 / 紙本着色 / 個人蔵 (須賀川市立博物館寄託) / ● / ● / ● / ●

224 / 亜欧堂田善 / 弾琴吹洞笙之図 / 一幅 / 文政2年 (1819) 2月頃 / 紙本着色 / 個人蔵 / ● / ● / ● / ●

225 / 亜欧堂田善 / 観瀑図 / 一幅 / 文政2年 (1819) 2月頃 / 紙本着色 / 歸空庵 / ● / ● / ● / ●

226 / 亜欧堂田善 / 山水人物図 / 六曲一隻 / 文政2年 (1819) 2月頃 / 紙本着色 / 須賀川市立博物館 / ● / ● / ● / ●

227 / 亜欧堂田善 (画)、石井雨考 (賛) / 舟中弄笛図 / 一幅 / 文政2年 (1819) 4月 / 絹本着色 / 個人蔵 / ● / ● / ● / ●

228 / 亜欧堂田善 / 聖賢寿老人図 / 一幅 / 文政2年 (1819) 4月 / 絹本着色 / 歸空庵 / ● / ● / ● / ●

229 / 伝亜欧堂田善 / 鍾馗之図 / 一幅 / 江戸時代 (18 ~ 19世紀) / 紙本墨画 / 個人蔵 / ● / ● / ● / ●

230 / 伝亜欧堂田善 (原画) / 谷風と大童山図 (五月幟) / 一幅 / 江戸時代 (18 ~ 19世紀) / 白木綿地型染・手彩色 / 神戸市立博物館 / ● / ● / ○ / ○

#### ◆第六章：田善インパクト

231 / 安田田騏 / 三田雪景図 / 一面 / 文化年間 (1804 ~ 18) ~ 文政10年 (1827) 頃 / 絹本油彩 / 神戸市立博物館 / ● / ● / ○ / ○

232 / 安田田騏 / 異国風景図 / 一面 / 文化年間 (1804 ~ 18) ~ 文政10年 (1827) 頃 / 絹本着色 / 歸空庵 / ● / ● / ● / ●

233 / 安田田騏 / 異国風景図 / 一面 / 江戸時代 (19世紀) / 絹本油彩 / 個人蔵 (須賀川市立博物館寄託) / ● / ● / ● / ●

234 / 安田田騏 / 観魚亭舟中望 / 一枚 / 文化12年 (1815) / 紙本銅版 / 神戸市立博物館 / ● / ● / ○ / ○

235 / 遠藤田一 / 洋人騎牛図 / 一面 / 文政2年 (1819) 9月 / 絹

本着色／個人蔵／●／●／●／●

236／遠藤田一／亜欧堂田善像／一幅／文政5年（1822）／紙本着色／個人蔵／●／●／●／●

237／遠藤田一／地球儀を持つ西洋人物図（伝コロンブス像）／一面／文政13年（1830）頃／板地着色／神戸市立博物館／○／○／●／●

□ 238／新井令恭／双蝶図／一枚／文化年間（1804～18）頃／紙本銅版／須賀川市立博物館（太田貞喜コレクション）／●／●／●／●

239／遠藤香村／七里ヶ浜図／一面／江戸時代（19世紀）／絹本油彩／福島県立博物館／●／●／○／○

240／遠藤香村／十六橋図／一面／江戸時代（19世紀）／絹本油彩／福島県立博物館／○／○／●／●

241／伝亜欧堂田善／風景図／一面（八図）／幕末～明治期か／絹本油彩／個人蔵（須賀川市立博物館寄託）／●／●／○／○

242／柳々居辰斎／近江八景 石山秋月／一枚／文化年間（1804～18）頃／大判錦絵／神奈川県立歴史博物館／○／○／●／○

243／歌川国芳／二十四孝童子鑑 郭巨／一枚／天保年間（1830～44）末期～弘化年間（1844～48）初期頃／大判錦絵／神戸市立博物館／○／○／●／●

244／三代歌川豊国（画）、万亭応賀（著）／『釈迦八相倭文庫』初編上・下／二冊／弘化2年（1845）／紙本木版多色摺／町田市立国際版画美術館／●／●／●／●

245／歌川国芳（画）、柳亭種彦（著）／『七ツ組入子枕』第三編上・下／二冊／嘉永4年（1851）／紙本木版多色摺／町田市立国際版画美術館／●／●／●／●

246／歌川広重／名所江戸百景 月の岬／一枚／安政4年（1857）8月／大判錦絵／神奈川県立歴史博物館／○／○／○／●

247／落合芳幾／写真鏡 山獵図／一枚／万延2年（1861）／大判錦絵／千葉市美術館／●／●／●／●

248／松本保居／地球万国全図・地球図略説／一枚／天保7年（1836）9月／紙本銅版／杜若文庫／●／●／●／●

249／安田雷洲／万国輿地方図／一卷／弘化3年（1846）12月題／紙本銅版筆彩／郡山市立美術館／●／●／●／●

250／松田緑山／自駿河台水道橋眺望図／一枚／安政年間（1854～60）頃／紙本銅版／杜若文庫／●／●／●／●

251／松田緑山／愛宕山眺望之図／一枚／安政年間（1854～60）頃／紙本銅版／杜若文庫／●／●／●／●

252／松田緑山／東都十景／一枚／安政年間（1854～60）～明治初期頃／紙本銅版／町田市立国際版画美術館／●／●／●／●

#### ◆第七章：田善再発見

253／内藤順耳（序）／亜欧堂田善江戸名所図／（序）一枚（図）八枚／明治10年（1877）10月序／紙本銅版／早稲田大学図書館／※千葉会場のみ

254／油井夫山（著）／『日本銅判画創製 亜欧堂田善』／一冊／昭和10年（1935）頃か（私家版、せいしうや発行）／書籍／町田市立国際版画美術館／●／●／●／●

255／油井夫山調査資料（原稿、スケッチブックほか）／一式／明治末～昭和9年（1934）頃／紙・鉛筆、インクほか／福島県立美術館／●／●／●／●

256／渡辺光徳／亜欧堂田善之像／一枚／昭和6年（1931）／紙本銅版／須賀川市立博物館／●／●／●／●

257／渡辺光徳／すか川御隠居岳／一枚／大正～昭和20年（1945）頃／紙本銅版／福島県立美術館／●／●／●／●

258／渡辺光徳か／曳馬図／一枚／大正～昭和期か／布地銅版／須賀川市立博物館／●／●／●／●

(5) 福島アートアニュアル 2023 境界を跨ぐ—村越としや・根本裕子



A4 チラシ

会 期：令和 5 年 1 月 28 日(土)～ 3 月 5 日(日) 開催日数 31 日  
 分 野：写真、工芸  
 展示数：99 点  
 主 催：福島県立美術館  
 後 援：須賀川市、須賀川市教育委員会  
 観覧料：一般・大学生 400 (300) 円、高校生 200 (100) 円、  
 小・中学生 100 (50) 円 ※ ( ) 内は 20 名以上の団体料金  
 観覧者数：2,279 名  
 担 当：橋本恵里、荒木康子

関連事業：

- ・ 出品作家によるギャラリートーク  
 日時：1 月 28 日(土) 14:00 ～ 15:00  
 講師：村越としや氏、根本裕子氏  
 場所：企画展示室  
 参加者数：30 名
- ・ ワークショップ「ピンホールカメラを作って撮影してみよう」  
 日時：2 月 4 日(土) 10:00 ～ 16:00  
 講師：村越としや氏  
 場所：美術館実習室  
 参加者数：8 名

概要：

福島県立美術館では開館以来、福島県出身・ゆかりの若手作家を紹介する事業を開催してきた。2021 年度からは新たに、近年充実した創作活動を繰り広げている福島県ゆかりの若手作家を継続的に紹介するシリーズ企画「福島アートアニュアル」を立ち上げた。

第 2 回目となる本展では、写真家の村越としや（1980 年 須賀川市生まれ、東京都在住）、陶芸家の根本裕子（1984 年 須賀川市生まれ、同市在住）の 2 名を取り上げた。モノクロームの写真で、福島の風土を撮影する村越。陶土によって、野性味あふれる野良犬を形づくる根本。静謐な写真群はそこに何か潜んでいそうな独特の空気をまとい、異質な野良犬たちは緊迫した雰囲気放了つ。さらなる活躍が期待される彼らの創作活動の一端を紹介した。



展示風景



ギャラリートーク



## 出品リスト：

## ◆村越 としや

[No./作品名/撮影年/発表年/材質・技法/寸法(縦×横、cm)]

- 1 / 雪を見ていた / 2009/2010年 / ゼラチンシルバー・プリント / 24.6 × 24.8
- 2-6 / 土の匂いと / 2009/2011年 / ゼラチンシルバー・プリント / 各 15.3 × 15.1 (5点)
- 7-17 / 木立を抜けて / 2009/2013年 / ゼラチンシルバー・プリント / 各 24.8 × 25.0 (11点)
- 18-29 / 雷鳴が陽炎を断つ / 2009/2016年 / ゼラチンシルバー・プリント / 各 17.9 × 17.8 (12点)
- 30-52 / 灯と煙たち / 2009/2022年 / ゼラチンシルバー・プリント / 各 25.4 × 25.3 (23点)
- 53 / 無題 / 2011/2023年 / ゼラチンシルバー・プリント / 18.8 × 23.5
- 54-76 / 血の針 / 2011-16/2019年 / ゼラチンシルバー・プリント / 各 24.5 × 30.6 (22点)、80.0 × 100.0 (1点)
- 資料 / 『灯と煙たち』刷版プレート、刷り出し

## ◆根本 裕子

[No./作品名/制作年/材質・技法/寸法(高さ×幅×奥行、cm)]

- 77 / 野良犬 a / 2016年 / 陶土 / 47 × 56 × 40
- 78 / 野良犬 b / 2017年 / 陶土 / 45 × 69 × 25
- 79 / 野良犬 c / 2017年 / 陶土 / 53 × 50 × 38
- 80 / 野良犬 d / 2017年 / 陶土 / 67 × 69 × 28
- 81 / 野良犬 f / 2018年 / 陶土 / 38 × 64 × 32
- 82 / 野良犬 h / 2018年 / 陶土 / 52 × 65 × 34
- 83 / 野良犬 i / 2018年 / 陶土 / 53 × 57 × 30
- 84 / 野良犬 j / 2018年 / 陶土 / 39 × 25 × 35
- 85 / 野良犬 k / 2019年 / 陶土 / 54 × 69 × 40
- 86 / 野良犬 l / 2019年 / 陶土 / 26 × 73 × 36
- 87 / 野良犬 m / 2019年 / 陶土 / 51 × 76 × 31
- 88 / 野良犬 n / 2020年 / 陶土 / 56 × 54 × 39
- 89 / 野良犬 o / 2020年 / 陶土 / 62 × 70 × 44
- 90 / 野良犬 p / 2020年 / 陶土 / 46 × 80 × 37
- 91 / 野良犬 q / 2020年 / 陶土 / 80 × 48 × 33
- 92 / 野良犬 r / 2020年 / 陶土 / 47 × 63 × 36
- 93 / 野良犬 s / 2021年 / 陶土 / 57 × 81 × 31
- 94 / 野良犬 t / 2021年 / 陶土 / 72 × 48 × 28
- 95 / 野良犬 u / 2021年 / 陶土 / 46 × 71 × 39
- 96 / 野良犬 v / 2021年 / 陶土 / 70 × 45 × 29
- 97 / 野良犬 w / 2022年 / 陶土 / 42 × 57 × 33
- 98 / 野良犬 x / 2022年 / 陶土 / 41 × 44 × 38
- 99 / 野良犬 y / 2022年 / 陶土 / 40 × 47 × 34

(6) 美をつくし 大阪市立美術館コレクション



A4 チラシ

会期：令和5年3月21日(火)～5月21日(日)

開催日数 10日（令和4年度）

分野：書画、彫刻、工芸

展示数：45点

主催：大阪市立美術館ふくしま展実行委員会〔構成：福島県立美術館、テレビユー福島、福島民報社〕

後援：福島県、福島県教育委員会、福島市、福島市教育委員会、福島商工会議所、福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会、（公財）福島県観光物産交流協会、公益財団法人福島県文化振興財団、一般社団法人東北観光推進機構、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、NHK 福島放送局、ラジオ福島、ふくしまFM、tbc 東北放送、テレビユー山形

協力：福島交通、阿武隈急行

企画協力：大阪市立美術館、毎日新聞社

観覧料：一般 1,300（1,000）円、高校・大学生 1,000（800）円、小・中学生 400（300）円 ※（ ）内は前売券および20名以上の団体料金

観覧者数：2,698名（令和4年度）

担当：増淵鏡子、宮武弘

概要：

昭和11年（1936）5月、庭園（慶沢園）とともに大阪市に寄贈された住友家の本邸があった天王寺茶白山の地に、大阪市立美術館は開館した。東京・京都に続く全国で三番目の公立美術館で、本館建物は戦前の大型美術館の貴重な例として、登録有形文化財となっている。8,500件以上にのぼる所蔵作品は、日本・中国の絵画・書蹟・彫刻・工芸など多岐にわたり、関西を中心に活躍した財界人らが収集したコレクションをまとめて所蔵する点に特徴がある。中国書画の阿部コレクション、中国・石造彫刻の山口コレクションなど、古美術から近代の作品まで実に多彩な顔ぶれとなっている。

本展では、同館が開館90周年を迎えるのを前に大規模な改修工事を行う休館の時期に、これらの名品から厳選された約150件の作品を一堂に紹介した。



開会式



展示風景

◆企画展・特集展示アンケート結果

アンケート記入方式：会期中毎日、展示室内に置かれたアンケートに観覧者が任意に記入。数値は%。

展覧会名	世界ネコ歩き／ どうぶつ家族2	東北への まなざし	福島ねこづくし	朝倉展	亜欧堂田善	アート アニユアル
会期 (開催日数)	3/19～5/22 (56日間)	6/4～7/10 (32日間)	7/23～8/21 (26日間)	9/3～10/16 (38日間)	10/29～12/18 (43日間)	1/28～3/5 (31日間)
1-性別						
女性	29.8	53.8	69.7	63.2	54.1	56.9
男性	70.2	46.2	30.3	36.8	45.9	43.1
2-年齢						
10歳未満	4.1	0	2.6	0.4	1.6	1.8
10代	9.1	0.8	7.7	3.9	4.8	0
20代	9.3	5.8	11.3	5.8	6.3	10.7
30代	12.5	15.7	10.8	8.6	10.3	19.6
40代	15.7	16.5	21.0	8.2	9.5	8.9
50代	20.3	14.0	21.0	12.8	14.3	10.7
60代	21.1	22.3	16.4	29.2	20.6	26.8
70代	6.7	19.8	7.2	25.7	25.4	14.3
80歳以上	1.3	5.0	2.1	5.4	7.1	7.1
3-居住地						
県内	91.2	64.4	80.7	59.7	72.3	80.7
(内訳) 福島市	45.5	58.8	67.1	52.1	44.7	45.7
中通り *福島市以外	37.5	24.7	23.4	29.4	45.7	52.2
会津	8.4	4.7	6.6	7.4	4.3	2.2
浜通り	8.6	11.8	3.0	11.0	5.3	0
県外	8.8	35.6	19.3	40.3	27.7	19.3
4-職業						
勤めている	58.6	44.5	62.2	46.6	47.2	47.1
無職	9.6	21.1	12.4	21.8	20.0	11.8
学生	13.3	3.9	14.4	3.8	9.6	3.9
主婦・主夫	12.4	17.2	7.7	17.6	12.8	25.5
自営	5.5	12.5	3.3	9.9	9.6	11.8
その他	0.7	0.8	0	0.4	0.8	0
5-交通手段						
自家用車・バイク	83.2	62.4	68.7	61.0	65.6	69.0
公共交通機関	10.1	26.3	19.4	28.5	27.5	19.0
自転車・徒歩	6.2	10.5	11.4	9.0	3.8	6.9
タクシー	0.2	0	0.5	1.1	0.8	5.2
観光バス・レンタカー	0.3	0	0	0.4	2.3	0
その他	0	0.8	0	0	0	0
6-来館人数						
1人	25.1	49.6	45.9	49.3	56.5	50.8
2人	50.4	36.8	40.2	40.5	35.1	30.5
3～5人	22.8	9.8	13.4	9.5	5.3	18.6
6～9人	0.8	0	0.5	0	0.8	0
10人以上	1.0	3.8	0	0.7	2.3	0
7-展覧会を何で知ったか						
展覧会チラシ	11.6	18.9	22.5	14.4	17.9	17.5
ポスター	17.4	17.8	27.7	9.8	16.2	18.6
新聞	16.8	6.5	6.6	7.5	11.2	12.4
当館ホームページ	4.6	8.9	9.2	7.8	11.2	8.2
インターネット	8.8	7.7	7.0	6.9	8.9	4.1

展覧会名	世界ネコ歩き／ どうぶつ家族2	東北への まなざし	福島ねこづくし	朝倉展	亜欧堂田善	アート アニュアル
会期 (開催日数)	3/19～5/22 (56日間)	6/4～7/10 (32日間)	7/23～8/21 (26日間)	9/3～10/16 (38日間)	10/29～12/18 (43日間)	1/28～3/5 (31日間)
人から聞いて	10.6	17.2	10.0	13.2	11.7	13.4
美術館ニュース	2.8	4.7	4.4	2.7	10.1	5.2
看板	1.0	2.4	3.3	0.9	1.1	5.2
テレビCM	10.7	1.8	3.0	24.3	4.5	2.1
雑誌・タウン誌	1.7	1.2	1.1	1.0	0.6	1.0
テレビ番組	6.6	2.4	1.1	8.2	4.5	5.2
ツイッター	2.1	3.0	1.8	3.3	0.6	4.1
フェイスブック	0.4	1.2	0.7	0.9	3.4	0
県政番組・広報誌等	1.5	3.0	1.1	0.8	1.7	1.0
ラジオ	1.5	2.4	0.4	0.9	0	2.1
インスタグラム	1.2	1.2	0	2.8	0	0
その他	0.4	0	0	0.1	0	0
8- 展覧会の満足度						
大変良い	80.6	68.2	59.1	76.3	57.6	70.2
良い	17.2	28.0	35.5	19.5	31.8	17.5
普通	1.9	2.3	3.4	3.1	7.6	5.3
あまり良くない	0.3	1.5	1.5	0.8	1.5	3.5
悪い	0.1	0	0.5	0.4	1.5	3.5
9- 利用回数						
初めて	28.7	20.5	20.5	51.5	16.0	20.7
数年に1回	29.4	25.8	16.1	25.9	15.3	13.8
年に1～2回程度	29.6	23.5	36.6	16.0	32.8	25.9
年に3～5回程度	10.4	25.0	22.0	5.1	30.5	25.9
年に6～9回程度	1.2	4.5	3.9	0.9	4.6	12.1
年に10回以上	0.7	0.8	1.0	0.5	0.8	1.7
10- 展覧会以外の利用						
レストラン	29.2	26.4	21.0	27.1	22.5	21.6
庭園	27.5	20.8	27.4	28.4	15.8	18.9
講演会	8.8	20.8	15.3	10.1	18.3	18.9
ギャラリートーク	8.4	12.5	12.9	7.2	13.3	5.4
鑑賞講座	17.2	9.7	12.9	17.9	10.0	10.8
創作プログラム	4.7	6.9	6.5	5.6	11.7	21.6
コンサート	3.7	2.8	4.0	3.6	7.5	2.7
その他	0.5	0	0	0.2	0.8	0
11- 今後見たい展覧会のジャンル						
日本画	17.7	17.6	21.1	13.8	25.0	17.1
海外の美術	25.2	13.5	19.7	23.5	32.5	8.6
工芸	3.9	27.0	5.4	4.9	12.5	0
彫刻	3.4	5.4	5.4	3.8	5.0	11.4
日本の洋画	3.6	4.0	4.1	4.2	6.3	2.9
写真	30.1	17.6	20.4	19.7	5.0	40.0
版画	2.3	6.8	2.0	1.5	3.8	8.6
デザイン	5.9	4.1	11.6	17.8	6.3	0
書	3.2	2.7	2.7	2.6	1.3	2.9
その他	4.8	1.4	7.5	8.3	2.5	8.6

美術館観覧者数一覧

令和4年度観覧者数一覧

令和5年3月31日現在(単位:人)

展覧会名	開催期間	個				団				有				無		観覧者総計
		人		体		券		料		料		料		招待等		
		高校生	小中学生	高校生	小中学生	高校生	小中学生	高校生	小中学生	高校生	小中学生	高校生	小中学生			
第1期～第IV期 企画観覧券で常設展を観覧 免除者(100/100)学校教育活動 免除者(100/100)学校引率者 免除者(50/100)県又は市町村主催 常設無料入館 (こどもの日) " (県民の日) " (敬老の日) " (文化の日) 小中高生無料入館 " " " "	279日間 通年 通年 通年 5月5日 8月21日 9月20日 11月3日 通年 " " "	5,743 5,743	0 0	0 0	33 33	0 0	0 0	0 0	0 0	33 33	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	8,212 10,158
小計		5,743	0	0	5,743	33	0	0	0	33	0	0	0	0	0	6,657
1 写真展 岩合光田の世界を歩き2&どうぶつ家族	4/1～5/22 45日間	12,071	220	748	13,039	145	145	145	145	145	3	17	643	13,827	2,245	16,072
2 東北への哀なき1930-1945	6/4～7/10 32日間	1,576	15	17	1,608	68	68	68	68	68	1	3	332	2,008	631	2,639
3 生涯100年 朝倉孫展	9/3～10/16 38日間	3,111	13	45	3,169	68	68	68	68	68	28	1	326	3,591	785	4,376
4 没後100年 面吹盛田善	10/29～12/18 43日間	1,979	7	25	2,011	21	29	50	50	50	4	4	333	2,394	938	3,332
5 福島アートアニュアル2023	1/28～3/5 31日間	1,438	27	44	1,509	36	1	37	37	37	1	231	1,777	502	2,279	
6 美をつくしー大阪市立美術館コレクション	3/21～3/31 10日間	1,486	63	62	1,611	29	29	29	29	29	2	3	259	2,401	297	2,698
小計		21,661	345	941	22,947	331	65	29	425	502	0	2,090	2,124	25,998	5,398	31,396
年間持参入館者数															610	610
学校連携共同ワークショップ展入館者数															1,287	1,287
教養普及事業・講演会・コンサート・シンポジウム・芸術鑑賞講座、博物館実習参加者、内覧会、など															1,495	1,495
特集展示「みんな大好き！福島おこづし展」															4,525	4,525
小計															7,917	7,917
合計		27,404	345	941	28,690	364	65	29	458	502	0	2,971	3,005	32,655	27,957	60,612

※大阪市立美術館コレクション展のみ、次のように読み替えます。「一般・大学生」→「一般」、「高校生」→「高校・大学生」

## 1 調査研究

調査研究は美術館活動の基礎をなし、また広く県民に対して美術の情報センター機能を果たすためにデータ集積が欠かせない。県内外の美術家や作品の調査、教育普及、保存、展示等の調査を継続的に実施している。

## (1) 調査活動

今年度は県内の美術品調査と、県内出身作家やゆかりの作家、収蔵作家（県内の現代版画コレクション、村越としや、根本裕子ほか県関係若手作家など）の調査を重点的に行った。

美術をより深く知る喜びを得る機会を提供する事業として、さまざまな講座を開催している。また、つくる楽しみを経験する契機として、各種の実技講座や、学校と連携しての出張実技講座を行っている。

## 1 館内解説

当館では以下のような館内解説を行っている。

## (1) 団体解説

当館では、解説を予め申し込んだ学校や公民館などの団体に対し、美術館の概要、鑑賞のマナー、代表的な収蔵作品の解説、常設展示や企画展示の概要等のガイダンスを行っている。

令和4年度の団体総数は50団体1,408人、そのうち解説を行ったのは21団体728人である。

## (2) 質問電話

展示室の各所に「質問電話」を設置し、展示品や美術全般についての観覧者からの質問に学芸員が直接応答するユニークなホットライン・サービスを行っている。

## (3) 解説シート

常設展示室に展示中の作家・作品の解説シートを設置している。

## 2 鑑賞講座

## (1) 芸術鑑賞講座「名画との対話」

講師：早川博明氏（当館前館長） 場所：講堂

- ・第1回「バロックの巨匠たち(1)-ルーベンス」  
日時：6月11日(土) 10:30～12:00 参加者数：43名
- ・第2回「バロックの巨匠たち(2)-ベラスケス」  
日時：8月13日(土) 10:30～12:00 参加者数：28名
- ・第3回「バロックの巨匠たち(3)-レンブラント」  
日時：10月8日(土) 10:30～12:00 参加者数：45名
- ・第4回「バロックの巨匠たち(4)-フェルメール」  
日時：12月10日(土) 10:30～12:00 参加者数：50名

## 3 創作プログラム

広く県民各層の美術に関する関心をふまえ、美術の創作と鑑賞の一助とする目的で、子どもから大人まで幅広い対象に応じた各種プログラムを実施している。

## (1) 「写真のような鉛筆デッサン—自画像を描く」

日時：4月16日(土) 10:30～15:00

場所：実習室

講師：大北 孝（主任学芸員）

参加者数：5名



(2) 「もののけワークショップ」

日時：5月8日(日) 10:30～12:00

場所：実習室

講師：香川大介氏（画家）

参加者数：12名



(3) 「こけしの源流を想像して、こけしに絵を描こう」

日時：6月26日(日) ① 10:00～11:30、② 14:00～15:30

場所：実習室

講師：軸原ヨウスケ氏（デザイナー）

参加者数：① 10名、② 11名



(4) 「お気に入りの絵を彫ろう 漆の沈金体験」

日時：7月10日(日) ① 10:30～12:00、② 13:30～15:00

場所：実習室

講師：吾子可苗氏（漆芸家）

参加者数：① 8名、② 9名



(5) 「うるしをみがいて作るピカピカ猫のブローチ」

日時：7月30日(土) ① 10:30～12:00、② 13:30～15:00

場所：実習室

講師：平井 岳氏（漆芸家）、平井綾子氏（漆芸家）

参加者数：① 8名、② 12名



(6) 「想像のお庭を作ろう」

日時：9月11日(日) 10:00～12:00 → 12月11日(日)へ開催日を変更

場所：実習室

講師：杉浦 藍氏（美術作家）

参加者数：9名



(7) 「ドローイング、ドローイング、ドローイング。」

日時：11月3日(日) 9:30～16:30

場所：エントランスホールほか

講師：小沢 剛氏（美術家）

参加者数：23名



(8) 「鍾馗様の小旗を作ろう」

日時：11月20日(日) 10:00～12:00

場所：実習室

講師：大野青峯氏（須賀川絵のぼり 吉野家 六代目）

参加者数：9名

4 美術館・学校教育連携事業



(9) 「シルクスクリーンでオリジナルTシャツを作ろう！」

日時：1月15日(日) 10:00～16:30

場所：実習室

講師：大河原健太氏（版画家）

参加者数：12名



(10) 「ピンホールカメラを作って撮影してみよう」

日時：2月4日(土) 10:00～16:00

場所：実習室

講師：村越としや氏（写真家）

参加者数：8名



(1) 学校連携共同ワークショップ

学校からの要望をもとに平成15年度より実施している連携事業。子どもたちが作家と触れ合う生の機会として、作家・学校・美術館の共同による創作活動を中心にした「出張ワークショップ」を開催している。この事業により相互の協力関係を密にし、新鮮な体験を通して子どもたちの美術や美術館への関心を高めるとともに、通常は美術館を利用しにくい地域へも文化事業の還元を図る。

令和4年度は、小学校・中学校・高等学校・適応指導教室合わせて8校（参加者延べ284名）で開催した。ワークショップで制作した作品は、令和5年2月4日(土)～2月26日(日)の期間、当館企画展示室Bにおいて、活動中のスナップ写真とあわせて展示した。

①講師：FRIDAY SCREEN（アートユニット）

プログラム：もりもりもじ！

内容：身の周りに溢れている「文字」をテーマにしたワークショップ。グラフィックデザインの発想から造形までを経験する内容。

開催校・人数：

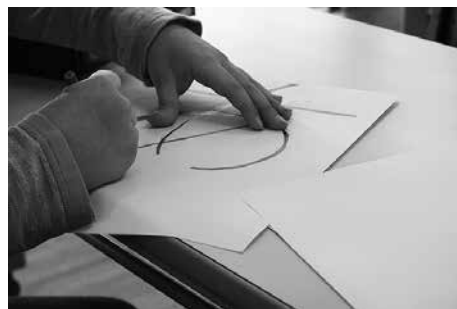
郡山市立緑ヶ丘中学校・郡山第一中学校（美術部）

10/8 21名

福島市教育委員会教育研修課（ふれあい教室） 10/25 6名

福島市教育委員会教育研修課（ふれあい教室） 11/10 6名

福島市教育委員会教育研修課（ふれあい教室） 11/11 5名

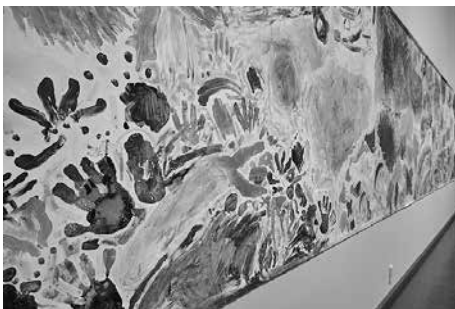
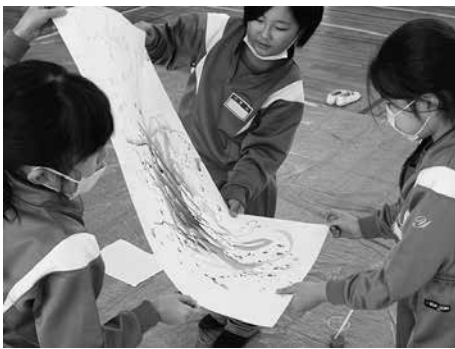




②講師：よしもとみか氏（移動絵本図書館 みず文庫）  
 プログラム：私の「いま」を色と形で表現してみよう。  
 内容：子どもたちと日々触れ合っている先生から実態を聞き、それぞれにあった素材と画材を選んで色と形を表現するワークショップ。

開催校・人数：

会津坂下町立坂下中学校（文化部）	9/15	26名
会津若松市立第二中学校（美術部）	9/29	11名
小野町立小野小学校（5年生）	10/13	75名
西郷村立米小学校（1・2年生）	10/27	75名
いわき市立小名浜第三小学校（2年生）	11/17	59名



## (2) 先生と考える美術館ミーティング

小学校図画工作、中学校・高等学校美術の鑑賞指導について講座を開催する福島県教育センターと連携しながら、学校における美術館の活用方法を考える。

日時：前期 令和4年8月5日(金) 13:00～13:50

講義・演習「学校と美術館の連携活動についてⅠ」

後期 令和4年11月1日(火) 10:00～15:45

講義・演習「学校と美術館の連携活動についてⅡ」

演習「鑑賞用教材を活用した鑑賞活動」

講師：梅野史代氏（教育センター指導主事）、大北孝（主任学芸員）

参加者：小学校教諭6名、中学校教諭5名、特別支援学校教諭3名 合計14名

## (3) 美術館への年賀状展

県内の小中高校生から寄せられた手作り年賀状をすべてエントランスホールに展示した。

会期：令和5年1月12日(日)～31日(火)

応募総数：114通 観覧者数：610名



## (4) 博物館実習

学芸員資格取得のため実習を希望する大学生を受け入れ、カリキュラムを組んで指導を行った。

日時：令和4年8月23日(火)～28日(日)

受講者数：3名

## 5 友の会等との連携

例年、友の会が実施している企画展開催時のボランティアや実技講座等については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年度は実施を見合わせた。

関係団体や他機関と実施した連携事業は、下記のとおりである。

### (1) 福島県立美術館友の会 通常総会の開催（書面による開催）

### (2) ミュージアム・コンサート「春を呼ぶピアノとソプラノの歌声」

令和4年2月20日(日)に予定されていたが、コロナ感染拡大のため延期となっていたもの。NPO法人福島県立美術館協力会、福島県立美術館友の会との共催。

日時：令和4年7月24日(日) 14:00～15:30

演奏：富山律子氏（ピアノ）、遠藤紘子氏（ソプラノ）

会場：美術館エントランスホール

参加者数：約130名



(3) 「アートミーツクッキー」

NPO 法人福島県立美術館協力会との共催。「見る」「書く」「描く」「食べる」と様々な感覚を取り入れた、子どもも大人も参加できるアクティブ型の美術鑑賞を楽しんだ。

日時：令和4年9月19日(月) 9:30～14:30  
 場所：エントランスホール、常設展示室  
 企画・ディレクション：Hi there 合同会社  
 参加者数：約300名



(4) アートチャリティーバザー

友の会会員や美術館関係者が美術工芸品、美術図書、図録、ミュージアムグッズなどを持ち寄り、安い価格で販売する。

日時：令和4年12月4日(日) 9:30～12:00  
 場所：美術館エントランスホール  
 参加者数：66名



(5) 触って、話して、見て楽しむ美術館賞ワークショップ「根本裕子さんの《野良犬》を鑑賞する」

NPO 法人福島県立美術館協力会との共催。

日時：令和5年3月4日(土) ① 10:30～12:00 ② 14:00～15:30

場所：実習室、企画展示室  
 講師：根本裕子氏（陶芸家）、当館学芸員  
 参加者数：① 16名 ② 16名（いずれも視覚障がい者と晴眼者含む）



(6) アートカード『ぼけっとアート』貸出

平成29年4月から、当館所蔵作品80点をカード形式にした鑑賞補助教材『ぼけっとアート』の貸出を行っている。

令和4年度の貸出総数は、小学校、中学校、高校、その他教育関係機関を含め、161カ所、809セットである。



## 6 その他の事業

### (1) 県立図書館との連携事業「アートな おはなしかい」

幼稚園児・小学生とその保護者を対象にした、図書館での「よみかきせ」と美術館展示室及び実習室の「鑑賞と工作のワークショップ」を、平成18年度から継続実施。

日時：令和4年9月23日(金)祝

場所：県立図書館、美術館

参加者数：13名



### (2) 福島県博物館連絡協議会における共同事業「博物館・美術館におけるアクセシビリティ向上にむけての研修会～合理的配慮の視点から障害者への対応を考える～」

日時：令和4年11月25日(金) 13:30～16:00

場所：アオウゼ（福島市アクティブシニアセンター）会議室

参加者：福島県博物館協会会員館 14名

主催：福島県博物館連絡協議会

共催：福島県障がい者芸術文化活動支援センター はじまりの美術館

企画協力：NPO 法人エイブル・アート・ジャパン

担当：福島県立美術館（荒木康子専門員）、はじまりの美術館、喜多方市美術館

### (3) 委員等

- ・福島市文化振興条例検討委員会委員（長根由里子館長）
- ・斎藤清画伯顕彰協議会特別幹事（長根由里子館長、堀 宜雄副館長心得兼学芸課長）
- ・福島県総合美術展覧会運営委員（堀 宜雄副館長心得兼学芸課長）
- ・令和4年度第76回福島県総合美術展覧会大賞選考委員（堀 宜雄副館長心得兼学芸課長）
- ・宇都宮美術館美術作品等収集評価委員会委員（増淵鏡子専門学芸員）
- ・相馬市史調査編さん委員（増淵鏡子専門学芸員）
- ・福島市写真美術館運営委員会委員（紺野朋子主任学芸員）

- ・西会津国際芸術村公募展審査員（大北 孝主任学芸員）
- ・須賀川市文化財保護審議会委員（伊藤 匡専門員）
- ・郡山市立美術館協議会委員（荒木康子専門員）
- ・いわき市立美術館収集評価委員（荒木康子専門員）
- ・喜多方市美術品収集委員会委員（荒木康子専門員）
- ・「新しいAIZUの美術展」選考委員（荒木康子専門員）

### (4) 講師、寄稿、発表、受賞等

- ・福島大学行政政策学類「博物館教育」講師 令和4年4月8日(金)～7月22日(金) 全15回（荒木康子専門員）
- ・福島県立医科大学医学部「芸術と文化 博物館・美術館にみる芸術と文化」
  - ①令和4年11月9日(水)「亜欧堂田善の生涯と画業」（坂本篤史主任学芸員）
  - ②令和4年11月16日(水)「野地正記《スダマティ》」（堀 宜雄副館長心得兼学芸課長）
  - ③令和4年11月19日(土) 企画展・常設展見学（坂本篤史主任学芸員）
- ・福島大学人間発達文化学類「現代アートマネジメント」講師 令和4年6月17日(金)（増淵鏡子専門学芸員）
- ・福島県立医科大学保健科学部「福島県を知る」講師 令和4年5月11日(水)（堀 宜雄副館長心得兼学芸課長、橋本恵里学芸員）
- ・美学会第73回全国大会 若手研究者フォーラム「マイケル・ハイザーにおける立体と平面の互換」令和4年10月16日(日)（濱田洋亮学芸員）
- ・明治美術学会発表「朝倉摂のリアリズム 60年安保闘争をはさんで」（オンライン開催）令和4年10月29日(土)（増淵鏡子専門学芸員）

### (5) SNS、動画配信等による情報発信

情報発信媒体としてTwitter（平成30年度～）、YouTube（令和2年度～）で公式アカウントをそれぞれ開設している。

令和4年度にYouTubeチャンネルで公開した動画コンテンツは以下のとおり。

- ・特集展示「みんな大好き！福島ねこづくし展」のご案内
- ・「没後200年 亜欧堂田善」展 作品解説①
- ・「没後200年 亜欧堂田善」展 作品解説②
- ・「福島アートアニュアル2023」

## ◆関係法規

## A 福島県立美術館条例

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第18条、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条及び地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条第1項の規定に基づき、県民の美術に対する知識及び教養の向上を図るため、福島県立美術館(以下「美術館」という。)を設置する。

(位置)

第2条 美術館は、福島市森合字西養山1番地に置く。

(業務)

第3条 美術館において行う業務は、次のとおりとする。

- 一 美術館及び美術に関する資料を収集し、保管し、及び展示すること。
- 二 美術に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 三 美術に関する講演会、講習会、映画会、研究会等を開催すること。
- 四 前3号に掲げるもののほか、その設置の目的を達成するために必要な業務を行うこと。

(観覧料)

第4条 美術館の展示品(以下「展示品」という。)を観覧しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納めなければならない。

(観覧料の免除)

第5条 知事は、公益上の必要があると認めるときは、規則で定めるところにより、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

(観覧料不返還の原則)

第6条 既納の観覧料は、返還しない。ただし、規則で定める場合は、その全部又は一部を返還することができる。

(遵守事項)

第7条 美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 一 美術館の施設若しくは設備、展示品等をき損し、又は汚損しないこと。
- 二 物品を販売し、又は頒布しないこと(教育委員会の許可を受けた場合を除く。)
- 三 展示品の横写、模造、撮影等を行わないこと(教育委員会の許可を受けた場合を除く。)
- 四 所定の場所以外において、喫煙および飲食を行わないこと。
- 五 他の利用者に危害又は迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- 六 前各号に掲げるもののほか、管理上教育委員会が指示する事項。

(平11条例92・一部改正)

(入館の規制等)

第8条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するものに対し、入館を拒否し、又は退館若しくは退去を命ずることができる。

- 一 前条の規定に違反した者。
- 二 美術館の施設若しくは設備、展示品等をき損し、または汚損するおそれのある者。
- 三 館内の秩序を乱し、又はそのおそれのある者。

(平11条例92・追加)

(職員)

第9条 美術館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(平11条例92・旧第8条繰上)

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理その他この条例の施行に関して必要な事項は、教育委員会が定める。

(平11条例92・旧第9条繰上)

附則 この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

別表(第4条関係)

(平9条例53・平15条例52・平25条例118・平28条例52・平31条例47・一部改正)

区分	普通観覧料の額 (一人当たり)		特別観覧料の額	年間観覧料の額 (同一人が有効期間内に 利用する場合)
	個人	団体		
一般(大学生を含む。)	280円	220円	その都度知事が定める額	3,600円の範囲内で知事が定める額
高校生及びこれに準ずる者	—	—	その都度知事が定める額	2,160円の範囲内で知事が定める額
中学生、小学生及びこれらに準ずる者	—	—	その都度知事が定める額	1,440円の範囲内で知事が定める額

備考

1 「普通観覧料」とあるのは常設展の展示品のみを観覧する場合の観覧料をいい、「特別観覧料」とあるのは特別の企画による展示品を観覧する場合(常設展の展示品を併せて観覧する場合を含む。)の観覧料をいい、「年間観覧料」とあるのは年間利用に係る普通観覧料及び特別観覧料をいう。

2 「団体」とあるのは、20人以上の団体をいう。

附則(平成9年条例第53号)

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附則(平成11年条例第92号)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附則(平成15年条例第52号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附則(平成25年条例第118号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附則(平成28年条例第52号)

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

附則(平成31年条例第47号)

この条例は、平成31年10月1日から施行する。

## B 福島県立美術館運営協議会条例

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第20条第1項の規定に基づき、福島県立美術館(以下「美術館」という。)の適正な運営を図るため、福島県立美術館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(組織)

第2条 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、10人以内とする。

(委員の任命及び任期)

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

2 委員会の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(平24条例42・一部改正)

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、美術館において処理する。

(雑則)

第7条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、

会長が協議会に諮って定める。

附則 この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

附則（平成24年条例第42号）

- この条例は、平成24年4月1日から施行する。
- この条例の施行の際現に改正前の福島県立美術館運営協議会条例第三条第一項の規定により任命されている福島県立美術館運営協議会の委員は、その残任期間中は、改正後の福島県立美術館運営協議会条例第三条第一項の規定により任命された福島県立美術館運営協議会の委員とみなす。

### C 福島県立美術館条例に基づく知事の権限を福島県教育委員会に委任する規則

福島県立美術館条例（昭和59年福島県条例第33号）第5条、第6条ただし書及び別表の規定による知事の権限は、福島県教育委員会に委任する。

附則

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

### D 福島県立美術館条例施行規則

（休館日）

第1条 福島県立美術館（以下「美術館」という。）の定期の休館日は、次のとおりとする。

- 月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（次号において「休日」という。）に当たるときを除く。
- 休日の翌日。ただし、その日が土曜日、日曜日又は休日に当たるときを除く。
- 1月1日から同月4日まで。
- 12月28日から同月31日まで。

2 美術館の長（以下「館長」という。）は、必要があると認めるときは臨時に休館し、又は臨時に開館することができる。

（昭63教委規則8・一部改正）

（開館時間）

第2条 美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、館長は、必要があると認めるときは、これを臨時に変更することができる。

（観覧手続）

第3条 館長は、福島県立美術館条例（昭和59年福島県条例第33号。以下「条例」という。）第4条の規定により観覧料を納入した者（年間観覧料を納入した者（以下「年間観覧者」という。）を除く。）に対し、観覧券（第1号様式）を交付するものとする。

（平15教委規則2・一部改正）

（年間観覧者に係る入館手続）

第3条の2 館長は、年間観覧者に対し年間観覧券（第1号様式の2）を交付するものとし、その有効期間は、年間観覧券の交付の日から起算して1年とする。

- 年間観覧者は、入館する際に有効な年間観覧券を提示するものとする。
- 年間観覧券の利用は、同一人に限るものとする。

（平15教委規則2・追加、平19教委規則14・一部改正）

（観覧料の免除及びその手続）

第4条 館長は、条例第5条の規定により、次の表の上欄に掲げる場合における普通観覧料について、同表の下欄に掲げる額を免除するものとする。

普通観覧料を免除する場合	免除する額
--------------	-------

一 大学生、（これに準ずる者として福島県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）が別に定める者を含む。）及びその引率者並びに高校生、中学生及び小学生（これらに準ずる者として教育長が別に定める者を含む。）の引率者が、学校教育に基づく活動として観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
二 県又は市町村が主催する講習会、講座等の活動として観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の百分の五十に相当する額（引率者にあつては全額）
三 国民の祝日に関する法律第二条に定めるこどもの日、敬老の日及び文化の日に観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
四 知事の発行する外国人留学生文化施設等無料観覧証の交付を受けている者が観覧するとき。	条例別表に定める普通観覧料の額の全額
五 その他免除することが公益上適当と認めるとき。	教育長が別に定める金額

2 観覧料の免除を受けようとする者（前項の表の第3号又は第4号のいずれかに該当する場合に観覧料の免除を受けようとする者を除く。）は、前項の表の第1号又は第2号に該当する場合にあつては観覧しようとする日の3日前まで、第5号に該当する場合にあつては10日前までに観覧料免除申請書（第2号様式）を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

3 館長は、前項の規定により観覧料の免除を承認したときは、観覧料免除承認書（第3号様式）を交付するものとする。

（昭60教委規則3・平4教委規則15・平7教委規則14・平8教委規則15・平8教委規則19・平12教委規則15・平14教委規則13・平15教委規則2・一部改正）

（観覧料の返還）

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、それぞれ当該各号に定めるところにより、観覧料の全部又は一部を返還するものとする。

- 観覧しようとする者の責めによらない理由により観覧することができなくなったとき（観覧しようとする者が年間観覧者であるときを除く。）全額
- その他やむを得ない理由があると認めるとき。教育長が別に定める額

2 観覧料の返還を受けようとする者は、観覧料返還申請書（第4号様式）に観覧券を添えて、館長に提出しなければならない。

（平15教委規則2・一部改正）

（美術品等の特別利用）

第6条 美術館が所蔵し、又は寄託を受けている美術品等を学術上の研究その他の目的のため特に利用しようとする者は、館長の承認を受けなければならない。

（平12教委規則15・旧第7条繰上）

（教育長への委任）

第7条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理その他この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

（平12教委規則15・旧第8条繰上）

附則

1 この規則は、昭和五十九年四月一日から施行する。

（令二教委規則七・旧附則・一部改正）

2 第三条の二第一項の有効期間中に工事により休館する期間がある場合は、その期間を一年に加算した期間を同項の有効期間とする。

（令二教委規則七・追加）

第1号様式（第3条関係）

観覧券 （観覧者の区分） （金額） 福島県立美術館	観覧券 （観覧者の区分） （金額） 福島県立美術館
------------------------------------	------------------------------------

備考 寸法、デザイン等については、その都度定める。

第1号様式の2（第3条の2関係）  
（平15教委規則2・追加）

(表)

年間観覧券
福島県立美術館

(裏)

(交付番号)	(観覧者の区分)
(有効期間)	
御利用に際して	
1 福島県立美術館が主催する展覧会のみ有効です。	
2 下記に署名された御本人以外の方は使用できません。	
3 御購入後の紛失等による再発行はいたしません。	
(氏名)	(学校名)(学年)
福島県立美術館	

備考 寸法、デザイン等については、その都度定める。

第2号様式（第4条関係）  
（平3教委規則13・一部改正）

第2号様式(第4条関係)

福島県立美術館長

年 月 日

申請者 住所又は所在地  
氏名又は名称及び代表者の氏名 印  
観覧料免除申請書

次の理由により観覧料を免除してください。

観覧目的				
観覧日時	年 月 日	時 分	分から	分まで
観覧者の種別及び人数	一般	人	その他( )	人
	大学生		( )	
	高校生			
	中学生		引率者	
小学生		合計		
免除申請の理由				
引率者の職、氏名	職	氏名		
連絡先及び電話番号	電話 ( )			
観覧料	免除率	免除金額	免除の根拠	
円	率	円	円	
年 月 日				
上記のとおり承認してよろしい。				
館長	副館長	総務課長	主任	

(注) 印の欄は、記入しないこと。

第3号様式（第4条関係）  
（平3教委規則13・一部改正）

第3号様式(第4条関係)

第 号  
年 月 日

様

福島県立美術館長 印

観覧料免除承認書

観覧料の免除について、次のとおり承認します。

観覧目的				
観覧日時	年 月 日	時 分	分から	分まで
観覧者の種別及び人数	一般	人	その他( )	人
	大学生		( )	
	高校生			
	中学生		引率者	
小学生		合計		
免除申請の理由				
注意事項				
観覧料	免除率	免除金額		
円	率	円		

第4号様式（第5条関係）  
（平3教委規則13・一部改正）

第4号様式(第5条関係)

年 月 日

福島県立美術館長

住所又は所在地  
申請者 氏名又は名称及び代表者の氏名 印  
観覧料返還申請書

次の理由により観覧料を返還してください。

返還申請の理由				
連絡先及び電話番号	電話 ( )			
観覧料	返還率	返還金額	返還の根拠	
円	率	円	円	
上記のとおり返還してよろしい。				
館長	副館長	総務課長	主任	
受付月日	・	・	決裁月日	・

(注) 印の欄は、記入しないこと。

- 附 則（昭和60年教委規則第3号）  
この規則は、昭和60年4月1日から施行する。
- 附 則（昭和63年教委規則第8号）  
この規則は、昭和63年4月1日から施行する。
- 附 則（平成3年教委規則第13号）  
1 この規則は、交付の日から施行する。

2 この規則の施行の際現に作成されている改正前の規則に定める様式による用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則（平成4年教委規則第15号）

この規則は、平成4年9月1日から施行する。

附 則（平成7年教委規則第14号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成8年教委規則第15号）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成8年教委規則第19号）

この規則は、平成8年10月1日から施行する。

附 則（平成12年教委規則第15号）

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成14年教委規則第13号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成15年教委規則第2号）

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成19年教委規則第14号）

この規則は、平成19年10月1日から施行する。

附 則（令和2年教委規則第7号）

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和3年教委規則第15号）

（施行期日）

1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則による改正前の福島県教育委員会が管理する公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する規則、学校教育法施行細則、福島県立美術館条例施行規則、福島県立博物館条例施行規則、福島県文化財保護条例施行規則、福島県立高等学校の通学区域に関する規則、福島県立高等学校学則、福島県奨学資金貸与条例施行規則、福島県立学校の管理運営に関する規則、福島県高等学校定時制課程及び通信制課程修学資金貸与条例施行規則、福島県立中学校学則及び福島県立特別支援学校学則（以下これらを「改正前の規則等」という。）に規定する様式については、この規則の規定による改正後の福島県教育委員会が管理する公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する規則、学校教育法施行細則、福島県立美術館条例施行規則、福島県立博物館条例施行規則、福島県文化財保護条例施行規則、福島県立高等学校の通学区域に関する規則、福島県立高等学校学則、福島県奨学資金貸与条例施行規則、福島県立学校の管理運営に関する規則、福島県高等学校定時制課程及び通信制課程修学資金貸与条例施行規則、福島県立中学校学則及び福島県立特別支援学校学則（以下これらを「改正後の規則等」という。）に規定する様式にかかわらず、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

3 この規則の施行の際現に改正前の規則等に基づき提出、通知又は作成されている届出書等の書面は、それぞれ改正後の規則等に基づき提出、通知又は作成されている届出書等の書面とみなす。

## E 福島県立美術館組織規則

（この規則の目的）

第1条 この規則は、福島県立美術館（以下「美術館」という。）の組織に関して必要な事項を定めることを目的とする。

（課）

第2条 美術館に次の課を置く。

総務課

学芸課

（事務分掌）

第3条 総務課においては、次の事務を行う。

- 一 館内事務の総合調整及び企画調査に関すること。
- 二 公印の管理に関すること。
- 三 人事に関すること。

四 文書の收受、発送、編集及び保存に関すること。

五 予算の編成、経理及び執行に関すること。

六 物品の調達及び処分に関すること。

七 財産の管理に関すること。

八 観覧料の徴収に関すること。

九 福島県立美術館運営協議会に関すること。

十 前各号に掲げるもののほか、他課の所掌に属しない事務に関すること。

2 学芸課においては、次の事務を行う。

一 美術品及び美術に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。

二 美術に関する調査及び研究に関すること。

三 美術に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。

四 美術に関する解説書、年報、調査研究報告書等の作成に関すること。

五 美術に関する相談、情報提供その他美術教育の普及に関すること。

六 国立美術館、公立美術館その他の教育機関及び美術関係団体との連絡提携に関すること。

七 前各号に掲げるもののほか、美術に関する専門的事項に関すること。

（館長）

第4条 美術館に館長を置く。

2 館長は、上司の命を受け、美術館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

（副館長）

第5条 美術館に副館長を置く。

2 副館長は、館長を補佐し、美術館の事務を整理する。

（課長）

第6条 美術館の課に課長を置く。

2 課長は、上司の命を受け、課の事務を処理し、所属職員を指揮監督する。

3 前項に規定するもののほか、課長は、課の事務を点検する。

（平25教委規則11・一部改正）

（学芸員等）

第7条 美術館に主任専門学芸員、専門学芸員、主任学芸員、副主任学芸員及び学芸員を置く。

2 主任専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の高度な学芸事務を処理する。

3 専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の学芸事務を処理する。

4 主任学芸員は、上司の命を受け、担任の学芸事務を処理する。

5 副主任学芸員は、上司の命を受け、高度な学芸事務をつかさどる。

6 学芸員は、上司の命を受け、学芸事務をつかさどる。

（主任主査その他の職）

第8条 美術館に、第4条から前条までに規定する職のほか、必要に応じ、次の表の上欄に掲げる職を置き、その職の職務は、それぞれ同表の当該下欄に掲げるとおりとする。

職	職務
主幹	上司の命を受け、特に指示された事務を掌理する。
事務長	上司の命を受け、副館長を補佐し、美術館の事務を処理する。
主任主査	上司の命を受け、館長が定める特定の事務を処理し、並びに担当する事務を取りまとめ、及び整理する。
主査	上司の命を受け、担任の事務を処理する。
副主査	上司の命を受け、高度な事務をつかさどる。
主事	上司の命を受け、事務をつかさどる。
専門員	上司の命を受け、担任の専門的業務に従事する。

（平14教委規則18・平25教委規則8・令2教委規則5・一部改正）

附 則

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則（平成14年教委規則第18号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成 25 年教委規則第 8 号）

この規則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年教委規則第 11 号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（令和 2 年教委規則第 5 号）

この規則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

## F 福島県立美術館収集評価委員会設置要綱

（設置）

第 1 条 福島県立美術館に収蔵する美術品及び資料（以下「美術品等」という。）の収集及び評価について審議するため、福島県立美術館収集評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（組織等）

第 2 条 委員会は 5 人以内の委員をもって構成し、委員は学識経験者のうちから福島県立美術館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

2 委員会に委員長及び副委員長を置く。委員長及び副委員長は委員の互選により選出する。

3 委員長は委員会を代表し会務を掌理する。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

（任期）

第 3 条 委員の任期は 2 年とする。但し、再任を妨げない。

2 補欠によって選任された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会議）

第 4 条 委員会は、必要のつど館長が招集する。

2 委員会は、美術品等の収集及び評価について審議し、その結果を館長に報告するものとする。

3 委員会は、必要に応じ職員その他の者を出席させて意見を聴くことができる。

（庶務）

第 5 条 委員会の庶務は、福島県立美術館において処理する。

（その他）

第 6 条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員長が定める。

附則 この要綱は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。

改正 昭和 59 年 4 月 1 日、昭和 61 年 4 月 1 日

## G 福島県立美術館における美術品等の貸出し及び撮影等に関する取扱要領

1 趣旨

（1）この要領は、財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例（昭和 39 年福島県条例第 22 号）第 7 条、福島県財務規則（昭和 39 年福島県規則第 17 号。以下「財務規則」という。）第 156 条、福島県立美術館条例（昭和 59 年福島県条例第 33 号）第 7 条及び福島県立美術館条例施行規則（昭和 59 年福島県教育委員会規則第 12 号）第 7 条の規定により、福島県立美術館（以下「館」という。）が所蔵し、又は寄託を受けている美術品及び美術資料（以下「美術品等」という。）の貸出し及び撮影、画像使用（以下「撮影等」という。）に関する基準及び手続きを定めるものとする。

（2）美術品等が福島県美術品等取得基金（以下「基金」という。）所有のものであるときは、美術品等の貸出しの手続きは福島県立美術館長（以下「館長」という。）の依頼により基金管理者が行うものとするが、美術品等の貸出し及び撮影等の基準については、この要領を準用するものとする。

2 美術品等の貸出し

（1）貸出しの基準

ア 美術品等の貸出しは、国立、公立及び私立の美術館または博物館、報道機関、その他館長が特に必要と認めたものに対して行うものとする。

イ 美術品等の貸出期間は、1 年を超えてはならない。

ウ 美術品等の利用目的及び管理上の理由から貸出しをすることが適当で

ないと認められる場合は、貸出しを行わないものとする。

エ 美術品等が寄託を受けているものである場合、寄託者から貸出の承認が得られない場合には、貸出しを行わないものとする。

（2）貸出しの手続き

ア 館長は、美術品等の貸出しをする場合には、貸出しを受けようとする者（以下「借受者」という。）から物品借受申請書（財務規則第 102 号様式。以下「申請書」という。）を提出させるものとする。ただし、借受者の利用目的が展覧会の展示である場合には、次の書類を提出させなければならない。

（ア）展覧会の趣旨及び企画内容を明記した書類

（イ）その他必要と認める書類

イ 館長は、借受者から申請書の提出を受けたときは、美術品等の利用目的、利用期間及び利用場所等について十分に検討を加え、貸出しの適否を審査するものとする。

ウ この要領 2 の（2）のア及びイの規定は、美術品等が基金所有のものである場合に準用する。

（3）貸出しの決定

ア 館長は、この要領 2 の（2）のイの審査の結果、美術品等の貸出しをすることが適当と認めるときは、物品貸付調書（財務規則第 102 号様式）により当該貸出しについて決裁するとともに、借受者に対して、貸出し承認の通知（様式第 1 号）をするものとする。

イ 美術品等が基金所有のものであるときは、当該美術品等の貸出しの決定及び借受者に対する貸出し承認の通知は、基金管理者が行うものとする。

ウ 美術品等の貸出しは、無料とする。

（4）貸出しの条件

美術品等の貸出しをする場合には、次の条件を付すものとする。

ア 美術品等は利用目的以外の用途に利用しないこと。

イ 美術品等の利用権を第三者に譲渡しないこと。

ウ 美術品等は常に善良な管理者の注意をもって管理保管すること。

エ 美術品等の棄損・亡失等が生じた場合は、速やかにその旨を館長に報告し、その指示により損害を賠償し、又はこれを原状に回復すること。

オ 美術品等の輸送、その他貸出しに要する経費は、借受者が負担すること。

カ 美術品等の搬出または搬入に際しては、借受者は責任者を立会させること。

キ その他必要と認めること。

ク この要領 2 の（4）のアからキまでの規定は、美術品等が基金所有のものである場合に準用する。

（5）美術品等の引渡し

ア 物品管理権者（館長）は、美術品等の貸出しを実行するときは、当該美術品等の現状を確認し、物品取扱員（福島県立美術館事務長。以下「事務長」という。）に対し、貸付物品払出（受入）通知書（財務規則第 102 号様式）により、その引渡しを指示するものとする。

イ 物品取扱員（事務長）は、物品管理権者（館長）から貸出し美術品等の引渡しの指示を受けたときは、借受者に対して当該美術品等の受領を証する書面と引換えに、これを引渡すものとする。

ウ 物品管理権者（館長）は、美術品等を引き渡したときは、物品管理簿（財務規則第 76 号様式）の摘要欄に貸し付けた旨を記録し整理するものとする。

エ 美術品等の引渡し場所は、原則として館とする。

（6）美術品等の引受け

この要領 2 の（5）のアからウまでの規定は、貸出しを行った美術品等が返納された場合の受入れの手続きについて準用する。この場合「美術品等の貸出しを実行」とあるのは「貸出しを行った美術品等を引受け」と、「引渡し」とあるのは「引受け」とそれぞれ読み替えるものとする。

3 美術品等の撮影

（1）撮影承認の基準

ア 美術品等の撮影は、国立、公立及び私立の美術館または博物館、報道機関、出版社、その他館長が特に必要と認めたものに対して承認するものとする。

イ 撮影により美術品等に損傷を生ずるおそれがある場合や美術品等の管理上適当でないと思われる場合は、承認を行わないものとする。

ウ 美術品等が寄託を受けているものである場合、寄託者から撮影の承認



が得られない場合には、承認を行わないものとする。

#### (2) 撮影承認の手続き

ア 館長は、美術品等の撮影を承認する場合には、撮影を希望する者（以下「撮影者」という。）から美術品等撮影承認願（様式第2号。以下「撮影承認願」という。）を提出させるものとする。

イ 館長は、撮影者から撮影承認願の提出を受けたときは、撮影の目的、対象美術品等について十分に検討を加え、承認の適否を審査するものとする。

ウ 館長は、この要領3の(2)のイの審査の結果、美術品等の撮影を承認することが適当と認めるときは、撮影者に対して撮影承認の通知（様式第3号）をするものとする。

エ この要領2の(3)により貸出し承認の通知を受けた借受者が、図録作成等のため美術品等の撮影をする場合には、事前に館と協議の上承諾を得ることによって、撮影承認の手続きを省略できるものとする。

オ 美術品等の撮影は、無料とする。

#### (3) 撮影の条件

美術品等の撮影を承認する場合には、次の条件を付すものとする。

ア 美術品等の撮影は、館の職員の指示に従って行うこと。

イ 撮影により美術品等を損傷させないこと。

ウ 撮影した写真等は、承認を受けた目的以外に使用しないこと。

エ 撮影の目的が著作権法の適用を受けることとなる場合は、必要に応じ、あらかじめ著作権者の承認を得ること。

オ 撮影した写真を出版物に掲載した場合は、当該出版物を館に提出すること。

カ トリミングや文字重ねなど、無断で画像を改変しないこと。

キ 作品の芸術性を損なわないよう、十分に配慮すること。

ク 作者名・作品名・所蔵館名を必ず明記すること。

ケ 画像がデジタル・データの場合は、使用後速やかにデータを破棄すること。

コ Web等で利用する場合には、画像サイズおよび解像度は長辺800ピクセル、72dpi以下とし、さらに無断転用を防ぐ措置を講じること。

サ その他必要と認めること。

#### 4 美術品等の画像使用

##### (1) 画像使用承認の基準

ア 美術品等の画像使用は、国立、公立及び私立の美術館または博物館、報道機関、出版社、その他館長が特に必要と認められたものに対して承認するものとする。

イ 美術品等が寄託を受けているものである場合、寄託者から画像使用の承認が得られない場合には、承認を行わないものとする。

##### (2) 画像使用承認の手続き

ア 館長は、美術品等の画像使用を承認する場合には、画像使用を希望する者（以下「使用者」という。）から美術品等画像使用承認願（様式第4号。以下「画像使用承認願」という。）を提出させるものとする。

イ 館長は、使用者から承認願の提出を受けたときは、画像使用の目的、対象美術品等について十分に検討を加え、承認の適否を審査するものとする。

ウ 館長は、この要領4の(2)のイの審査の結果、美術品等の画像使用を承認することが適当と認めるときは、使用者に対して画像使用承認の通知（様式第5号）をするものとする。

エ この要領2の(3)により貸出し承認の通知を受けた借受者が、図録作成等のため美術品等の画像使用をする場合には、事前に館と協議の上承諾を得ることによって、画像使用承認の手続きを省略できるものとする。

オ 美術品等の画像使用は、無料とする。

##### (3) 画像使用の条件

美術品等の画像使用を承認する場合には、次の条件を付すものとする。

ア 画像は、承認を受けた目的以外に使用しないこと。

イ 画像使用の目的が著作権法の適用を受けることとなる場合は、必要に応じ、あらかじめ著作権者の承認を得ること。

ウ 承認を受けた画像を出版物に掲載した場合は、当該出版物を館に提出すること。

エ トリミングや文字重ねなど、無断で画像を改変しないこと。

オ 作品の芸術性を損なわないよう、十分に配慮すること。

カ 作者名・作品名・所蔵館名を必ず明記すること。

キ 万一貸与した画像を損傷・忘失した場合は、再撮影に係わる実費を請求することができるものとする。

ク 館所有の画像を複製して使用する場合は、当該複製版をすべて提出するものとする。

ケ 画像がデジタル・データの場合は、使用後速やかにデータを破棄すること。

コ Web等で利用する場合には、画像サイズおよび解像度は長辺800ピクセル、72dpi以下とし、さらに無断転用を防ぐ措置を講じること。

サ その他必要と認めること。

#### 附則

この要領は、昭和60年2月9日より施行する。

（平成9年9福美第65号により一部改正）

この要領は、令和3年6月1日より施行する。

## H 福島県立美術館美術作品等寄託要領

### （趣旨）

1 この要領は、福島県立美術館（以下「館」という。）における美術作品及び美術資料（以下「美術品等」という。）の寄託に関し、必要な事項を定めるものとする。

（寄託の申し出）

2 福島県立美術館長（以下「館長」という。）は、美術品等の所有者に依頼して寄託を受けようとする場合には、寄託同意書（別記様式第1号）によって所有者の同意を得なければならない。

（2）館長の依頼によらないで美術品等の寄託をしようとする者は、寄託申込書（別記様式第2号）を館長に提出し、その承認を受けなければならない。

（受託）

3 館長は、所有者の同意、もしくは所有者からの申込みのあった美術品等の寄託が館の事業のため必要があると認めるときは、これを無償で受託することができる。

（受け入れ及び返還）

4 館長は、所有者から寄託された美術品等を受領したときは、所有者に対して受託証書（別記様式第3号）を交付するものとする。

（2）所有者は、寄託した美術品等（以下「寄託品」という。）の返還を受けようとするときは、返還を受けようとする日の1ヶ月以上前に返還申請書（別記様式第4号）を館長に提出しなければならない。

（3）館長は、この要領4の(2)により、所有者に対して寄託品の返還をしようとするときは、受託証書と引き換えに、これを所有者に返還するものとする。

（4）寄託品の返還を受けようとする者が所有者の代理人であるときは、委任状その他これを証する書面を館長に提出しなければならない。

（寄託期限）

5 美術品等の寄託期間（以下「寄託期間」という。）は2年とする。ただし、特別な理由があるとき、館長はこの期間を短縮することができる。

（寄託期間の更新）

6 館長は、所有者の承諾を得て寄託期間を更新することができる。

（2）寄託期間の経過後、所有者から寄託品の返還の請求がない場合は、寄託期間を更新したものとみなす。

（3）館長は、この要領6の(1)及び(2)により寄託期間を更新したときは、所有者に対し更新した受託証書を交付するものとする。

（所有者の変更等）

7 売買、相続等により寄託品の所有者に変更があったとき、または所有者の氏名、名称もしくは住所等に変更があったときは、所有者（所有者が変更した場合は変更後の所有者）は、所有権の移転その他氏名、名称等の変更を証する書類を受託証書に添えて館長に提出し、受託証書の書き換えを受けなければならない。

（受託証書の再交付）

8 所有者は、受託証書を忘失し、または著しく破損したときは、これらの

事実を証するに足る書類（破損の場合は、その受託証書）を添えて、速やかに館長に受託証書の再交付を申請しなければならない。

（寄託品輸送経費等の負担）

9 所有者は寄託品の搬入または返還に要する経費等を負担するものとする。ただし、館長が特にその必要がないと認めた場合は、この限りでない。

（寄託品の展示等）

10 館は、寄託品について、展示、研究及び撮影等を行い、その結果を公開することができる。

（2）館職員以外の者がこの要領10の（1）の行為をしようとするときは、「福島県立美術館における美術品等の貸出し及び写真撮影等に関する取扱要領」に定めるところにより、所定の手続きを経なければならない。

（寄託品の保存）

11 館長は、寄託品の保存管理及びその取扱いについては、館に所蔵する美術品等に準じて行う。

（2）館は、寄託品を忘失し、または損傷した場合は、その補償をするものとする。ただし、天災、その他不可抗力による場合は、この限りでない。

（その他）

12 この要領に定めるもののほか、美術品等の寄託に関して必要な事項は、館長が定める。

#### 附則

この要領は、昭和60年4月1日より施行する。

この要領は、令和3年4月1日より施行する。

## 1 福島県立美術館共催等名義使用承認事務取扱要綱

（趣旨）

第1 この要綱は、福島県立美術館（以下「美術館」という。）が、美術館以外の各種団体が主催する教育・文化関係事業等について共催、協力、後援（以下「共催等」という。）する場合の基準及びその他必要な事項を定めるものとする。

（用語の定義）

第2 この要綱における用語の定義は、次のとおりとする。

#### 1 共催

事業の企画及び運営に参画し、主催者と共同して責任を分担することをいう。

#### 2 協力

事業の趣旨に賛同し、美術館が所蔵し、又は寄託を受けている美術品及び美術資料（以下「美術品等」という。）の貸出しを伴ってその開催に協力することをいう。

#### 3 後援

事業の趣旨に賛同し、その開催を援助することをいう。

（共催等の使用名義）

第3 共催等について使用を承認する名義は、「福島県立美術館」とする。

（承認の基準）

第4 福島県立美術館長（以下「館長」という。）は、主催者から共催等の申請があったときは、次の各号に掲げる基準により審査のうえ、承認するものとする。

#### 1 主催者

- （1）国若しくは地方公共団体又はこれらに準ずる団体
- （2）学校等の教育機関又はこれらの連合体
- （3）公益法人又はこれに準ずる団体
- （4）新聞、テレビ等の報道機関
- （5）その他、館長が適当と認めるもの

#### 2 事業内容

（1）学校教育、社会教育及び文化（以下「教育等」という。）の普及・向上に寄与するもので、公益性のある事業であること。

（2）参加対象が県民一般に広く及ぶものであること。ただし、内容が特に優れ、本県の教育等の普及・向上に寄与するところが著しいと認められる事業については、この限りではない。

（3）専ら営利を目的としないこと。

（4）特定政党の政治活動又は特定の宗教的団体の宗教活動でないこと。

（5）公共の福祉に反しないこと。

（6）法令、規則等に違反しないこと。

#### 3 その他

（1）主催者の存在が明確で、事業遂行能力が十分であると判断できるものであること。

（2）開催の場所は、公衆衛生及び災害防止について、十分な設備措置が講じられていること。

（承認の手続き）

第5 共催等を申請する者は、原則として開催日2カ月前までに、共催等承認申請書（第1号様式）を館長に提出すること。

1 館長は前項の申請書を受領したときは、速やかに承認の可否を文書（第2号様式）で通知するものとする。

2 福島県及び福島県教育委員会が主催する事業については、申請書の提出は不要とし、事業計画や内容・目的を明記した協議書の提出を求めるものとする。

3 特定非営利活動法人福島県立美術館協会及び福島県立美術館友の会が主催する事業については、事前に協議するものとし、申請書の提出は不要とする。

（添付書類）

第6 共催等承認申請書には、次の書類を添付するものとする。

- 1 主催者の存在及び基礎を明らかにする書類
- 2 役員その他事業関係者の住所及び役職名簿等を明らかにする書類
- 3 事業の目的及び計画を明らかにする書類（予算書を含む）

（承認の条件）

第7 共催等の承認にあたっては、次の条件を付するものとする。

- 1 美術館が共催等である旨を開催要項等に明記すること。
- 2 事業開催に当たり申請内容を変更しないこと。違反が認められた場合は、承認を取り消す場合がある。
- 3 申請内容に変更せざるを得ない事由が生じた場合には、速やかに届け出て、改めて承認を受けること。
- 4 事業終了後、1カ月以内に実施報告書（第3号様式）を提出すること。

（美術館内開催事業承認の条件）

第8 共催等により美術館内の施設で開催される事業の承認にあたっては、特に次の条件を付するものとする。

- 1 事業内容は、美術館の事業としてふさわしい次の内容のものであること。
  - （1）企画展・常設展等、美術館展示に関連するもの。
  - （2）講演・講座・イベント等、美術館行事に関連するもの。
  - （3）美術館が所蔵し、又は寄託を受けている美術品等に関連するもの。
- 2 美術館開館日に実施するもので、かつ美術館主催行事に支障がないものであること。

3 美術館の施設使用に関する次の開催条件を受け入れること。

（1）事業の実施時間は原則として美術館の開館時間内とし、予定した時間を厳守すること。

- （2）使用施設は事前に美術館と協議の上決定すること。
- （3）事業終了後は、施設を使用前の状態に復帰させること。
- （4）許可なく施設の設備・器材等の操作を行わないこと。
- （5）上記によりがたい場合は、事前に美術館と十分に協議すること。

4 事故・損害等の負担については、主催者と美術館が共同責任を負うこと。ただし、前項の開催条件を守らない一方的な過失による破損等の場合は、主催者が全額負担すること。

（その他）

第9 この要綱に定めるもののほか、実施について必要な事項は、別に館長が定めるものとする。

#### 附則

（施行日）

- 1 この要綱は、令和3年6月8日から施行する。

## ◆予算

### 【令和4年度予算内訳】

歳入

科目(款・項・目・節)	最終予算額(千円)
使用料及び手数料	23,235
└ 使用料	23,235
└ 行政財産使用料	518
└ 土地使用料	41
└ 建物使用料	477
└ 教育使用料	22,717
└ 美術館使用料	22,717
財産収入	3,585
└ 財産売払収入	3,585
└ 物品売払収入	3,585
諸収入	193
└ 雑入	193
計	27,013

歳出

科目(款・項・目・節)	最終予算額(千円)
教育費	328,791
└ 教育総務費	719
└ 事務局費	703
└ 共済費	703
└ 財務管理費	16
└ 交際費	16
└ 社会教育費	328,072
└ 美術館費	328,072
└ 報酬	72
└ 報償費	1,298
└ 旅費	3,406
└ 需用費	134,584
└ (食糧費)	(41)
└ 役務費	9,016
└ 委託料	152,750
└ 使用料及び賃借料	1,165
└ 備品購入費	3,278
└ 負担金、補助及び交付金	22,503
災害復旧費	12,688
└ 文教施設災害復旧費	12,688
└ 公立文教施設災害復旧費	12,688
└ 需用費	12,688
計	341,479

## ◆施設・設備

## 【建築の概要】

設計 大高建築設計事務所

施工 鹿島建設株式会社仙台支店（建築・外観）

敷地面積 60,500㎡

建築面積 6,471.5㎡

延床面積 9,680.7㎡

建物構造 鉄筋コンクリート造（一部S造・2階建）

総工費 約49億円（本体、外構含む）

## 【設備の概要】

## 電気設備

1- 受変電設備：受電力 1,100W

2- 動力設備

3- 電灯・コンセント・照明（調光設備：各展示室、調光装置：講堂・講義室各1台）

4- 自家発電機設備

5- 避雷針

6- 電気時計

7- 火災報知設備

8- 防火扉・防煙設備

9- 拡声設備

10- インターホン設備

11- ITV 設備

12- 防犯設備

13- ビデオ設備

14- 蓄電池設備

15- 電話設備

## 空気調和設備

1- 熱源設備：

展示室・収蔵庫系統＝空気熱源スクルーヒートポンプ、  
120RT＋熱回収ヒートポンプ30RT 組合せ制御方式、冷水槽  
300㎡、温水槽250㎡

一般系統・図書館系統＝灯油だき冷温水発生器150RT 2台

2- 空調設備：単一ダクト方式

展示室4系統、収蔵庫3系統、ケース内4系統、一般系統7  
系統（一部フロアコイル併用）

3- 換気設備：50系統

4- 排煙設備：機械排煙6系統

5- 床暖房：2系統

6- 自動制御設備：中央監視盤、温湿度監視盤

## 給排水衛生設備

1- 熱源：都市ガス（厨房・実習室・工作修復室）／他は全て電  
器煮沸器を使用

2- 消化系：ハロン消火設備（収蔵庫3系統：共用機械室）／消  
火栓設備（消火ポンプ1台、屋内消火栓14台、動力ポンプ1台）

3- 燻蒸設備：ガスによる殺虫滅菌剤で燻蒸後吸着装置通過、規  
定濃度以下にして大気放出

4- 給水：受水槽45t（加圧給水）／直結給水

5- 排水：屋内は汚水・雑排水の分流式（外部で合流後、市下水  
道公共マスに接続）

## 昇降機設備

1- 乗用エレベーター：油圧式、750kg 11名乗り 1台

2- 荷物用エレベーター：油圧式、最大積載量3t 1台

3- 乗用エレベーター：油圧式、600kg 9名乗り 1台

## 【内部仕上げの概要】

1- エントランスホール

床：御影石バーナー仕上げ（一部長尺塩ビシート張）

壁：栓練付石綿ケイカル板

天井：栓練付石綿ケイカル板

その他：一部床暖房設備

2- 収蔵庫

床：パーケットブロック、ぶな素地

壁：米杉、矢羽根板張

天井：米杉、本実目透張

その他：収納棚、絵画収納ラック

3- 企画展示室

床：長尺塩ビシート張

壁：合板捨張の上に準不燃合板、特注クロス張

天井：栓練付パネル

その他：大型可動壁（幅8,770mm×高3,770mm、11枚）

固定ケース前可動壁：（幅1,600mm×高4,050mm、延長約  
72m）

固定ケース：（A-2、A-3、B：総延長72.3m）

4- 常設展示室

床：タフテッドループカーペット

壁：常設A- 栓練付ケイカル板

常設B- 大理石空積、水磨き仕上げ

常設C・D- くるみ練付ケイカル板

天井：常設A- 栓練付パネル

常設B・C・D- くるみ練付パネル

その他：固定ケース（常設A、16.2m）

5- 講堂

床：タイルループカーペット

壁：くるみ練付石綿ケイカル板

天井：ビニールクロス張

その他：座席数246（うち車椅子席4）／ステージ幅12m×  
奥行3.2m

6- 講義室

床：タイルカーペット

壁：くるみ練付石綿ケイカル板

天井：岩綿吸音板

7- 実習室

床：エポキシ系塗床

壁：モルタル金ゴテVP

天井：岩綿吸音板

8- 軽食喫茶室

床：長尺塩ビシート張

壁：くるみ練付パネル、粒状岩綿吸音材（一部）

その他：テーブル44席

9- その他

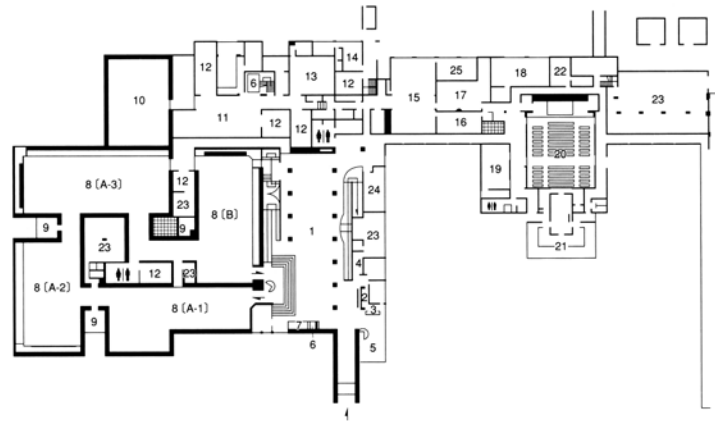
搬出入口：ホイストクレーン2.8t／テーブルリフター

写真室：電動スクリーン

## ◆施設配置図

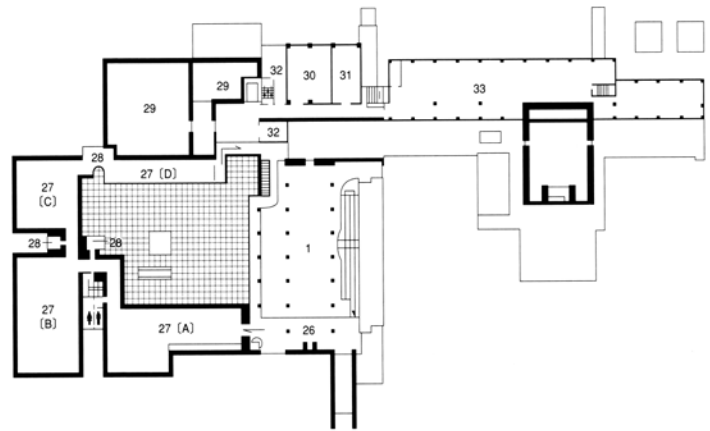
### 【1階】

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. エントランスホール | 14. 警備室   |
| 2. 受付案内      | 15. 事務室   |
| 3. ブックショップ   | 16. 応接室   |
| 4. ロッカー室     | 17. 研究図書室 |
| 5. 図書コーナー    | 18. 実習室   |
| 6. エレベーター    | 19. 講義室   |
| 7. ビデオコーナー   | 20. 講堂    |
| 8. 企画展示室     | 21. 軽食喫茶室 |
| 9. 休憩室       | 22. 中央監視室 |
| 10. 収蔵庫 A    | 23. 機械室   |
| 11. 荷解梱包室    | 24. 館長室   |
| 12. 倉庫       | 25. 副館長室  |
| 13. 写真室      |           |



### 【2階】

- |             |
|-------------|
| 26. ロビー     |
| 27. 常設展示室   |
| 28. 休憩室     |
| 29. 収蔵庫 B・C |
| 30. 工作修復室   |
| 31. 会議室     |
| 32. 倉庫      |
| 33. 機械室     |



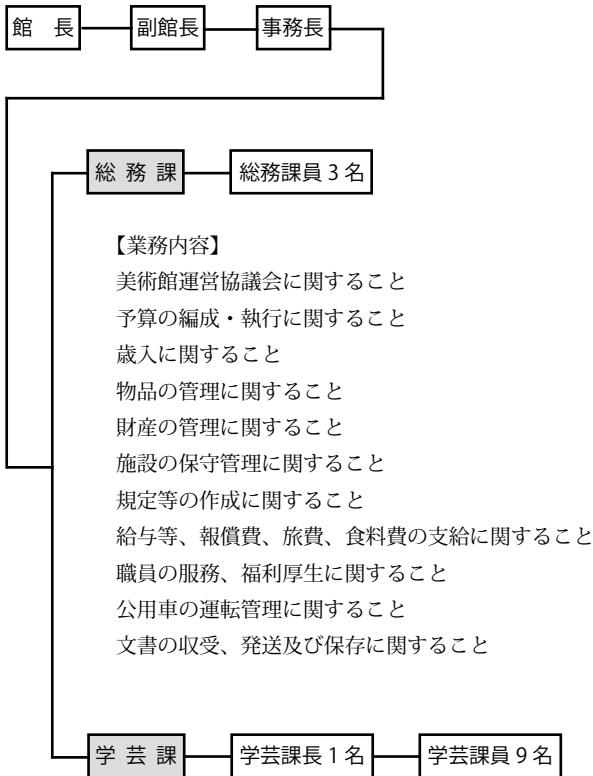
## ◆部門別専有面積 (\*は県立図書館と共用)

<b>サービス部門</b>	<b>1223.8m<sup>2</sup></b>
エントランスホール	817.3m <sup>2</sup>
受付案内	(ホールに含む)
ブックショップ	(ホールに含む)
ロッカー室	(ホールに含む)
図書コーナー	(ホールに含む)
ロビー	202.1m <sup>2</sup>
*軽食喫茶室	179.0m <sup>2</sup>
授乳室・救護室	25.4m <sup>2</sup>
<b>展示部門</b>	<b>3064.4m<sup>2</sup></b>
企画展示室 A (A-1,2,3)	1380.8m <sup>2</sup>
企画展示室 B	431.1m <sup>2</sup>
	(企画展示室合計 1811.9m <sup>2</sup> )
常設展示室 A	403.1m <sup>2</sup>
常設展示室 B	359.1m <sup>2</sup>
常設展示室 C	143.8m <sup>2</sup>
常設展示室 D	132.8m <sup>2</sup>
	(常設展示室合計 1038.8m <sup>2</sup> )
展示用具室	141.2m <sup>2</sup>
展示用具室 2	72.5m <sup>2</sup>
<b>収蔵部門</b>	<b>1367.3m<sup>2</sup></b>
収蔵庫 A	282.2m <sup>2</sup>
収蔵庫 B	368.7m <sup>2</sup>
収蔵庫 C	105.1m <sup>2</sup>
一時保管庫	51.8m <sup>2</sup>
収蔵庫前室	57.6m <sup>2</sup>
搬出入口	65.7m <sup>2</sup>
荷解梱包室	188.8m <sup>2</sup>
梱包倉庫	77.7m <sup>2</sup>

荷扱人控室	29.6m <sup>2</sup>
燻蒸室	33.3m <sup>2</sup>
工作修復室	106.8m <sup>2</sup>
<b>普及部門</b>	<b>654.6m<sup>2</sup></b>
*講堂	498.6m <sup>2</sup>
講義室	73.9m <sup>2</sup>
実習室 (準備室含む)	82.1m <sup>2</sup>
<b>研究部門</b>	<b>187.2m<sup>2</sup></b>
研究図書室	88.7m <sup>2</sup>
写真室	98.5m <sup>2</sup>
<b>管理部門</b>	<b>1852.6m<sup>2</sup></b>
応接室	48.0m <sup>2</sup>
副館長室	34.0m <sup>2</sup>
事務室 (総務課・学芸課)	174.2m <sup>2</sup>
会議室	73.3m <sup>2</sup>
館長室	43.2m <sup>2</sup>
事務機械室	16.0m <sup>2</sup>
警備室	54.7m <sup>2</sup>
更衣室	8.7m <sup>2</sup>
受付控室	35.1m <sup>2</sup>
給湯室	4.4m <sup>2</sup>
倉庫	33.0m <sup>2</sup>
*機械室	1266.4m <sup>2</sup>
車庫	61.6m <sup>2</sup>
<b>その他(化粧室・廊下・階段等)</b>	<b>1330.8m<sup>2</sup></b>

## ◆組織図・職員名簿

### 1. 組織図



**【業務内容】**  
 企画展に関すること  
 社会教育、学校教育及び他館との連携に関すること  
 応接、団体案内に関すること  
 広報計画に関すること  
 出版・発行に関すること  
 美術品の収集に関すること  
 美術作品等の保存管理に関すること  
 美術作品等の貸出しに関すること  
 常設展に関すること  
 教育普及に関すること  
 調査、研究に関すること  
 二次資料の整備に関すること  
 視聴覚事業に関すること

[外部機関]

美術館運営協議会 10名

収集評価委員会 5名

### 2. 職員名簿（2023年3月31日現在）

名誉館長	酒井 哲朗（2016.4.1-）
館長	長根由里子（2020.4.1-2023.3.31）
主幹兼事務長	小山田八重子（2020.4.1-2023.3.31）
副館長心得兼社会教育課副課長兼学芸課長	堀 宜雄（1989.4.1-2023.3.31）
総務課 主査	村上 茂利（2021.4.1-）
総務課 主事	永峯 涼子（2022.4.1-）
総務課 専門員	津田 幸康（2022.4.1-）
学芸課 専門学芸員	増渕 鏡子（1993.4.1-）
学芸課 主任学芸員	宮武 弘（1992.4.1-）
学芸課 同	大北 孝（2018.4.1-2023.3.31）
学芸課 同	紺野 册子（2012.4.1-）
学芸課 同	坂本 篤史（2014.4.1-）
学芸課 副主任学芸員	白木ゆう美（2014.4.1-）
学芸課 学芸員	橋本 恵里（2017.4.1-）
学芸課 学芸員	濱田 洋亮（2022.4.1-）
学芸課 専門員	荒木 康子（2021.4.1-2023.3.31）

## □利用案内

### 1. 開館時間

9時30分～17時（最終入館は16時30分まで）

※夜間開館を行うことがあります。

### 2. 休館日

1) 月曜日（祝祭日をのぞく）

2) 祝祭日の翌日（土日をのぞく）

3) 年末年始（12月28日～1月4日）

※都合により臨時休館を行うことがあります。

### 3. 観覧料

#### 1) 常設展

一般・大学生：280円（220円）、高校生以下：無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

#### 2) 企画展 その都度料金が変わります。

※企画展の料金で常設展もご覧になれます。

※企画展のみの観覧券は発行していません。

※ふくしま教育週間（11月1日～7日、ただし休館日は除く）

中は、小・中・高校生は企画展料金も無料。

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は企画展料金が無料

（身体障害者手帳・療育手帳1種、精神障害者保険福祉手帳

1級をお持ちの方は付き添いの方も無料）

#### 4. 常設展無料

1) 子供の日（5月5日）、県民の日（8月21日）、

敬老の日（9月第3月曜）、文化の日（11月3日）

2) 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方（それぞれ第1種または1級の方は付き添いの方も無料）

3) 小・中・高校生（団体の場合、引率者も無料）

#### 5. 常設展減額免除

常設展料金無料：大学生が、学校活動の一環で観覧するとき

常設展料金半額：公民館や公共団体が主催する講習会、講座等の活動として観覧するとき

※事前申請が必要です。いずれも引率者は無料となります。

#### 6. 年間観覧券

常設展示・企画展示ともに、購入より一年間有効

（一般・大学生 3,000円／高校生 1,800円／小・中学生 1,200円）

#### 7. 交通案内

1) J R 福島駅（東口）より

電車：福島交通飯坂線「美術館図書館前駅」下車、徒歩2分

バス：9番バス乗り場より、福島交通もりん2コース「県立美術館入口」下車、徒歩3分

タクシー：約5分

2) 自家用車

東北自動車道・福島飯坂ICより約15分、福島西ICより約20分 ※駐車場150台収容

## 福島県立美術館年報 令和4年度・2022

2023年12月22日 発行

編集・発行 福島県立美術館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

電話 024-531-5511

ファックス 024-531-0447

ホームページ <https://art-museum.fcs.ed.jp>

印刷

株式会社プロセス印刷



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。